

令和7年度訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業（実証事業）  
「中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業業務」  
報告書

2026年3月  
中国運輸局 観光部 観光地域振興課

1	事業の全体概要	
	事業目的と事業概要	
	(1) 本事業の目的	3
	(2) 本事業実施の全体像	4
2	実施内容と結果	
	I.“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する事前調査	
	(1) 景勝地の事前調査	6-15
	(2) 伝統芸能団体の事前調査	16-17
	(3) 電子記事の作成	18-22
	II.“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進に向けた取組	
	(1) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進に向けた検討会の開催	24-61
	(2) 実地試行実施に向けた勉強会の開催	62-91
	(3) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する可能性調査(実地試行)	92-135
	III. 調査結果報告会の開催	137-146
3	まとめ	148-149

## 1. 事業の全体概要

### I 事業の全体概要

## 1. 事業の全体概要

### ■ 本事業の目的

---

観光立国推進基本計画におけるインバウンド回復戦略として、全国津々浦々で観光回復の起爆剤となる取組を集中的に展開することが挙げられ、その一例として伝統芸能等の特別体験が例示されている。

その一方で、中国地方における外国人宿泊者数及び訪日外国人旅行消費単価は全国平均を大きく下回っている状況である。（2024年における外国人宿泊者数は2,831,130人で全国10ブロック中8位、訪日外国人旅行消費単価は46,805円で全国10ブロック中最下位。）

宿泊者数や観光消費額増加に寄与する取組として、ナイトコンテンツの造成・販売が考えられるが、伝統芸能・民俗芸能における舞手や奏者の多くは本業を別に持つ地域住民であり定期公演や出張公演に制約があること、宿泊施設や地域の受入体制機能が不十分であることから、ナイトコンテンツとしては売り出しにくい状況であると考えられる。

そこで中国地方における景勝地と伝統芸能・民俗芸能（以下「伝統芸能等」という。）を掛け合わせたコンテンツがどの程度インバウンドに訴求力を持ち、宿泊者数や観光消費額増加を伴う来訪促進に向けたコンテンツとなり得るのか調査検討を行う。

### ■ 事業主体

---

中国運輸局

### ■ 業務概要

---

#### I.“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する事前調査

#### II.“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進に向けた取組

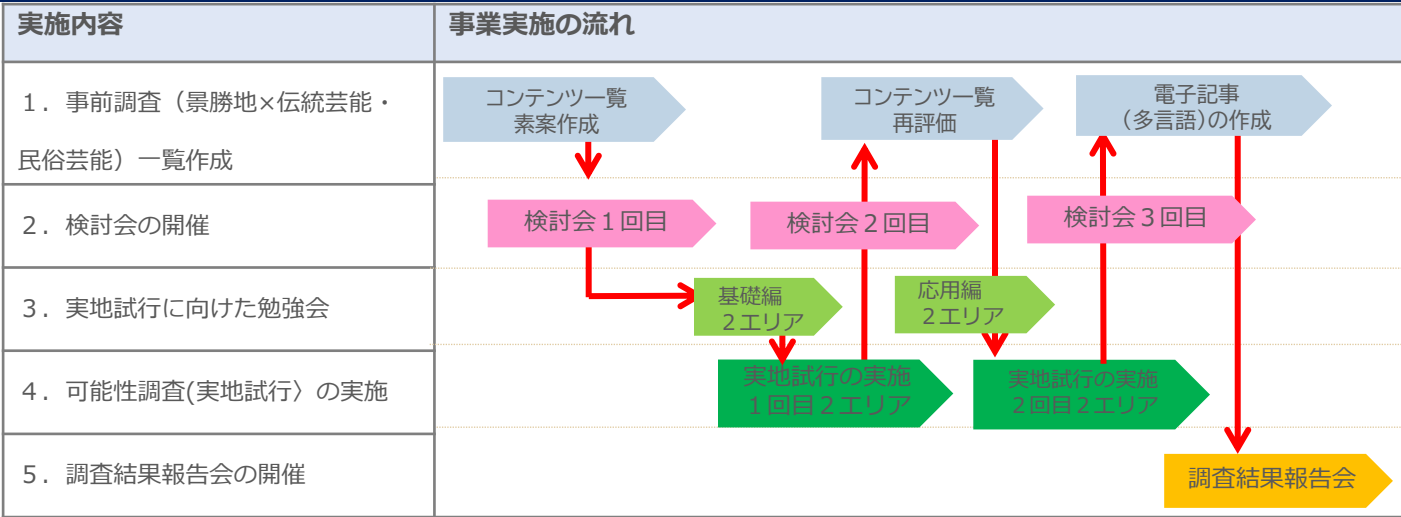
- (1)“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進に向けた検討会の開催
- (2)実地試行実施に向けた勉強会の開催
- (3)“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する可能性調査(実地試行)

#### III.調査結果報告会の開催

# 1. 事業の全体概要

## 本事業実施の全体像

### 具体的な取組み（本事業実施内容）



### 1 景勝地×伝統芸能・民俗芸能一覧作成

付加価値が高く、伝統芸能等を実施推進し得る景勝地を調査整理し、リスト化する。また調査する景勝地(寺社仏閣含む)において伝統芸能等を演舞・披露し得る団体の調査(1県1団体以上)を実施する。その調査を基に、電子記事の作成と情報発信を行う。

**【データ収集・一覧作成までの流れ】**

- データ収集・ヒアリング・コンテンツ集約
- 伝統芸能・自然景勝地のとりまとめ・一覧の作成
- 検討会での検証

### 2 検討会の開催

景勝地×伝統芸能・民俗芸能を推進するための課題を把握し、目指すべき方向性を共有し取組みを検証する場として運営。

**【検討会の概要】**


回数	全3回 7/23(水)・11/26(水)・2/6(金)
開催方法	ハイブリット
参加者	①中国運輸局 ②有識者 ③5県の自治体 ④景勝地・伝統芸能等の関係者 ⑤観光関係事業者 ⑥旅行社
検討会テーマ	・環境整備等に関する事項 ・商品化を見据えた価格設定に関する事項 ・付加価値等の設定手法に関する事項 ・二次交通を含めた観光の足に関する事項 ・実施に向けたロードマップに関する事項 ・課題の整理、解決策に関する事項 等

### 3 実地試行に向けた勉強会の開催

検討会で挙げられた課題と『景勝地×伝統芸能一覧表』を以て、調査エリアにおける誘客のフックとなる新たなコンテンツを開発するためのエリア勉強会を開催。

**【勉強会開催エリア】**  
①広島県：北広島町  
②山口県：山口市

**【勉強会開催回数】**  
調査2エリア×2回  
第1回：全体概要説明と企画育子  
第2回：実地試行のブラッシュアップ  
北広島＝①9/4(木) ②12/25(木)  
山口市＝①9/5(金) ②12/23(火)



### 4 実地試行の実施

検討会並びに勉強会における検討内容を反映した行程でトライアルを実施。トライアル実施後に、再度検討会へ報告しブラッシュアップを目指す。

**【調査エリア】**  
①広島県：芸北神楽  
②山口県：鷲流狂言

**【実地試行開催回数】**  
調査2エリア×2回  
第1回：実地試行の実施  
第2回：ブラッシュアップ内容の実施  
北広島＝①10/18-19 ②1/21-22  
山口市＝①10/17-18 ②1/22-23

### 5 調査結果報告会の開催

本事業における取組が各地に裨益するよう、自治体や観光関係事業者をはじめとする多くの関係者を対象にした報告会を開催。

**【開催日】** 3/4(水)

**【報告内容】**  
・実地試行の概要  
・参加者の満足度  
・伝統芸能等に関するニーズ  
・課題及び解決策  
・付加価値設定の可能性とその内容  
・その他“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”を推進するにあたり有益となる事項

## 2. 実施内容と結果

### Ⅱ 実施内容と結果

- (Ⅰ) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する事前調査
- (Ⅱ) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進に向けた取組
- (Ⅲ) 調査結果報告会の開催

## 2. 実施内容と結果

## (1) 景勝地の事前調査

・付加価値が高く、伝統芸能等を実施・推進し得る景勝地を調査し、リスト化した。

## 候補地：岡山県

景勝地リスト	景勝地関係者リスト（団体名）	伝統芸能等を演舞・披露し得る団体
鷲羽山レストハウス	共同企業代MIKOSHI	下津井節振興会
王子ヶ岳（瀬戸内海国立公園）	玉野市・倉敷市	初實剣理方一流 甲冑抜刀術
北木島の石切り丁場湖 石切りの渓谷展望台	鶴田石材株式会社	初實剣理方一流 甲冑抜刀術
備中松山城 天空の山城	高梁市観光協会	備中神楽成羽保存会
岡山後楽園 能舞台	岡山県後楽園事務所	大島会（能楽）、田賀屋狂言会

## 候補地：広島県

景勝地リスト	景勝地関係者リスト（団体名）	伝統芸能等を演舞・披露し得る団体
厳島神社	宮島観光協会	広島邦楽保存会
宮島大聖院	大聖院	宮島太鼓協会
広島平和記念公園	広島市都市整備局緑化推進部	広島雅楽会
帝釈峡	帝釈峡観光協会	帝釈峡郷土舞踊保存会
三段峡	三段峡観光案内所	広島太鼓保存会
縮景園	縮景園管理事務所	広島伝統舞踊保存会
尾道寺町	尾道観光協会	尾道雅楽協会
鞆の浦	鞆の浦観光案内所	広島郷土芸能保存会
千光寺公園	尾道市観光センター	尾道郷土舞踊協会
比治山	広島比治山案内所	広島民謡保存会

## 候補地：鳥取県

景勝地リスト	景勝地関係者リスト（団体名）	伝統芸能等を演舞・披露し得る団体
鳥取砂丘	鳥取市、鳥取大砂丘観光協会、 麒麟のまち観光局	因幡麒麟獅子舞の会
倉吉市（県立美術館、白壁土蔵群）	中部観光推進機構、倉吉観光MICE協会	倉吉打吹太鼓振興会
大山	大山商工観光課	大山八木節笠おどり部会

## 2. 実施内容と結果

## (1) 景勝地の事前調査

・付加価値が高く、伝統芸能等を実施・推進し得る景勝地を調査し、リスト化した。

## 候補地：島根県

景勝地リスト	景勝地関係者リスト（団体名）	伝統芸能等を演舞・披露し得る団体
出雲大社	一般社団法人出雲観光協会 出雲大社門前町観光協会	石見神楽社中連合会
松江城	一般社団法人松江観光協会	安来節保存会
足立美術館	一般社団法人安来市観光協会	隠岐国分寺蓮華会舞保存会
宍道湖	一般社団法人宍道湖・中海・大山圏域観光局	佐陀神能保存会
大根島	NPO法人大根島研究会	石見神楽社中連合会
石見銀山	一般社団法人大田市観光協会	出雲神楽保存会
稲佐の浜	一般社団法人出雲観光協会	津和野歌舞伎保存会
三瓶山	島根県立三瓶自然館	隠岐島前神楽保存会
須佐神社	一般社団法人出雲観光協会	松江市八雲楽友会（雅楽）
鷲舞神事	美保神社	石見神代神楽保存会
日御碕灯台	一般社団法人出雲観光協会	島根県民謡協会
隠岐諸島	隠岐の島町	安来節保存会
松江フォーゲルパーク	一般社団法人松江観光協会	石見大元神楽保存会
松江フォーゲルパーク	一般社団法人松江観光協会	出雲薄雲会（能楽）
石見銀山	石見神楽広域連絡協議会	石見神楽広域連絡協議会

## 候補地：山口県

景勝地リスト	景勝地関係者リスト（団体名）	伝統芸能等を演舞・披露し得る団体
赤間神宮	下関観光コンベンション協会	岩戸神楽舞保存顕彰会
角島大橋	西長門リゾート	湯本南条踊保存会
千畳敷	長門市観光コンベンション協会	湯本南条踊保存会
秋吉台	美祢市観光協会	山口鷲流狂言保存会
錦帯橋	岩国市観光協会	岩国南条踊保存会

## 2. 実施内容と結果

### (1) 景勝地の事前調査

令和7年度 訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業(実証事業)  
「中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業」業務

#### 【事前調査】

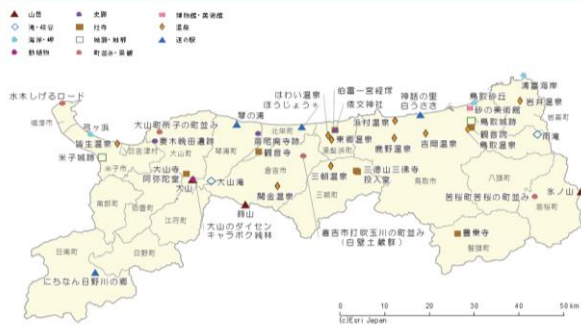
#### 事前調査 実地試行の実施候補地と選定方針

対象となる景勝地(案)

	観光地	入込客数		
		2022年	'23/'22	
鳥取県	鳥取砂丘(又は鳥取県歴史(鳥取遺跡・市川遺跡・菅原遺跡など)	2,433	3,109	127.8
	鳥取県立(水木しげるロードなど)	660	952	144.3
	とっとり型の花道芸術館(三朝温泉・はわい温泉・東海温泉など)	973	1,153	118.5
島根県	大山周辺	1,056	1,079	102.2
	子子・智多温泉周辺	906	1,198	132.4
	出雲市周辺(出雲大社、日御輪、赤坂ワナナリなど)	10,501	12,089	115.1
	松江市周辺(美保湖、玉湯温泉、松江城など)	7,164	8,570	119.6
	浜田市周辺(石見海浜公園、はまたお倉市場など)	1,341	1,542	115.0
岡山県	安来市周辺(足立美術館、清水寺など)	935	1,154	123.3
	備前市周辺(道の駅たたらびろろ・香露園など)	999	1,073	107.3
	浅野美観地区	2,319	3,089	133.2
	後継園・岡山城周辺	1,189	1,727	145.2
	岡山高原	2,005	2,082	103.8
広島県	広島・宮川	2,394	2,536	97.6
	沼津路	1,196	1,322	110.5
	広島市周辺(原爆ドーム、平和公園など)	9,250	12,299	133.0
	廿日市市周辺(宮島、もみの木森林公園など)	4,814	7,328	152.2
	尾道市周辺(香取寺、香取寺公園など)	4,274	5,012	114.6
山口県	福山市周辺(福の湯、みるくの家など)	3,223	4,506	139.8
	高市周辺(大和ミュージアム、入船山記念館など)	1,794	2,569	143.2
	下関市周辺(道の駅(北瀬田温泉北、海響館、青島が台公園など)	4,559	5,718	125.4
	山口県立(山口県立美術館、道の駅(山口県立美術館、山口県立美術館など)	4,078	5,079	124.5
	宇部市周辺(銭湯、吉野公園など)	1,974	2,455	140.6
防府市周辺(防府天満宮、彫形市場防府など)	2,049	2,315	113.0	

出典：DBJ(国土交通省)「中国地方観光ハンドブック2024」2

#### 事前調査 実地試行の実施候補地(景勝地) 鳥取県



3

#### 事前調査 実地試行の実施候補地(景勝地) 島根県



4

#### 事前調査 実地試行の実施候補地(景勝地) 岡山県



5

#### 事前調査 実地試行の実施候補地(景勝地) 広島県

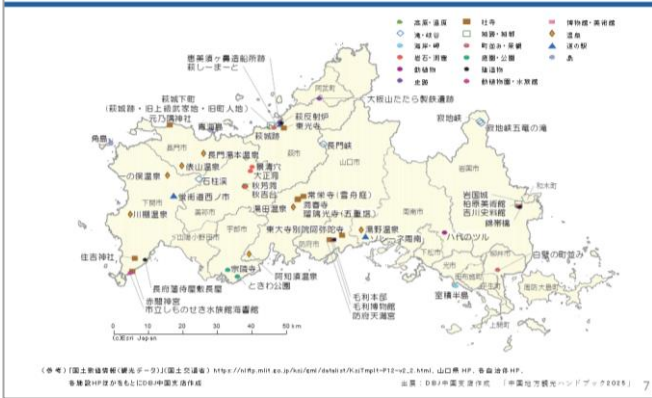


6

## 2. 実施内容と結果

### (1) 景勝地の事前調査

事前調査 実地試行の実施候補地(景勝地) 山口県



## 2. 実施内容と結果

### (1) 景勝地の事前調査 (鳥取県)

#### 景勝地 来訪状況 (鳥取県)

0

##### 鳥取県

###### 国立公園の数と利用者数 (2023年)

NO	都道府県	公園の数	利用者(千人)
①	鳥取県	2	4,322

###### 国立公園の数 (2023年)

NO	都道府県	公園の数	利用者(千人)
①	鳥取県	2	223

###### 都道府県立自然公園の数 (2023年)

NO	都道府県	公園の数	利用者(千人)
①	鳥取県	3	1,479

###### 都道府県立自然公園の利用者数 (2023年)

NO	都道府県	公園名	利用者(千人)
①	鳥取県	三都東海沿道	1,354
②	鳥取県	鳥白野	94
③	鳥取県	鳥取灘	31

###### 国立公園内ビジターセンター等利用者数 (2023年)

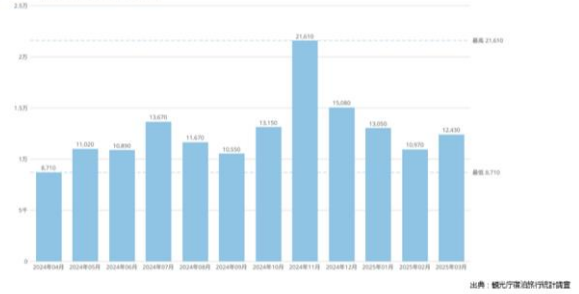
NO	都道府県	公園名	施設名	利用者(千人)
①	鳥取県	山陰海岸	鳥取砂丘ビジターセンター	304,001
②	鳥取県	大山隠岐	大山ビジターセンター	81,905
③	鳥取県	大山隠岐	鳥取県立自然歴史館	46,305
④	鳥取県	山陰海岸	鳥取砂丘フィールドハウス・集約館	17,720
⑤	鳥取県	山陰海岸	山陰海岸ジオパーク観光大迫自然歴史館	17,668
⑥	鳥取県	山陰海岸	鳥取砂丘フィールドハウス・オアシス館	15,782

出典：環境省

#### インバウンドの来訪状況 (鳥取県)

1

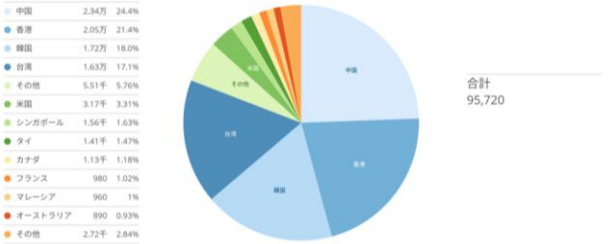
##### 外国人延べ宿泊者数推移(月別)



#### インバウンドの来訪状況 (鳥取県)

2

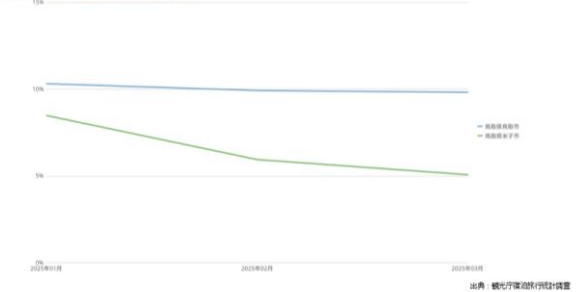
##### 訪日外国人旅行者数国籍別 (2024年4月～2025年3月)



#### インバウンドの来訪状況 (鳥取県)

3

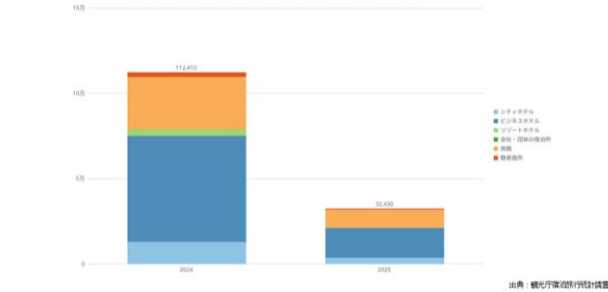
##### 市区町村別 延べ宿泊者数外国人割合



#### インバウンドの来訪状況 (鳥取県)

4

##### 外国人延べ宿泊者数/宿泊タイプ別 (2024年4月～2025年3月)



## 2. 実施内容と結果

### (1) 景勝地の事前調査 (島根県)

#### 景勝地 来訪状況 (島根県)

5

##### 島根県

###### 国立公園の数と利用者数 (2023年)

NO	都道府県	公園の数	利用者(千人)
①	島根県	1	9,465

###### 国立公園の数 (2023年)

NO	都道府県	公園の数	利用者(千人)
①	島根県	2	89

###### 都道府県立自然公園の数 (2023年)

NO	都道府県	公園の数	利用者(千人)
①	島根県	11	2,289

###### 都道府県立自然公園の利用者数 (2023年)

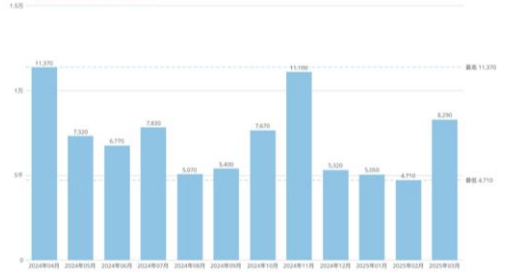
NO	都道府県	公園名	利用者(千人)
①	島根県	雲水月山	804
②	島根県	万葉朝北山	646
③	島根県	赤松尾崎	283
④	島根県	鐘巻岬	258
⑤	島根県	魂の志留	146
⑥	島根県	立久志岬	91
⑦	島根県	江の川流域	39
⑧	島根県	岩島岬	18
⑨	島根県	香取山	16
⑩	島根県	姫路八重城	7
⑪	島根県	千文瀨	1

出典：環境省

#### インバウンドの来訪状況 (島根県)

6

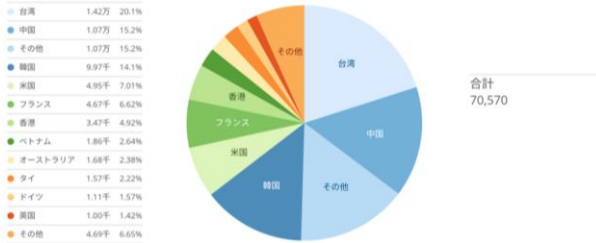
##### 外国人延べ宿泊者数推移(月別)



#### インバウンドの来訪状況 (島根県)

7

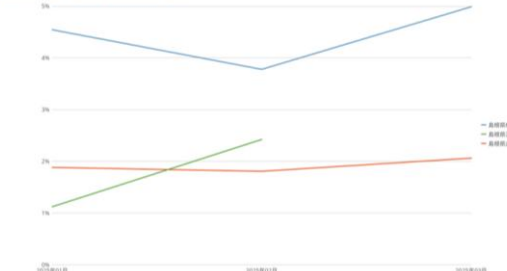
##### 訪日外国人旅行者数国籍別 (2024年4月～2025年3月)



#### インバウンドの来訪状況 (島根県)

8

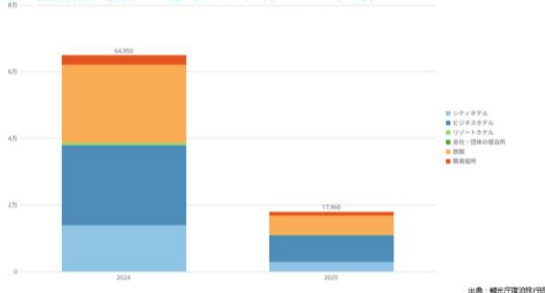
##### 市区町村別 延べ宿泊者数外国人割合



#### インバウンドの来訪状況 (島根県)

9

##### 外国人延べ宿泊者数/宿泊タイプ別 (2024年4月～2025年3月)



## 2. 実施内容と結果

### (1) 景勝地の事前調査 (岡山県)

#### 景勝地 来訪状況 (岡山県)

10

##### 岡山県

###### 国立公園の数と利用者数 (2023年)

NO	都道府県	公園の数	利用者(千人)
①	岡山県	2	5,845

###### 国立公園の数 (2023年)

NO	都道府県	公園の数	利用者(千人)
①	岡山県	1	139

###### 都道府県立自然公園の数 (2023年)

NO	都道府県	公園の数	利用者(千人)
①	岡山県	7	4,309

###### 都道府県立自然公園の利用者数 (2023年)

NO	都道府県	公園名	利用者(千人)
①	岡山県	赤松長土記公園	1,719
②	岡山県	吉備史跡	1,176
③	岡山県	産業遺産	556
④	岡山県	高梁(上流)	402
⑤	岡山県	備前山地	212
⑥	岡山県	吉備美池	158
⑦	岡山県	吉野川中流	85

###### 国立公園/ビジターセンター等利用者数 (2023年)

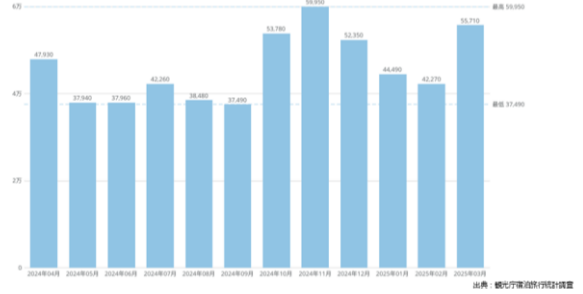
NO	都道府県	公園名	施設名	利用者数(千人)
①	岡山県	瀬戸内海	響山ビジターセンター	32,023

出典：関係者

#### インバウンドの来訪状況 (岡山県)

11

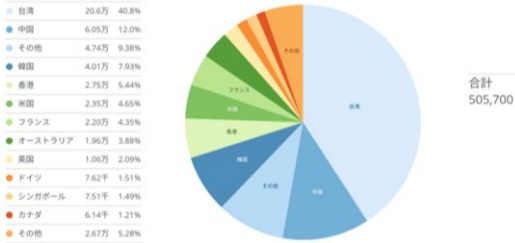
##### 外国人延べ宿泊者数推移(月別)



#### インバウンドの来訪状況 (岡山県)

12

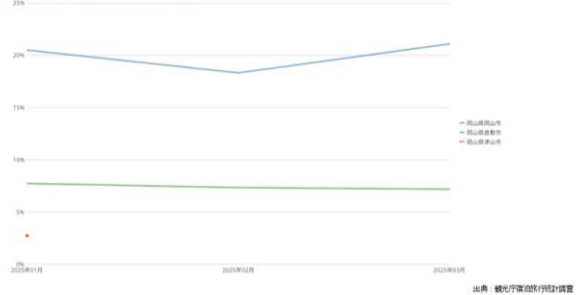
##### 訪日外国人旅行者数国籍別 (2024年4月～2025年3月)



#### インバウンドの来訪状況 (岡山県)

13

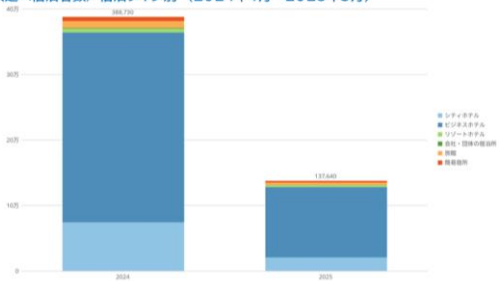
##### 市区町村別 延べ宿泊者数外国人割合



#### インバウンドの来訪状況 (岡山県)

14

##### 外国人延べ宿泊者数/宿泊タイプ別 (2024年4月～2025年3月)



## 2. 実施内容と結果

### (1) 景勝地の事前調査 (広島県)

#### 景勝地 来訪状況 (広島県)

15

##### 広島県

###### 国立公園の数と利用者数 (2023年)

NO	都道府県	公園の数	利用者(千人)
①	広島県	1	6,324

###### 国立公園の数 (2023年)

NO	都道府県	公園の数	利用者(千人)
①	広島県	2	694

###### 都道府県国立自然公園の数 (2023年)

NO	都道府県	公園の数	利用者(千人)
①	広島県	6	406

###### 都道府県国立自然公園の利用者数 (2023年)

NO	都道府県	公園名	利用者(千人)
①	広島県	竹野寺	164
②	広島県	尾道寺	122
③	広島県	山形峠	100
④	広島県	三倉峠	14
⑤	広島県	津之尾峠	4
⑥	広島県	熊野峠	1

###### 国立公園内ビジターセンター等利用者数 (2023年)

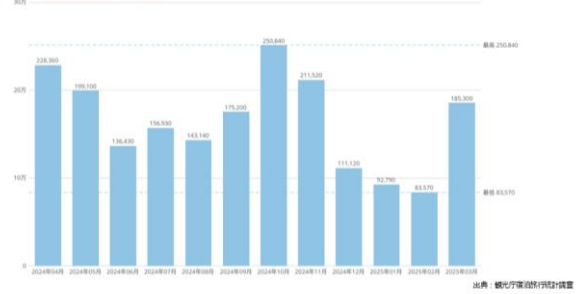
NO	都道府県	公園名	施設名	利用者数(千人)
①	広島県	瀬戸内海	大久野島ビジターセンター	53,401

出典：環境省

#### インバウンドの来訪状況 (広島県)

16

##### 外国人延べ宿泊者数推移(月別)



#### インバウンドの来訪状況 (広島県)

17

##### 訪日外国人旅行者数国籍別 (2024年4月～2025年3月)

● その他	29.9万	19.2%
● 米国	20.7万	13.3%
● オーストラリア	14.0万	8.99%
● 台湾	12.2万	7.87%
● 中国	11.2万	7.22%
● 英国	10.9万	6.98%
● フランス	10.6万	6.81%
● 韓国	10.5万	6.73%
● ドイツ	8.83万	5.68%
● イタリア	5.83万	3.75%
● スペイン	4.47万	2.87%
● カナダ	3.82万	2.45%
● その他	12.6万	8.13%



合計

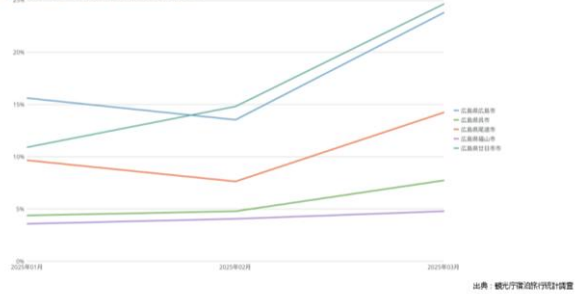
1,555,350

出典：観光庁観光統計調査

#### インバウンドの来訪状況 (広島県)

18

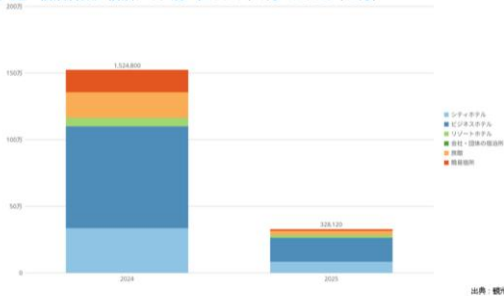
##### 市区町村別 延べ宿泊者数外国人割合



#### インバウンドの来訪状況 (広島県)

19

##### 外国人延べ宿泊者数/宿泊タイプ別 (2024年4月～2025年3月)



## 2. 実施内容と結果

### (1) 景勝地の事前調査 (山口県)

#### 景勝地 来訪状況 (山口県)

20

##### 山口県

###### 国立公園の数と利用者数 (2023年)

NO	都道府県	公園の数	利用者(千人)
山口県	山口県	1	1,186

###### 国立公園の数 (2023年)

NO	都道府県	公園の数	利用者(千人)
山口県	山口県	3	2,566

###### 都道府県立自然公園の数 (2023年)

NO	都道府県	公園の数	利用者(千人)
山口県	山口県	4	702

###### 都道府県立自然公園の利用者数 (2023年)

NO	都道府県	公園名	利用者(千人)
山口県	山口県	備前川	557
山口県	山口県	備前川	88
山口県	山口県	石橋山	49
山口県	山口県	備前川	8

###### 国立公園内ビジターセンター等利用者数 (2023年)

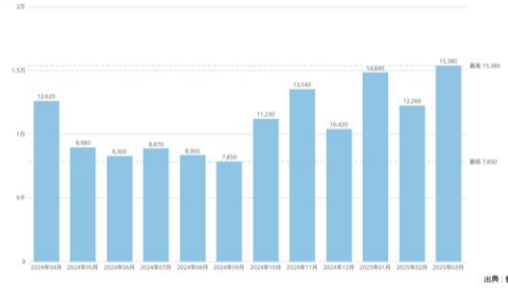
NO	都道府県	公園名	施設名	利用者(千人)
山口県	山口県	-	-	-

出典：環境省

#### インバウンドの来訪状況 (山口県)

21

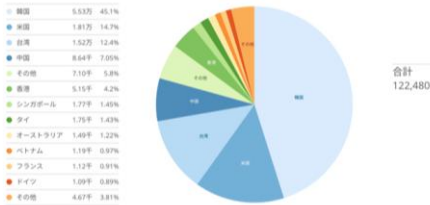
##### 外国人延べ宿泊者数推移(月別)



#### インバウンドの来訪状況 (山口県)

22

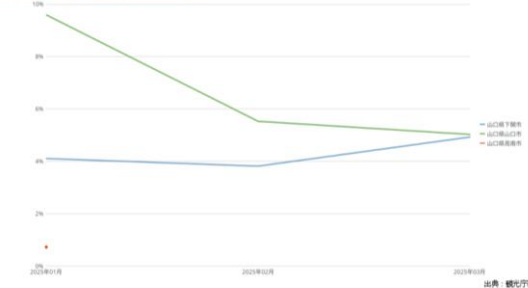
##### 訪日外国人旅行者数国籍別 (2024年4月～2025年3月)



#### インバウンドの来訪状況 (山口県)

23

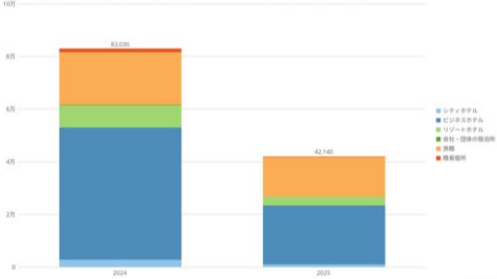
##### 市区町村別 延べ宿泊者数外国人割合



#### インバウンドの来訪状況 (山口県)

24

##### 外国人延べ宿泊者数/宿泊タイプ別 (2024年4月～2025年3月)



## 2. 実施内容と結果

### (1) 景勝地の事前調査

#### チェックポイント

25

##### 伝統芸能等を実施するにあたって必要となる手続き等

NO	対象	内容	注意点
①	文化財保護法に基づく許可・届出	築山、築山文化財、史跡、名勝、天然記念物などに指定されている景勝地（景勝地、準自然記念物）で公演を行う場合。	文化財の所在地を営業、入館、観劇、演劇及び非行高行する際には、文化庁や地方公共団体の教育委員会への許可申請や届出が必要。特に、火災の発生、振動の発生、傾斜地の崩壊などは慎重な検討が必要。
②	自然公園法・景観法に基づく許可・届出	国立公園、国立公園、国立自然公園内で公演を行う場合。	景観法に基づき可能な限り工作物の設置や、自然環境を考慮し等々を行う際は、関係官庁や地方公共団体からの許可申請が必要。
③	道路法に基づく道路法に基づく許可	公道の一部を占有して公演を行う場合。	道路使用許可（警察署）や道路占用許可（道路管理署）が必要。公道使用許可は、関係官庁からの許可申請が必要。
④	消防法に基づく届出・許可	不特定多数の観客が集まる場所での公演（火災、けが、負傷、盗難など）を使用する場合。	消防署への事前届出が必要。火災使用許可が必要。防火設備の設置や避難経路の確保が必要。
⑤	騒音規制法・地方公共団体の条例に基づく届出	大音量の音響（音楽、音響）を伴う公演の場合、住宅地近や夜間・早朝など。	騒音規制法や地方公共団体の条例に基づき、音量や時間帯の制限を受ける場合がある。事前届出や騒音規制法の遵守が必要。
⑥	著作権法・肖像権・プライバシー権	公演の録音・録音、写真撮影、SNS等での発信、特定の個人（出演者、観客）が写り込んだ写真の公表。	著作権法や肖像権（本人同意の取得）、画像権（本人同意の取得）やプライバシー権（本人同意の取得）の取得が必要。事前届出や許可申請が必要。
⑦	消防法・消防法に基づく届出・許可	危険物の保管や使用、危険物の運搬や使用。	消防法に基づく許可や、危険物運搬許可（警察署）が必要。

#### チェックポイント

26

##### 伝統芸能等を実施するにあたって確認しておく事項

NO	対象	備考
①	専門家の選定	文化財専門家、文化財保護法に精通する専門家、事前に相談し、適切なアドバイスをもらうことで、手続きの遅れやトラブルを未然に防ぐ。 DMO・観光コンサルタント、地域内のDMOや観光コンサルタント、地域関係の専門家や手続に精通する専門家を選定し、地域での知名度を高める。
②	景勝地の情報収集と計画策定	景勝地関係の事前相談、景勝地の情報収集と計画策定、景勝地の関係者や関係機関と相談し、必要に応じて事前相談や協議を行う。
③	地域住民・関係者との合意形成	コミュニケーション戦略、金銭的サポートで計画を立て、各関係者の協力を得る（オープン・ポリシー） 丁寧な説明と情報提供、景勝地の関係者や関係機関と相談し、必要に応じて事前相談や協議を行う。
④	代議士の確保	景勝地関係の事前相談、景勝地の関係者や関係機関と相談し、必要に応じて事前相談や協議を行う。
⑤	情報発信と多言語対応	多言語での情報提供、必要に応じて多言語対応、必要に応じて多言語対応、必要に応じて多言語対応。

2. 実施内容と結果

(2)伝統芸能団体の事前調査

令和7年度 訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業(実証事業) 「中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業」業務

【事前調査】

事前調査 実地試行の実施候補地と選定方針

対象となる景勝地・伝統芸能リスト(案)

Table with 5 columns: 県名, 景勝地(主な候補), 伝統芸能名, 実施団体・運営主体, 特徴・備考. Lists various locations and performances like '備中神楽' and 'ひろしま神楽'.

2

事前調査 実地試行の実施候補地と選定方針

1) 岡山県・備中神楽

Overview of '備中神楽' (Bichu Kagura) including its history, current status, and performance dates. Includes a small image of a performance.

Enterprise and Collaboration Information for '備中神楽' (Bichu Kagura), including Charmant and local tourism initiatives.

3

事前調査 実地試行の実施候補地と選定方針

2) 岡山県・初賀利理方一流(甲胄技術)

Overview of '初賀利理方一流(甲胄技術)' (Hirakata Ritsuryu) including its history, current status, and performance dates. Includes a small image of a performance.

Enterprise and Collaboration Information for '初賀利理方一流(甲胄技術)', including SAMURAI cultural events.

4

事前調査 実地試行の実施候補地と選定方針

3) 広島県・ひろしま神楽

Overview of 'ひろしま神楽' (Hiroshima Kagura) including its history, current status, and performance dates. Includes a small image of a performance.

Enterprise and Collaboration Information for 'ひろしま神楽', including Hiroshima Kagura Association and local tourism initiatives.

5

事前調査 実地試行の実施候補地と選定方針

3) 広島県・ひろしま神楽(資料)

Screenshot of a website for 'ひろしま神楽' (Hiroshima Kagura) featuring a cruise ship performance advertisement.

6



## 2. 実施内容と結果

### (3) 電子記事の作成



**DID YOU KNOW KAGURA?**

"Where the arts of the gods breathe life into daily living. Journeying through the crossroads of culture"

January 21-22, 2026



### Introduction to Kitahiroshima Town

Kitahiroshima Town (formerly Chiyoda Town) is located in the northwestern part of Hiroshima Prefecture, a town blessed with abundant nature along the Kono River. It also serves as a cultural crossroads where the Sanyo and Sanin regions meet, connecting Kansai and Kyushu via expressways. Folk arts such as Hanadaue rice planting, Hanagasa dance, and Kagura are actively preserved and passed down, and the town has flourished since ancient times primarily through agriculture.



**Kitahiroshima: A cultural crossroads connecting San'in and San'yo, Kansai and Kyushu**



**Access**

- 広島市内からは車で約1時間!
- 松江から約1時間50分
- 大阪から約4時間30分
- 東京から約5時間30分
- 岡山から約2時間30分
- 松山から約3時間
- 福岡から約4時間


※所要時間は目安です。

### How to Spend Your Trip

### KAGURA

### Introduction

#### Cultural Garden City Kitahiroshima Town



### 「DID YOU KNOW KAGURA?」

That question will plant a quiet seed of curiosity deep within your heart.

If you feel you are losing sight of what truly matters amidst the clamor of modern society,

If you are swept up in busyness, on the verge of forgetting gratitude for your family and yourself.


If you are searching for universal meaning to serve as your life's compass in these uncertain times.

Welcome to Kitahiroshima Town, Hiroshima Prefecture.

Here, deep within Japan's mountains, ancient deities still breathe. And the living tradition story, preserved for centuries by Arita Hachiman Shrine and the Arita Kagura Troupe rooted in this land, still breathes here.

Why do they continue to pass down this Kagura? What meaning and wishes are woven into their dance? This story is not merely a travelogue. It will become a journey of discovery, one that deeply questions your heart and helps you find new "hints for living."

Are you ready to touch the soul of an unknown Japan?



(Kitahiroshima Town, Hiroshima Prefecture × Geihoku Kagura)

DATE	Start	End	Location	Main Content
January 21 (WED)	10:35		Near the Shinkansen ticket gates at JR Hiroshima Station	Staff will be waiting for you with stickers for the 「KAGURA & KYOGEN TOUR」.
	10:50		Hiroshima Station North Exit 1st Floor Bus Terminal	Departure by minibus
	11:40	11:50	Roadside Station Mai Center	Restroom break
	12:00	12:45	Mibu Castle Ruins	You can see the entire town at a glance
	13:00	14:00	Lunch: Henpoko Tea House	Menu featuring local ingredients Homemade mochi and other items
	14:15	14:45	Geihoku Folk Performing Arts Preservation and Transmission Center	Discover Life in Kitahiroshima Town
	15:00	16:30	Arita Hachiman Shrine	Visiting the shrine grounds, Kagura mask painting experience
	18:15	19:30	Dinner (Tatsumori / Interaction with Locals)	Menu featuring local ingredients
January 22 (THU)	20:00	22:00	Arita Hachiman Shrine	Kagura Performance. Scheduled Programs: "Descent of the Gods", "Yamata no Orochi"
	22:15		Hiroshima Kita Hotel	Stay
	09:45	10:30	Roadside Station Mai Center	After purchasing souvenirs, we will disband

※ Please note that this itinerary may be subject to change due to road conditions, weather, or other circumstances in various locations.  
 ※ We will travel by minibus for the entire journey. (Taxis will be used for some sections.)

## 2. 実施内容と結果

## (3) 電子記事の作成

## Mibu Castle Ruins



Can you imagine where this place is located on a map of Japan? The rice paddies stretching out before you, and this view that extends far into the distance. Think about where this land, which has cherished the culture of rice cultivation since ancient times, might be situated in Japan. The ruins of Mibu Castle are the remains of a mountain castle built by the Mibu clan, vassals of the Mōri clan, during the Warring States period. It is an important historical site that tells the story of Kitahiroshima Town's history.

## Lunch: Henpoko Tea House



This is Henpoko Chaya, nestled in a small mountain village. Originally a rice farm, this teahouse now serves dishes made with local ingredients in this nature-surrounded setting. What ingredients do you think we use? Dishes made with local ingredients at the foot of the famous "Water of Revival." Why not savor your meal at your leisure while gazing at the expansive view before you?

## Geihoku Folk Performing Arts Preservation and Transmission Center



In this region, various folk performing arts are held throughout the four seasons. Can you imagine what kind of farming work takes place each season and what performing arts developed in response? On the first floor, we introduce seasonal folk performing arts and the tools of rural life that underpin them, following the flow of farming work through spring, summer, autumn, and winter. The second floor displays part of the collection gathered by Hisato Shindo, a researcher of Geihoku region folklore, offering a different perspective on rural life.

6

## Feel the Kagura

## Watch the kagura performed by the Arita Kagura Troupe



IMAGE

Geihoku Kagura is a form of kagura that incorporates myths and legends into dances performed to give thanks for the autumn harvest. It combines the "old dances" transmitted from the Iwami region in western Shimane Prefecture throughout Yamagata District with the "new dances" transmitted from the Iwami region via Takata District after the war. These converged in eastern Kitahiroshima Town and are passed down as the region's folk performing art. The Geihoku region, encompassing Yamagata District, Akitakata City, and surrounding areas, is particularly renowned as a thriving center for kagura. The Arita Kagura Troupe, centered around Arita Hachiman Shrine, strives daily under the motto of preserving tradition while embracing new challenges.

## Program Overview ① Summoning the Gods



The ritual dance performed at the beginning of kagura is a crucial piece for welcoming the deity from the shrine hall. To the solemn sounds of flutes and drums, the dancers perform sacred movements to bring down the deity, filling the stage with pure air. In Geihoku Kagura, it preserves the ancient, dignified style and is positioned as the symbolic dance announcing the start of the kagura.

## Program Summary: ② Yamata no Orochi



IMAGE

Yamata no Orochi is a grand performance representing Geihoku Kagura, depicting the battle between the eight-headed serpent and the hero Susanoo-no-Mikoto. The stage features dramatic effects like smoke and tightrope walking, and the Arita Kagura Troupe has preserved the ancient movements passed down since the Edo period. Designated as a Prefectural Intangible Folk Cultural Property, it is highly regarded as a masterful art form that overwhelms audiences.

10

## Arita Hachiman Shrine



IMAGE

Nestled within the rich natural surroundings of Kitahiroshima Town, Arita Hachiman Shrine features towering cedar trees over several hundred years old within its grounds, creating a sacred atmosphere. The shrine buildings are adorned with intricate carvings, making them well worth seeing. In autumn, the annual festival is held, sometimes featuring offerings of local traditional performing arts and kagura. Why not experience the culture cherished by the community at this place where history, nature, and faith come together?

## Dinner: Local Exchange "Tatsumori"



IMAGE

IMAGE

This is a cozy, homey restaurant beloved by locals. Run by a friendly owner and frequented by regulars, it offers a glimpse into everyday life in Kitahiroshima Town. Even strangers feel welcomed like family here. Why not share your cherished outlook on life and your innermost thoughts with the locals over a glass of delicious local sake?

## Roadside Station Mai Center



Located right next to the Chivoda Interchange on the Chuogoku Expressway, this is the gateway to Kitahiroshima Town. The spacious facility features a restaurant using local ingredients and a specialty goods sales corner, offering regional products like Kagura goods and local sake. And here stands a large drum symbolizing Kitahiroshima Town. Why not come and feel the thoughts and culture of the residents embodied within this drum?

8

## MEMO

11

## 2. 実施内容と結果

### (3)電子記事の作成



**KYOGEN'S BATON  
DID YOU KNOW KYOGEN?**

Kyogen: A Tradition Spanning Over 600 Years  
"Passing the Baton of Regional Charm and Cultural Heritage"

January 22-23, 2026

### How to Spend Your Trip

〔Yamaguchi City, Yamaguchi Prefecture × Sagiryū Kyōgen〕				
DATE	Start	End	Location	Main Content
January 22 (THU)	12:30	13:30	Lunch: Original Kawara Soba Takase (Ryuan Restaurant)	Yamaguchi Specialty Dish: "Kawara Soba"
	14:00	15:15	Tōshunji Temple	Met up with the kyogen performers. Watched the kyogen performance. Scheduled play: 'Oni-gawara'
	15:30	16:00	Scenic Spots Visited with Kyogen Performers	We'll stroll around the surrounding areas, including Ichinosakagawa.
	16:00	16:30	Yamaguchi Hometown Heritage Center	Facilities for the preservation of Yamaguchi's cultural heritage and natural environment
	16:30	17:30	Ryūfuku-ji Temple, pond-and-garden landscape, etc.	The culture centered around Yamaguchi during the Muromachi period is known as the Ōuchi culture. We will visit the ancestral temple of the Ōuchi clan.
	17:30	19:30	Italian Restaurant 'Be' che e'	Interaction with Kyogen performers and local residents
January 23 (FRI)	20:00		Yamaguchi Yuda Onsen	Stay
	09:30	10:00	Tōshunji Temple	Experience touching costumes and masks
	10:00	12:00	Kyogen Performance & Kyogen Experience	Experience vocal techniques and movements under the guidance of performers of improvised plays and kyogen
	12:00	14:30	JR Hiroshima Station	Disperse at JR Hiroshima Station

※Please note that this itinerary may be subject to change due to road conditions, weather, or other circumstances in various locations.  
※We will travel by minibus for the entire journey.



### About Yamaguchi City

Yamaguchi City is located almost at the center of Yamaguchi Prefecture, a city where rich nature and historical culture harmonize. Did you know that this city of Yamaguchi was once called the "Western Kyoto" during the Muromachi period, and that its streetscapes and temples, deeply influenced by Kyoto culture, still thrive today? Scattered throughout are scenic spots that soothe the soul, such as renowned temples like Doshunji, the Ichinosakagawa River where you can enjoy the charm of each season, and Yuda Onsen.

Where ancient wisdom meets modern vitality, Yamaguchi City is also a captivating cultural hub where you can experience the traditional performing art of Kyogen. Let's set out on a journey to discover the charm of Yamaguchi City and delve deeper into its culture.

### A Journey to Experience Kyogen, a Tradition Spanning Over 600 Years "The Baton of Regional Charm and Cultural Heritage"



### Lunch: Original Kawara Soba Takase · Rice Restaurant Ryuan Branch



Your journey begins with a local specialty unique to Yamaguchi. Have you heard of "Kawara Soba"? Sizzling buckwheat noodles are served piping hot on a ceramic tile, topped with beef, shredded omelet, nori seaweed, grated daikon radish, lemon, and more—a vibrant feast for the eyes. Experience the unique look and the distinctive texture created by the hot tile. Why not savor this Yamaguchi specialty, Kawara Soba, with its special dipping sauce?

### Tōshunji Temple / Kyōgen Performance



The mountain gate of this historic temple in Yamaguchi City, known as the ancestral temple of Mori Motonari and designated a National Important Cultural Property, is a four-legged gate from the Muromachi period. The demon-faced roof tiles adorning its gabled roof convey the powerful style of Zen architecture from that era. Here at Dōshunji Temple is housed the portrait painting "Portrait of Shōgaku Teiko on Silk with Colored Pigments," designated as a Tangible Cultural Property of Yamaguchi Prefecture.

Yamaguchi Sagi-ryū Kyōgen, a traditional performing art passed down in Yamaguchi Prefecture. The Sagi-ryū Kyōgen tradition of Yamaguchi traces its lineage to the kyōgen performed by the Chōshū domain. Sagi-ryū, along with Ōkura-ryū and Izumi-ryū, formed the three major schools of kyōgen. However, it rapidly declined after the Meiji Restoration. Following the extinction of the head family in Meiji 28 (1895), there was no successor to carry on the tradition, leading to the school's extinction. Miraculously, this lineage of Sagi-ryū has been preserved here in Yamaguchi.



## 2. 実施内容と結果

### (3) 電子記事の作成



#### Successor to the Yamaguchi Sagi-ryū Kyōgen tradition: Mr. Tarō Yonemoto



A holder of Yamaguchi Prefecture's Designated Intangible Cultural Property, "Sagiryū Kyōgen." He joined the Yamaguchi Sagiryū Kyōgen Preservation Society at age 3 and made his stage debut at age 7, boasting a 40-year career. He studied Noh at Tokyo University of the Arts' Department of Traditional Japanese Music and received the Prefectural Arts and Culture Promotion Encouragement Award in 2016. Sagiryū Kyōgen lost its headmaster during the Meiji period. Since then, it has been passed down by dedicated enthusiasts and was designated a Prefectural Intangible Cultural Property in 1967.

#### Ichinosaka River



Ichinosakagawa River is the heart of the charming town of Yamaguchi. In spring, admire cherry blossoms and azaleas; in early summer, witness the Genji fireflies. Enjoy the seasonal sights throughout the year. Why not take a leisurely stroll along the river with a kyogen performer?

#### Hometown Heritage Center

This facility offers hands-on learning experiences of Yamaguchi City's traditional culture. It consists of three buildings: the "Learning Hall," utilizing a Meiji-era sake brewery; the "Crafts Hall," where you can experience artisan techniques; and the "Elegance Hall," recreating a historic folk house. The facility also hosts firefly conservation breeding activities and cultural events. Why not come and experience a place where you can connect with Yamaguchi's traditions?



Ouchi Lacquerware Experience    Event Information    Shop    Tourist Information    Firefly Breeding

6



### Experience the essence of Sagisyu-kyogen

#### Costume Experience



Why not take a deeper dive into the world of Kyogen, Japan's traditional performing art? Let's hear about the magnificent costumes worn by Kyogen performers on stage and the expressive masks they wear.

If you could feel the texture and weight of those costumes up close, or see the intricate craftsmanship of the masks firsthand, might you begin to imagine what it feels like for the performers to take the stage?

Why not immerse yourself in the role of a kyogen performer and experience its profound depth and aesthetic sensibility with all five senses?

#### Kyogen Experience (Vocal Techniques, Movement, etc.)



Why not delve deeper into the profound world of Kyogen? Under the guidance of Kyogen performers, you can experience firsthand the unique vocal techniques and fundamental movements of Kyogen. What discoveries will you make as you enjoy learning the basics of Kyogen—such as "Utai" (singing from the depths of your belly), how to move your body on stage, and how to use a fan? By vocalizing and moving your body, you'll surely feel the humor, rhythm, and sheer joy of performing that kyogen possesses.

If you could fully immerse yourself in the role of a kyogen performer, experience Japan's traditional performing arts, and savor new discoveries and profound emotions, wouldn't that surely become a wonderful experience deeply etched in your heart?

10



#### Ryufukuji Temple



In 1551, Mōri Takamoto rebuilt the temple at its present location as the ancestral temple for Ouchi Yoshitaka. The main hall is a relocated structure from the Shaka-dō Hall of Kōryū-ji Temple, built during the Muromachi period. It retains its elegant appearance with an irimoya-style roof covered in cypress bark shingles and is designated a National Important Cultural Property. The museum within the grounds displays valuable paintings and images associated with the Ouchi clan. What lies atop the roof? Be sure to check it out for yourself on site. The beautiful pond-and-stream garden, conveying the elegance of Ouchi culture to this day, was created against the backdrop of Muromachi-period Zen culture. Skillfully incorporating natural scenery as both a dry landscape garden and a strolling pond-and-stream garden, it evokes a sense of tranquility and aesthetic beauty in visitors.

#### Dinner at Italian Restaurant Be'che



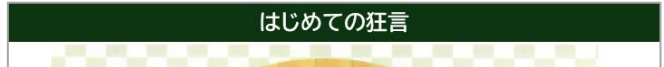
**Italian Restaurant Be'che**  
This is a truly charming space where nostalgic Japanese traditional houses blend with art. Italian Restaurant BECHE? is an Italian restaurant run by husband and wife team Roberto, an Italian artist, and Chef Tae Kokawa, who trained in authentic Italian cuisine in Italy. Why did they move here and open a restaurant? Be sure to ask them about it at this beloved local spot.

#### Accommodation: Yuda Hot Springs



Yuda Onsen is a renowned hot spring whose name originates from fields where water naturally bubbled up. Abundant colorless, transparent alkaline simple springs flow here, supporting over 30 inns and making it the premier hot spring resort in the San'yo region. The place name was first recorded in 1200, giving it over 810 years of history. Legends of its discovery include the "White Fox Hot Spring" tale, where a white fox guided people to heal wounds, and another story where Ouchi Yoshihiro found the spring following an old monk's guidance. It has long been known for its highly medicinal properties. Why not soak in the hot spring and slowly reflect on today's experiences?

8



### はじめての狂言



#### Your First Kyogen Experience

For those seeing kyogen for the first time, or those who want to enjoy it more, here's what you need to know for a great viewing experience —from the performers' perspective.

#### (1) Understanding the Characters.

Various characters appear in kyogen. Frequently seen are the master (daimyō) and his retainer Tarōkanja. Tarōkanja disobeys his master's orders, gets into mischief, makes mistakes, and sometimes even helps his master—he possesses many personalities. Moreover, his character changes depending on the actor playing him. Married couple roles also vary, but many plays highlight the wife's (female character's) strength. Non-human beings appear too, ranging from supernatural beings like demons and gods to animals such as monkeys, foxes, and dogs, even down to mosquito spirits. Feel the humanity within the characters of Kyogen.

12

## 2. 実施内容と結果

## (3) 電子記事の作成

**(2) Learn the stories and find your favorite plays**

Kyogen plays fall into several story categories.

These include plays featuring deities or with celebratory themes, plays where a daimyo is the protagonist, plays starring Tarô Kanja, plays about married couples or sons-in-law, plays featuring demons or non-human beings, and plays featuring monks or those who have renounced the world.

Try finding the stories you like best.

**(3) Learn about the costumes of Kyogen.**

Kyogen features various costumes depending on the role. Understanding these costumes changes how you perceive the performance.



- Water Robe (Mizugoromo)
- Checkered Noshime Pattern (Koshi noshime)
- Half-Hakama with Tied Legs (Hanbakama kukuri hakama)
- Headband (Tokin)
- Bell Pendant (Suzukake)
- Waist Sash (Koshiobi)
- Small Knife (Chisagatana)

YAMABUSI's  
attire

Kyogen Picture Scroll "Kaki Yamabushi" (Collection of Yamaguchi City History and Folklore Museum)

13

**(4) Try laughing out loud without worrying about those around you.**

We sometimes hear comments like, "I don't know how to watch traditional performing arts."

First, just watch without overthinking it. You might find the language difficult or the movements hard to follow. At preservation society performances, we try to explain the program at the beginning whenever possible. We aim to remove barriers like difficulty or unfamiliarity. Some people find it enjoyable and interesting even on their first viewing. We hope those individuals will discover its charm even more deeply.

**(5) If you don't understand something, ask someone.**

As adults, we often hesitate to ask questions, but asking someone who knows is the quickest way to learn. In recent years, elementary schools have offered more opportunities for experiential performances. I believe children's pure eyes perceive kyogen as both challenging and enjoyable. Our role isn't to perform specifically for children; it's to convey the art equally to adults and children alike. Please don't hesitate to join beginner-friendly workshops or experiential events.



Kyogen Picture Scroll "Thunder of the Gods" (Collection of Yamaguchi City Museum of History and Folklore)

14

## 2. 実施内容と結果

### Ⅱ 実施内容と結果

- (Ⅰ) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する事前調査
- (Ⅱ) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進に向けた取組
- (Ⅲ) 調査結果報告会の開催

## 2. 実施内容と結果

### (1) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進に向けた検討会の開催

#### ▶ 第一回検討会 議事次第

“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する事前調査・可能性調査(実地試行)・勉強会の開催の方向性についての検討及び、今後の観光振興推進をするための検討の場として運営。

日時：令和7年7月23日(水) 14:00～16:30

場所：広島合同庁舎1号館附属棟2階 第13会議室

1. 開 会
2. 出席者紹介
3. 中国運輸局挨拶
4. 議 事
  - (1) 本事業の方向性と中国エリアの課題について
  - (2) 地域文化資源としての魅力と課題
  - (3) 実地試行の実施候補地と選定方針
  - (4) その他
5. 閉 会

#### 【資料】

- ・資料1 : 事前調査資料
- ・資料2 : 地域文化資源の事例紹介
- ・資料3 : 実地試行及び勉強会の実施候補地と選定方針

## 2. 実施内容と結果

## (1) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進に向けた検討会の開催

## ▶ 第一回検討会参加者

〈出席者〉

(順不同・敬称略)

区分	企業・団体名	職名等	氏名	ワライ
有識者	株式会社 OUGI	取締役	鈴木 雅己	
	株式会社 OUGI	ストーリーテラー	加藤 亜祐美	
	株式会社ジャーマン・インターナショナル	代表取締役	ルース・マリー ・ ジャーマン	
	株式会社 makes	代表取締役	後藤 直哉	
地域関係者	NPO 法人広島神楽芸術研究所	理事	砂田 充教	
	株式会社ゼロワン	取締役	石井 裕一	
	山口鷺流狂言保存会	山口県無形文化財保持者	米本 太郎	○
運営スタッフ	株式会社 JTB	広域交流事業推進マネージャー	市川 功	
	株式会社 JTB 岡山支店	観光開発プロデューサー	向井 祥子	○
	株式会社 JTB 山口支店	観光開発プロデューサー	山本 洋介	○
	株式会社 JTB 山陰支店	観光開発プロデューサー	上本 宏	○
	株式会社 JTB 鳥取支店	観光開発プロデューサー	北向 健司	○

〈事務局〉

(順不同・敬称略)

区分	企業・団体名	職名等	氏名	ワライ
事務局	中国運輸局	課長	柏木 実	
		主査	山崎 慎平	
		係員	中村 雪乃	
運営スタッフ	株式会社 JTB 広島支店	営業課長	山口 啓介	
		観光開発プロデューサー	安藤 真雄	
		グループリーダー	竹村 純	
		ディレクター	道下 ひより	

## 2. 実施内容と結果

## (1) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進に向けた検討会の開催

## ▶ 第一回検討会議事録

日時	7/23(水) 14:00～16:30
開催場所	広島合同庁舎1号館付属棟2階第13会議室
議題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業の方向性と中国エリアの課題について</li> <li>・地域文化資源としての魅力と課題</li> <li>・実地試行の実施候補地と選定方針</li> </ul>
議事	<p>(1) 主な論点</p> <p>◎ 伝統芸能の魅力と現状の制約 中国地方には石見神楽、備中神楽、鷺流狂言、安来節、麒麟獅子舞など多様な伝統芸能が存在し、それぞれ地域固有の歴史や生活文化と密接に結びついている。一方で、その多くは祭礼中心の活動にとどまり、演者の高齢化や担い手不足、公演機会の限定といった課題を抱えている。</p> <p>◎ 景勝地との物語的な親和性の重要性 観光資源としての展開にあたっては、伝統芸能そのものの魅力に加えて、地域の景観や歴史と融合した「ストーリー性」が重要であるという認識が共有された。神楽であれば出雲信仰とのつながり、狂言であれば武家文化との関連性といった軸が、観光体験の付加価値となる。</p> <p>◎ 市場特性の違いと戦略の柔軟性 広島は欧米豪FIT層が主な訪問者であり、英語対応やストーリー型演出のニーズが高い。一方で、島根・鳥取・山口・岡山は東アジア（台湾・韓国等）依存の傾向が強く、ターゲットの地域差をふまえて、あえて国籍ターゲットは限定せず「ストーリーに耐える地域」を優先する方針が確認された。</p> <p>◎ 観光商品化における実現性の条件 実地試行の候補地を選定するにあたっては、演出性や演者体制に加えて、夜間の実施可否・移動手段（二次交通）・価格設定・多言語対応といった観光商品の前提条件の有無も重要な判断軸となる。</p> <p>◎ 「1日鑑賞型」と「滞在型体験型」の2層構造 地域の受入体制や演者の負担や都合を踏まえ、今年度はまず「1日鑑賞型」の構築に焦点を当て、将来的に「滞在体験型」へと発展可能なモデルとする段階的アプローチを検討した。</p> <p>(2) 課題とアプローチ方針</p> <p>課題①：伝統芸能の観光資源化の難しさ → 地域主体と連携し、無理のない公演モデルをベースとする。</p> <p>課題②：ターゲット層の多様性と訴求軸の分散 → 国籍別の戦略を取らず、地域固有の物語性や文化的価値を軸に展開する。</p> <p>課題③：演出・体制・収益化の三層構造の未整備 → 地域関係者・演者・観光事業者による共創体制を構築し、将来的なモデル定着を見据える。</p> <p>課題④：広域性と他地域展開の可能性 → 広島を核とした連携可能性を活かし、他地域との文化圏形成を志向する。</p>

## 2. 実施内容と結果

### 第一回検討会 本資料

資料1

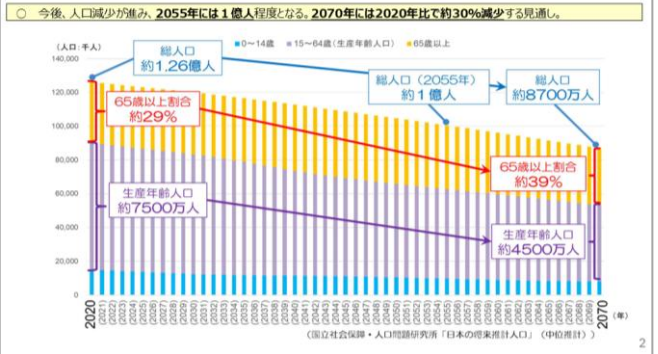
令和7年度 訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業(実証事業)  
「中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業」業務

【第一回検討会用資料】

令和7年7月23日

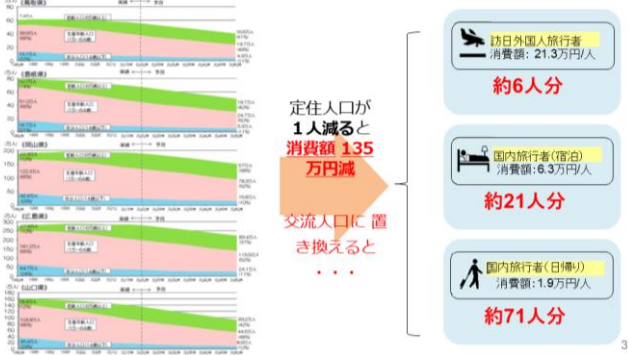
#### 1. 本事業の方向性と中国エリアの課題について

(1)中国地方の観光課題 -総人口・生産年齢人口の推移-



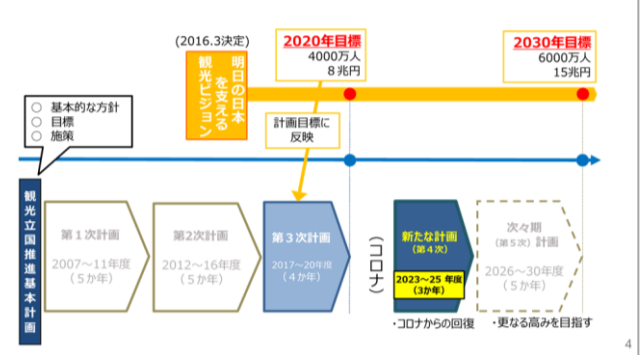
#### 1. 本事業の方向性と中国エリアの課題について

(1)中国地方の観光課題 -総人口・生産年齢人口の推移(県別)と観光がもたらす経済効果



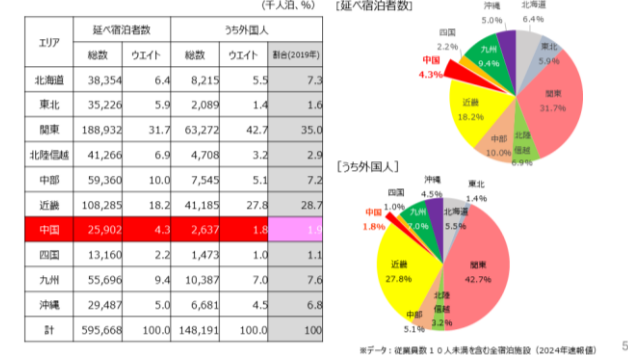
#### 1. 本事業の方向性と中国エリアの課題について

(1)中国地方の観光課題 -政府の取組の流れ・観光ビジョンとの関係-



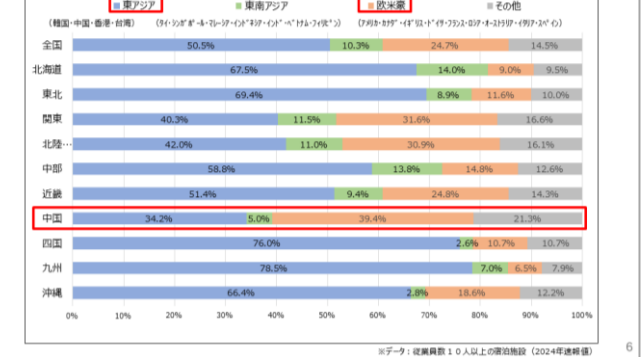
#### 1. 本事業の方向性と中国エリアの課題について

(1)中国地方の観光課題 -延べ宿泊者数の全国における中国地方の割合-



#### 1. 本事業の方向性と中国エリアの課題について

(1)中国地方の観光課題 -外国人延べ宿泊者数の国籍別割合(ブロック別)-

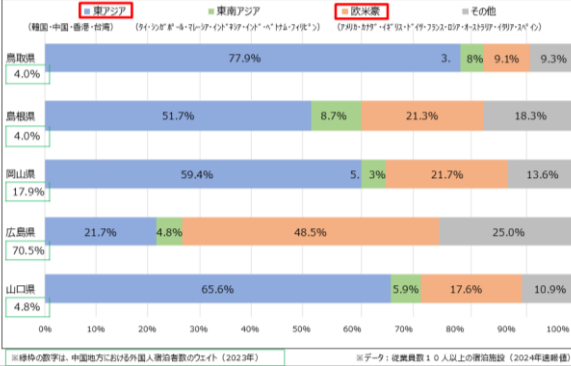


## 2. 実施内容と結果

### 第一回検討会 本資料

#### 1. 本事業の方向性と中国エリアの課題について

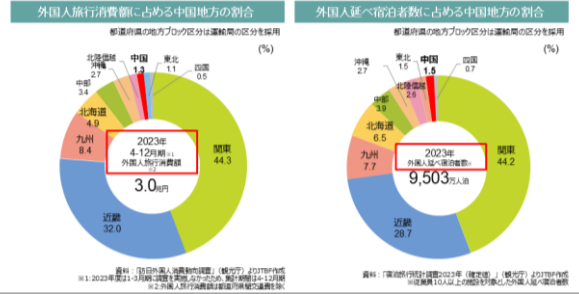
##### (1) 中国地方の観光課題 -外国人延べ宿泊者数の国籍別割合(県別)-



#### 1. 本事業の方向性と中国エリアの課題について

##### (1) 中国地方の観光課題 -インパウンドの消費額及び宿泊者数の中国地域シェア-

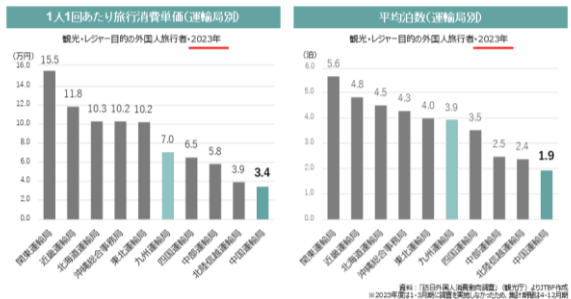
旅行消費額 (1.3%のシェア)、延べ宿泊者数 (1.5%のシェア)



#### 1. 本事業の方向性と中国エリアの課題について

##### (1) 中国地方の観光課題 -インパウンドの消費単価および平均泊数の地域間比較-

1人1回あたりの旅行消費単価 (3.4万円)、平均泊数 (1.9泊)



#### 1. 本事業の方向性と中国エリアの課題について

##### (2) 中国地方の観光課題まとめ

中国地方における外国人宿泊者数及び訪日外国人旅行消費単価は全国平均を大きく下回っている状況である。(2024年における外国人宿泊者数は、2,831,130人で、全国10ブロック中8位、訪日外国人旅行商品単価は、46,805円で全国10ブロック中最下位)

具体的な打ち手(宿泊者数や観光消費額増加に寄与する取組)として、伝統芸能の特別体験等のナイトコンテンツの造成・販売が考えられる。

- しかしながら、
- ① 伝統芸能・民俗芸能における舞手や奏者の多くは、本業を別持つ地域住民であり、定期公演や出張公演に制約がある。
- ② 宿泊施設や地域の受入体制機能が不十分

このことから、ナイトコンテンツとして売り出しにくい状況であると考えられる。

#### 1. 本事業の方向性と中国エリアの課題について

##### (3) 本事業の目的

中国地方における景勝地と伝統芸能・民俗芸能を掛け合わせたコンテンツがどの程度インパウンドに訴求力を持ち、**宿泊者数や観光消費額増加**を伴う来訪促進に向けたコンテンツとなり得るのが調査検討を行う。

$$\text{開散期及び平日} \times \text{平均滞在時間} \times \text{平均商品単価} \times \text{地域連携} = \text{域内消費効果}$$

$$\text{来訪客数} \times \text{滞在日数} \times \text{一人当たりの消費単価} \times \text{地域内調達率} = \text{観光消費額}$$

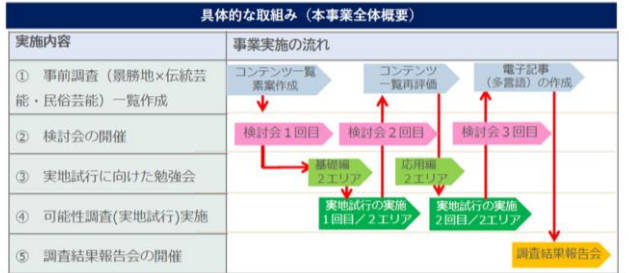
##### 【本実証事業の内容】

中国地方における“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”の可能性調査

- ◆ 業務Ⅰ “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する事前調査
- ◆ 業務Ⅱ “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進に向けた取組
- ◆ 業務Ⅲ 調査結果報告会の開催

#### 1. 本事業の方向性と中国エリアの課題について

##### (4) 全体スケジュール

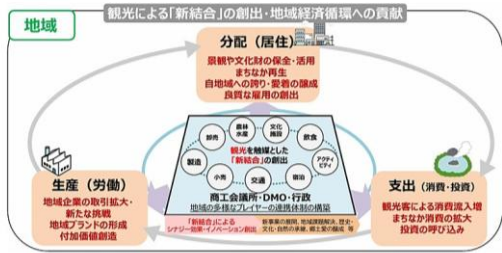


## 2. 実施内容と結果

### 第一回検討会 本資料

#### 1. 本事業の方向性と中国エリアの課題について

##### (5) 地域体制



※出典：日本観光協会「観光立国推進基本計画」改定に向けた意見書より抜粋 13

#### 1. 本事業の方向性と中国エリアの課題について

##### (1) 中国地方の観光課題

別紙1 主要観光地関連資料

14

#### 資料2

令和7年度 訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業(実証事業)  
「中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業」業務

【第一回検討会用資料】

令和7年7月23日

#### 2. 地域文化資源としての魅力と課題

##### (1) 文化資源を活用した展開の事例

OUGI資料

16

#### 2. 地域文化資源としての魅力と課題

##### (2) 当該地域の交通関連状況

別紙2 交通事業関連資料

17

#### 2. 地域文化資源としての魅力と課題

##### (3) 魅力と課題の整理

区分	活用可能な魅力	それを活かす上での課題
① 伝統芸能の地域密着性	<ul style="list-style-type: none"> <li>備中神楽(岡山)や石見神楽(鳥根)など、地域に根差した芸能が現地の信仰・風土・景観と深く結びついており、「物語性」のある演出が可能。</li> <li>コロナ商品(味噌鮎、ネオ安楽節など)や高校・自治体との連携事例もあり、現代の解釈にも対応可。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>演者の多くが本業を持つ地域住民であり、夜間や定期的な演舞が難しい。</li> <li>公演場所・演出内容の調整に時間を要する(祭礼以外での演出に慎重な例も)</li> </ul>
② 観光との接続可能性	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの景勝地が神社仏閣・温泉・城下町・自然景観といった観光要素とセットで存在。例:石見銀山×石見神楽、萩城下町×狂言、倉敷×大鼓など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光客動線とのマッチング(夜間に行ける場所か/雨天・冬季対応可か)。</li> <li>公共交通が弱く二次交通(夜の足)確保が必要</li> </ul>
③ アクセス・周遊性	<ul style="list-style-type: none"> <li>台湾・韓国・香港・中国などからの直行便が複数空港(広島・岡山・米子)に就航。</li> <li>各県をまたいだモデルコースとの接続もスムーズ(山口～鳥根～広島、鳥取～鳥根～岡山等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東アジアからのアクセスはあるが歌米線路線は広島以外無い。</li> <li>一方で、歌米向け素材(狂言や神楽など)を活かすには路線設計が必須</li> </ul>
④ 文化資源の進化/拡張性	<ul style="list-style-type: none"> <li>安楽節の「ネオ安楽節」、石見神楽のメタパース化、甲賀抜刀術の演武など、従来型からの拡張意欲あり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>演出の自由度と地域の価値観のバランス。「(格式)と「演出性」のどこで折り合うか)</li> </ul>
⑤ 地域主体の意欲・動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元高校・観光協会・商工会・若手団体などと連携した自主企画(例:備中神楽ナイト、鳥流狂言体験教室など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>商品化に向けた価格設定、持続的な収益モデル設計が不十分。</li> <li>インパウンド想定言語対応や演出改善の知見不足もあり</li> </ul>

18

## 2. 実施内容と結果

### 第一回検討会 本資料

#### 2. 地域文化資源としての魅力と課題

(4)まとめ

##### ◆地域文化資源を活かすために必要な視点

①「1日鑑賞型」で無理なく導入できる導線設計  
公演場所・時間帯・二次交通のマッチングがカギ。

②「ストーリーに耐えうる」文化性の明確化  
「なぜこの地でこの芸能なのか？」を語れる構成が求められる。

③将来の滞在型・体験型展開に向けた布石としての実証  
今回の実証は、将来の多日程・習得型展開への足掛かり。

19

#### 資料3

令和7年度 訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業(実証事業)  
「中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業」業務

【第一回検討会資料】

令和7年7月23日

#### 3. 実地試行の実施候補地と選定方針

(1)基本方針

- ✓ 国籍ターゲットは限定せず、「ストーリーに耐えうる地域」を優先
- ✓ モデルとして「1日限りの鑑賞型」「滞在型」の2方向があるが、今年度は1日鑑賞型を中心に整理
- ✓ 試行地域の選定にあたっては、以下の観点を踏まえ選定

評価項目	説明
景勝地の魅力	世界観や非日常性があるか(寺社仏閣・自然・夜景など)
伝統芸能の物語性	観光客に伝わる演出か(舞台性・体験性)
実施環境	夜間利用可/屋外・屋内対応/雨天対応可否
地域体制	協力的な演者・DMO・宿泊施設・交通機関の有無
商品化ポテンシャル	価格設定・多言語案内・販売チャネルが視野にあるか

21

#### 3. 実地試行の実施候補地と選定方針



(2)対象となる景勝地・伝統芸能リスト(案)

県名	景勝地(主な候補)	伝統芸能名	実施団体・運営主体	特徴・備考
岡山県	備中松山城、高梁市、井原市、総社市、倉敷美観地区等	1) 備中神楽	備中地区無形民俗文化財、演目豊富でストーリー性あり。体験・習得型プログラムも想定可能。	
	岡山後楽園、真備山、王子ヶ丘、石堂丁場、龍岡台等	2) 初實剣舞方一流(甲冑抜刀術)	神楽氏	武芸文化との連携が可能。外国人向け体験プログラムも想定可能。
広島県	三玖城、根原家、平和記念公園、広島、帝釈寺、尾道寺等	3) ひろしま神楽	R/C文化センター、神楽団体	都市型ナイトコンテンツ、英語字幕や多言語対応の実績多数。
山口県	桜井パーク、秋芳洞、青海島、元乃隅神社、長門・美祿市等	4) 熊流狂言	山口熊流狂言保存会	江戸時代の狂言流派。4日1回の稽古プログラムにも展開可能。文化性が高く、桜井向け訴求力あり。
鳥取県	出雲大社、石見前山、松江城、宍道、足立美術館、浜郷神社等	5) 石見神楽	石見神楽中連合会、出雲神楽保存会など	知名度が高く、演目数も多い。既存の観光を応用しやすい。
	安来、松江エリア	6) 安来節	安来節保存会	民謡・踊り系の体験として親しみやすい。
鳥取県	鳥羽砂丘、富海岸、大山、倉吉白壁土蔵群、湖山池公園など	7) 舞鶴獅子舞	舞鶴獅子舞の会	熊鷹を模した獅子舞。因幡の白兔伝説とのストーリー化が可能。
	倉吉市、三郷町	8) 倉吉打太鼓	倉吉打太鼓振興会	大鼓演奏体験型プログラムとの連携が可能。

22

#### 3. 実地試行の実施候補地と選定方針

1) 岡山県・備中神楽



概要	国指定重要無形民俗文化財。備中神楽は、備中地方一円で行われる神楽の総称で名づけられたもので、寛政を動機としてその神前で行われることから寛政神楽、神楽神楽ともよばれる。「古くは神官によって行われる神事の舞の中心で、江戸時代後期に、祭祀を離れ化した民間の若い世代(神楽舞)や「国舞」「国舞」が大衆化が中心で、地域に根付いた長年継承されてきた。備中神楽は、備中地方の各地に伝わる神楽の総称である。備中神楽は、「かつて国内屈指の神楽(べん)から」とも呼ばれる。備中神楽は、備中地方で生み出された。備中神楽の神楽は全国に伝播し、世界各地の舞や祭りに広く伝播し、備中地方では「備中神楽(のま)」「備中」「備中」など、日本を代表する工芸品を飾りかたに、日本のイメージカラーである「シロ(白)レッド」を演出して(備中)。	
実施状況	地域では昭和40年代まで、毎年秋祭りなどに神社や祭りの得意となった家で一晩中神楽が催され、地域に深く根付いたものでしたが、現在は神社や祭りのイベントなどで鑑賞されることが多い。 ・美星三日月神楽 2024:2024年4月-8月 ・備中神楽「備中」2024年4月 ・備中神楽「備中」2024年11月 ・備中神楽の魅力を再発見イベント2024年11月 ・岡山後楽園(定期公演):2025年6月	

23

企業・自治体とのコラボレーションについて  
Charmantと松山商店「備中神楽縁起館」  
・ 表参町や古橋ウヰキなどを拠点とするおみやげと観光の拠点Charmant(シャルマン)と表参町や備中神楽縁起館を製造する創業大企業・松山商店とコラボして「備中神楽縁起館」が開設された。観光客向けのパンフレットやメニューの企画もしている。  
備中神楽ナイト(岡山マツダ高梁本店:2025年6月開催)  
・ 「備中神楽を広めよう」という目標を掲げ岡山マツダがコラボレーションしたイベント。目標は岡山市内を中心に毎月1回のイベントを目標として、2025年12月に岡山マツダで行われる予定。  
岡山県立高梁城高等学校「備中神楽」で探究活動コラボ  
・ 高梁城高等学校の「備中神楽」と地域の中学校の場で土芸園について交流の場を作る場が設けられた。

#### 3. 実地試行の実施候補地と選定方針

2) 岡山県・初實剣舞方一流(甲冑抜刀術)

概要	流派の創始は正保三年、右衛門善吉に生まれ、初め備前高梁永井日向守に仕えた。今般流創始の太刀術を基本とする技が多く伝わり、特に斬り合いの後、腰を倒して「止」を流し、これを流して「止」を流すことを流し流しとしている。備前流の流派、備前と入道し備前流を流し、太刀術など、古武士の厳しい武術が元となっており、甲冑を付したままの演習が特徴である。	
実施状況	古流道の祭典などで披露されることが多い。 【主な公演】 ・岡山県古流道連盟主催「古流道祭」 ・倉敷同好社奉納演武会 ・岡山道合道術研究会主催「古流道大会」 ・古備前神社の秋祭りで大衆の演武披露(2018年) ・備前高梁刀匠 繁盛祭・備前高梁演武 2024での演武(2024年9月):主催は瀬戸内市観光協会 ・西日本古流道大会での演武	

企業・自治体とのコラボレーションについて  
二日連続で「SAMURAI」文化の神髄に触れる体験型事業  
・ 2024年12月、外部のツアー客を想定したイベント(一般見学あり)に出演。「SAMURAI」文化に触れる体験型で、備前岡山城跡公園演武場にも「甲冑抜刀術」の演武が行われた。

24



## 2. 実施内容と結果

### 第一回検討会 本資料

#### 3. 実地試行の実施候補地と選定方針

##### 8) 鳥取県・倉吉打太鼓

概 要	倉吉打太鼓は、1989年に「太鼓の響きでまちづくり」総合事業に倉吉の特色を活かした新しい職工長協会の創設を目指し組成された。運営・育成・支援を主とした「倉吉打太鼓振興会」と民間に太鼓を打つ「奏者の会」が組織されている。現在、振興会会員数が約130名、奏者の会会員数が約15名で構成。 「短期滞在型、大規模なイベントに参加し、市内観光はもとより、県外・海外へも遠征し演奏」、「倉吉の夏祭り「打鼓まつり」では、毎年太鼓で盛り上げるなど、地域に根付いた伝統芸能を担って活動している。イベント出演などの受付は、倉吉打太鼓振興会事務局（倉吉市地域づくり支援課内）が行っている。 近年は、「市内の農業高校の「倉吉太鼓愛好会」等の技術指導や、近年では若年層への普及・日本伝統文化の視察しを目的としてプロを招いての体験ワークショップを開催している。
実施状況	定期開催の他、県内のイベントだけでなく海外公演も実施している。 【主な公演】 ・倉吉打鼓まつりでの演奏（開催1日目：旧市街地周辺、2日目：花火フェスティバルなど）（8月） ・鳥取県太鼓連盟コンサート（第1回開催、会場：鳥取県内東中部で持ち回り）（秋頃） ・とっとり職工長協会の「ふたば」での公演 ・鳥取県立美術館常設展イベント、鳥取県メーデー大会、別所公園観覧車などで公演 ・ワークショップも定期開催しており、倉吉打太鼓振興会事務局で随時受付



「倉吉打太鼓」Facebookページ  
<https://www.facebook.com/uragamiuta>  
<https://www.facebook.com/uragamiuta>  
 倉吉市観光課ウェブサイト  
<http://www.city.uraqami.tokushima.jp/kyougi/kyougi.html>  
<https://www.city.uraqami.tokushima.jp/kyougi/kyougi.html>  
<https://www.city.uraqami.tokushima.jp/kyougi/kyougi.html>  
<https://www.city.uraqami.tokushima.jp/kyougi/kyougi.html>

- 企業・自治体とのコラボレーションについて**
- 海外公演**
- ・ 韓国蔚山市の市民の日記念式典として蔚山市梁山山（「石の」）文化祭に出演。その他、カンボジアなどで演奏、ジャパンエキスポにも参加。
- 中国直隸省涿州でのイベントへ参加**
- ・ 2日目の多い催しイベントとして開催されたもの。2日目のステージショーにて打太鼓演奏で参加。
- ミュージシャンとの連携**
- ・ ファイリニスト門脇大輔氏の「GRAPLE JAM LIVE」への参加。ジャズミュージシャンのMALTA氏とのコラボなども積極的に行っている。

#### 3. 実地試行の実施候補地と選定方針

##### (3) ディスカッション

- ✓ 本日は候補地域を「確定」ではなく、下記の評価基準から「ストーリーに耐えうるかを確認」する
- ✓ 最終的な実地試行エリアは、第2回検討会前までに確定予定のため、本日は皆さまからの意見出しの場としたい

評価項目	説明
景勝地の魅力	世界観や非日常性があるか(寺社仏閣・自然・夜景など)
伝統芸能の物語性	観光客に伝わる演出か(舞台性・体験性)
実施環境	夜間利用可／屋外・屋内対応／雨天対応可否
地域体制	協力的な演奏者・DMO・宿泊施設・交通機関の有無
商品化ポテンシャル	価格設定・多言語案内・販売チャネルが視野にあるか

## 2. 実施内容と結果

### 第一回検討会 別紙資料 1

#### 別紙資料 1

令和7年度 訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業(実証事業)  
「中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業」業務

【第一回検討会用資料】

#### 1. 本事業の方向性と中国エリアの課題について

(1)中国地方の観光課題 -主要観光地の入込客数- (単位:千人、%)

観光地	入込客数	
	2022年	2023年 '23-'22
鳥取県	鳥取砂丘・いづは温泉車庫周辺(鳥取温泉、吉備温泉・岩井温泉など)	2,433 3,109 127.8
	境港周辺(木下しげるロードなど)	640 952 148.8
	トットリ市街の北園車庫周辺(三軒温泉・ほのひ温泉・東郷温泉など)	973 1,153 118.5
島根県	大山周辺	1,056 1,079 102.2
	来子・皆生温泉周辺	926 1,198 129.4
	出雲市周辺(出雲大社、日御碕、鳥根ワイナリーなど)	10,501 12,088 115.1
岡山県	松江市周辺(東保園、玉造温泉、松江城など)	7,164 8,570 119.6
	浜田市周辺(石見海浜公園、はまだお魚市場など)	1,341 1,542 115.0
	安芸市周辺(延命堂旅館、津水寺など)	405 1,134 121.3
広島県	宮内市周辺(道の駅「たたらばね公園」「さくらの里さきさき」など)	999 1,073 107.3
	倉敷美観地区	2,319 3,089 133.2
	後楽園・岡山城周辺	1,189 1,727 145.2
山口県	湯田川	2,094 2,536 97.8
	吉備新	1,196 1,322 110.5
	広島市周辺(原爆ドーム、縮景園など)	9,250 12,299 133.0
山口県	甘日市周辺(宮島、もみのき森林公園など)	4,814 7,328 152.2
	尾道市周辺(西園寺、平光寺公園など)	4,374 5,012 114.6
	福山市周辺(鞆の浦、みづくの里など)	3,223 4,506 139.8
山口県	萩市周辺(大和ミュージアム、大船山記念館など)	1,794 2,569 143.2
	下関市周辺(道の駅「北瀬道豊北」、海響館、鳥取灯台公園など)	4,559 5,718 125.4
	山口市周辺(道の駅「仁珠の郷」、春山公園、洞窟寺など)	4,076 5,079 124.6
山口県	防府市周辺(縮景園、吉野公園など)	1,774 2,495 140.6
	萩市周辺(松島神社、道の駅「家トリーニート」など)	3,414 3,828 105.9
	防府市周辺(防府天満宮、美祿市福防宮など)	2,049 2,315 113.0

#### 1. 本事業の方向性と中国エリアの課題について

主な観光地 (鳥取県)



©2023年(北オープン年度)  
[資料]「国土交通省(観光白書)」(国土交通省) [https://www.mlit.go.jp/kankoukeizaku/kankoukeizaku/00\\_02\\_01.html](https://www.mlit.go.jp/kankoukeizaku/kankoukeizaku/00_02_01.html)、鳥取県庁、各自治体等。  
鳥取県庁(2023年10月31日現在) 2023年度版

#### 1. 本事業の方向性と中国エリアの課題について

検証候補地

候補地: 鳥取県

候補地リスト	景勝地固有リスト(団体名)	伝統芸能等体演習・披露し得る団体
鳥取砂丘	鳥取砂丘(観光協会) 鳥取砂丘(観光協会)	鳥取砂丘(観光協会)
倉吉市(東山公園、白土土蔵跡)	中野観光推進協議会 倉吉観光RC協会	倉吉打太鼓鼓隊
大山	大山観光協議会	大山八幡宮おどの部会

#### 1. 本事業の方向性と中国エリアの課題について

主な観光地 (島根県)



©2023年(北オープン年度)  
[資料]「国土交通省(観光白書)」(国土交通省) [https://www.mlit.go.jp/kankoukeizaku/kankoukeizaku/00\\_02\\_01.html](https://www.mlit.go.jp/kankoukeizaku/kankoukeizaku/00_02_01.html)、島根県庁、各自治体等。  
島根県庁(2023年10月31日現在) 2023年度版

#### 1. 本事業の方向性と中国エリアの課題について

検証候補地

候補地: 島根県

候補地リスト	景勝地固有リスト(団体名)	伝統芸能等体演習・披露し得る団体
出雲大社	一般社団法人出雲大社協議会	出雲神楽中道会
松江城	一般社団法人松江城協議会	足守保存会
足立美術館	一般社団法人足立美術館協会	備前関分竹楽連合隊保存会
穴蔵跡	一般社団法人穴蔵・中野・大山観光協議会	穴蔵神楽保存会
大社跡	NPO法人大社跡研究会	石見神楽中道会
石見川	一般社団法人石見川協議会	出雲神楽保存会
碓氷の浜	一般社団法人碓氷協議会	津和野神楽保存会
三瓶山	島根県立三瓶自然館	備前関分竹楽連合隊保存会
備前神社	一般社団法人備前神社協議会	松江市八幡宮及(備前)
備前神社	備前神社協議会	石見神楽中道会
備前神社	一般社団法人備前神社協議会	備前関分竹楽連合隊保存会
備前神社	備前神社協議会	足守保存会
松江フォーゲルパーク	一般社団法人松江観光協議会	石見大丸神楽保存会
		出雲神楽(備前)
		石見神楽北道連合隊協議会



## 2. 実施内容と結果

### 第一回検討会 別紙資料 1

#### 1. 本事業の方向性と中国エリアの課題について

##### 検証候補地



13

#### 1. 本事業の方向性と中国エリアの課題について

##### エリア内に在する中国地方の登録DMO一覧(2025年3月25日時点)

No.	名称	マーケティング・マネジメント対象とする区域	No.	名称	マーケティング・マネジメント対象とする区域
<b>■広域連携DMO</b>			<b>■地域DMO</b>		
1	(一社)関西観光本部	福井県、三重県、滋賀県、京都府、大分県、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県	1	(一社)大田市観光協会	鳥取県：大田市
2	(一社)せとうち観光推進機構	広島県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県	2	(一社)松江観光協会	鳥取県：松江市
3	(一社)山陽インパウンド機構	鳥取県、高松県	3	(公社)津山市観光協会	岡山県：津山市
<b>■地域連携DMO</b>			4	(一社)美奈市観光協会	岡山県：美奈市
1	(一社)瀬路のまち観光局	鳥取県：鳥取市、若美町、磐城町、若桜町、八雲町、兵庫町、新温泉町、香美町	5	(一社)矢野町観光交流推進機構	岡山県：矢野町
2	(一社)鳥取中部観光推進機構	鳥取県：倉吉市、三朝町、美郷町、琴浦町、北栄町	6	(一社)ヒジツ赤良	岡山県：赤良町
3	(一社)中海・宍道湖・大山観光局	鳥取県：米子市、境港市、日吉津村、大山町、南郷町、伯耆町、日南町、日野町、江府町、鳥取県：松江市、出雲市、安来市	7	(株)美奈町産	岡山県：美奈町
4	(公社)鳥取湖観光推進	鳥取県	8	(一社)三次観光推進機構	広島県：三次市
5	(一社)海陸シス/パーク推進機構	鳥取県：隠岐の島町、海士町、西ノ島町、知夫村	9	(一社)庄原観光推進機構	広島県：庄原市
6	(一社)真庭観光局	岡山県：真庭市、新庄村	1.0	(一社)ディスカバー東広島	広島県：東広島市
7	(株)空・道・瀬	広島県：三原市、世羅町	1.1	(一社)地域福祉あきおた	広島県：安芸太田町
8	(一社)しまなみマリン	広島県：尾道市、愛媛県：今治市、上島町	1.2	(一社)竹原観光まちづくり機構	広島県：竹原市
9	(一社)山口観光推進	山口県	1.3	(一社)宇部観光コンベンション協会	山口県：宇部市
1.0	(一社)海浜都市瀬門DMO	山口県：下関市、福知山：北九州市	1.4	(一社)萩市観光協会	山口県：萩市
			1.5	(一社)島門市観光コンベンション協会	山口県：島門市
			1.6	(一社)美門市観光協会	山口県：美門市

14

## 2. 実施内容と結果

### 第一回検討会 OUGI資料

- 大分県 宇佐市で出会う「和」の源流 -

神楽(所作・演目の)習得稽古と奉納の舞&古道トレイル体験

インバウンド向け交流企画・日本初!  
“神楽師としての5日間を体験”

The Folklore of KAGURA

OUGI  
株式会社 OUGI 鈴木 晋己

P.01 実施主体概要

日本の物語を感じる贅沢な旅に出よう

OUGI

私たちOUGIは各地に根づく伝統文化から『本物の日本』を体験できる物語を提供する旅のクリエイター会社です。

山形 YAMAGATA  
奥意努 OKUKINU  
富山 TOYAMA  
奈良 NARA  
京都 KYOTO  
大阪 OSAKA  
大分 OITA  
愛媛 EHIME  
高野山 KOYASAN  
日光 NIKKO  
東京 TOKYO  
静岡・富士山 Mt. Fuji  
伊勢志摩 ISESHIMA

Confidential & Copyright OUGI, Inc. All rights reserved.

P.02 コンテンツコンセプト

贅沢の限りを尽くした旅 < 自己変革を可能にする旅

富裕層が求める「自己変革」 ウェルネス ≡ スピリチュアル

SBNR  
Spiritual Business Network

心豊かな繋がりを求めて  
SBNR(スピリチュアル・バスケット・ネットワーク)とは、特定の宗教に属さず精神的な豊かさを求める人々のこと。日本人にもなじみ深い価値観です。

近年、西洋からアジア、とくに日本文化や東洋思想への関心が高まり、観光市場も成長中。中でも日本への訪問は前年比19.4%と大きく伸びています。この層の特徴は、「良い影響」「社会貢献」「正しい行い」への意識が高い点です。

Confidential & Copyright OUGI, Inc. All rights reserved.

P.03 事業成果 | 日本文化を深層りしたコンテンツ造成

POINT 1 それぞれのコンテンツの文化的背景を活かし、一体化したストーリーを表現

開講式 > 2つのトレイル > 神楽稽古 > 神楽飯 > 奉納の舞直会・開講式

プロローグ デザイン  
神楽師が大切にしている「風」の力を体得していく  
地元神楽師による本格的な稽古  
神楽を舞うための体と心を整える特別な食事  
涙・涙...感動の時

Confidential & Copyright OUGI, Inc. All rights reserved.

P.04 事業成果 | 日本文化を深層りしたコンテンツ造成

POINT 2 ストーリーに「没入させる」2つの仕掛け

1. 開講式  
旅行者を「物語の主人公」と実感させる幕開けを演出

2. 旅ナカの特別アイテム  
背景理解を深めるツールや、専用の扇子・足袋を配布

- 海外の方向けにも伝わる編織で、神楽を伝える物語を作成
- 神楽師や地元関係者との対面や、オリジナル楽曲と語り手の朗読で、物語への没入感を演出
- 旅程表に加え、神楽文化や関連地域の歴史的背景も体験に交え細かく説明
- 旅行者が5日間利用し先オリジナルの持ち帰れる想い出の品ともなり、5日間のきっかけに

Confidential & Copyright OUGI, Inc. All rights reserved.

P.05 事業成果 | 日本文化を深層りしたコンテンツ造成

POINT 3 5日間かけて味わう「神楽飯」にも、1日ごとのストーリーを

POINT 3 神楽飯

メニュー表 その日のテーマ

- 1日目 己を囲む
- 2日目 場を囲む
- 3日目 地域を囲む
- 4日目 神を囲む

Confidential & Copyright OUGI, Inc. All rights reserved.

## 2. 実施内容と結果

### 第一回検討会 OUGI資料

P.07 事業成果 | 日本文化を深層りしたコンテンツ造成

#### 参加者の期待を上回る満足度と地域との絆の提供

ツアー参加後のアンケート結果より抜粋

文化をのびのびと楽しむ喜びを体験した瞬間でした。

フランス人女性参加者

日本人男性参加者

to master something

フランス人女性参加者

神楽春納涼社 とても達成感があり、感動的で、伊豫式での演、地域の方の温もりを感じました。

日本人男性参加者

神楽習得の 恩恵となる日本文化・歴史・食事に 溢ることが出来ました。

フランス人女性参加者

Confidential & Copyright OUGI, Inc. All rights reserved.

P.09 事業成果 | 日本文化を深層りしたコンテンツ造成

- 1. 継承への挑戦**  
本格的な神楽の稽古という長期滞在のきっかけづくり、5日間の滞在を誘致
- 2. 持続可能な調整**  
当企業を支えてくださる地元関係者を起点とした運営組織を整備
- 3. 派生効果**  
新規雇用の創出 & 地元の子どもの再評価

運営組織

『The Folklore of KAGURA』推進協議会

OUGI FoEL PRODUCT COMPANY 香取の国千年ロマン観光圏

ツアー企画・販売 神楽監修・指導 地域回遊

宇佐市

Confidential & Copyright OUGI, Inc. All rights reserved.

P.10 今後の取組み・展望 | 「本物の日本」を届ける販路開拓・情報発信に向けて

- 1 販路拡充**  
海外旅行会社との提携 & 国外旅行博でのPR
- 2 認知拡大**  
Instagramでの情報発信 & インフルエンサー活用
- 3 PR改善**  
世界的マーカーとのブランディング強化

海外旅行会社との提携 & 国外旅行博でのPR

VOYAGEURS DU MONDE

Salon Mondial du Tourisme

ITB Berlin 2025

Instagramでの情報発信 & インフルエンサー活用

高橋 麗花 新井 美穂 伊藤 美穂 藤田 美穂

【観光庁SNS動画制作プロモーション2024】にて動画制作を受託

Claudia氏 Marta氏

2025年1月28日(火)～2月1日(土) 第二回ネビカタツアーに参加中

閲覧数(累計)  
2024/11/14～2025/1/17現在  
1,061,577

Confidential & Copyright OUGI, Inc. All rights reserved.

ご清聴ありがとうございました。

OUGI

香取の国千年ロマン観光圏

宇佐市

## 2. 実施内容と結果

### 第一回検討会 別紙資料2

別紙資料2

令和7年度 訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業(実証事業)  
「中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業」業務

【第一回検討会用資料】

ATR運航状況

路線	航空会社	機材	羽田線	日経線	日経線	高松線
広島	キオクアライズ	米子-米子線	7:15	10:35	13:35	15:15
	ANA	米子-米子線	11:30	15:05	18:05	19:40
岡山	キオクアライズ	本庄	12:50	16:30	19:55	20:00
	ANA	本庄	8:35	12:00	15:00	16:20
米子	キオクアライズ	米子	13:20	16:50	19:50	19:50
	ANA	米子-米子線	12:40	16:30	19:55	20:15

路線	航空会社	機材	羽田線	日経線	日経線	高松線
広島	キオクアライズ	福井	10:35	12:25	14:40	16:35
	ANA	福井線	米子-米子線	7:30	8:50	10:30
岡山	ANA	米子-米子線	13:35	16:50	19:50	19:50
	ANA	米子-米子線	8:30	11:00	12:00	13:30

路線	航空会社	機材	高松線	日経線	日経線	高松線
広島	ANA	米子-米子線	10:05	13:45	16:30	17:20
	ANA	米子-米子線	米子	10:55	16:20	19:20
米子	ANA	米子-米子線	米子	13:35	16:20	19:20

※その他：広島→北京、広島→清州、広島→大連、広島→札幌、広島→ハワイ

出典：中国観光推進協議会事務局資料2(2024)

山陰山陽エリア内の移動

福岡(博多)、大阪からの新幹線・特急列車を使った所要時間

- 京博多駅から
  - 山口・・・約35分
  - 広島・・・約1時間
  - 岡山・・・約1時間40分
  - 鳥取・・・約1時間25分
  - 鳥取・・・約1時間40分
- 京新大阪駅から
  - 岡山・・・約45分
  - 広島・・・約1時間25分
  - 鳥取・・・約1時間40分
  - 山口・・・約1時間55分

東京(羽田空港)からの飛行機を使った所要時間

- 鳥取
  - 鳥取砂丘JF空港 1時間20分
  - 米子兼太郎空港 1時間25分
- 鳥取
  - 出雲線結び空港 1時間25分
  - 萩・石見空港 1時間40分
- 岡山
  - 岡山桃太郎空港 1時間10分
  - 岡山 1時間25分
  - 広島 1時間30分
  - 山口 1時間35分
  - 山口宇部空港 1時間40分
  - 岩国桃形航空 1時間45分

出典：中国観光推進協議会事務局資料2(2024)

モデルコース 岡山+鳥取+島根 (岡山空港in 岡山空港out)

- 1日目 【岡山桃太郎空港】16:30着→鳥取温泉 泊：鳥取温泉
- 2日目 鳥取温泉→岡山→大分花園→松全温泉 泊：松全温泉
- 3日目 松全温泉→松江市→水木JF空港→由志郷→出雲市内 泊：出雲市内
- 4日目 出雲市内→出雲大社→定立美術館→大山→倉敷市内 泊：倉敷市内
- 5日目 倉敷市内→倉敷美観地区→児島シーズリゾート【岡山桃太郎空港】17:55発

出典：中国観光推進協議会事務局資料2(2024)

モデルコース 山口+広島+岡山 (福岡空港in 岡山空港out)

- 1日目 【福岡空港】17:05着→福山市内 泊：福山市内
- 2日目 福山市内→豊平市場→海蔵館→祝賀館→福光寺→瀬田温泉 泊：瀬田温泉
- 3日目 瀬田温泉→砂原天宮堂→福寿橋→長倉→広島市内 泊：広島市内
- 4日目 広島市内→世羅高菜産地→大久野島→尾道市内 泊：尾道市内
- 5日目 尾道市内→しまなみサイクリング→倉敷美観地区→岡山市内 泊：岡山市内
- 6日目 岡山市内→岡山梅楽園→岡山城→高倉神社→【岡山空港】17:55発

出典：中国観光推進協議会事務局資料2(2024)

モデルコース 福岡+山口+鳥取+広島 (福岡空港in 広島空港 out 台北行き)

- 1日目 【福岡空港】10:50着→角島大橋→元乃隅神社→鹿門湯本温泉 泊：鹿門湯本温泉
- 2日目 鹿門湯本温泉→萩原館→秋芳園→福城下町→福山市内 泊：福山市内
- 3日目 福山市内→津和野→上北海岸水族館→石見湯田 泊：石見湯田
- 4日目 石見湯田→石見湯田→三ツツツ子→平田観光温泉→広島市内 泊：広島市内
- 5日目 広島市内→平和記念公園→JF2号ターミナル→広島空港周辺 泊：広島空港周辺
- 6日目 広島空港周辺→広島空港 台北行き11:35発

出典：中国観光推進協議会事務局資料2(2024)

## 2. 実施内容と結果

### 第一回検討会 別紙資料2



## 2. 実施内容と結果

### (1) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進に向けた検討会の開催

#### ▶ 第二回検討会 議事次第

令和7年度 訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業（実証事業）

「中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業」業務

日時：令和7年11月26日(水) 13:30～17:30

場所：広島合同庁舎4号館3階 災害対策室

1. 開 会
2. 出席者紹介
3. 中国運輸局挨拶
4. 議 事
  - (1) 本事業の進捗について
  - (2) 実施試行に向けて
  - (3) 自走化に向けて
  - (4) その他
5. 閉 会

【資料】

- ・資料1 : 本資料

## 2. 実施内容と結果

## (1) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進に向けた検討会の開催

## ▶ 第二回検討会 参加者

&lt;出席者&gt;

(順不同・敬称略)

区分	企業・団体名	職名等	氏名	ワライ
有識者	株式会社 OUGI	取締役	鈴木 雅己	○
	株式会社 OUGI	ストーリーテラー	加藤 亜祐美	○
	株式会社 ジャーマン・インターナショナル	代表取締役	ルース・マリー・ ジャーマン	○
	株式会社 makes	代表取締役	後藤 直哉	○
運営 スタッフ	株式会社 JTB	広域交流事業推進 マネージャー	市川 功	○
	株式会社 JTB 山口支店	観光開発プロデューサー	山本 洋介	○

&lt;事務局&gt;

(順不同・敬称略)

区分	企業・団体名	職名等	氏名	ワライ
事務局	中国運輸局	課長	柏木 実	
		主査	山崎 慎平	
		係員	中村 雪乃	
運営 スタッフ	株式会社 JTB 広島支店	営業課長	山口 啓介	
		観光開発プロデューサー	安藤 真雄	
		グループリーダー	竹村 純	
		ディレクター	道下 ひより	○
		ディレクター	武本 苑子	○
		ディレクター	井口 雄斗	

## 2. 実施内容と結果

## (1) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進に向けた検討会の開催

## ▶ 第二回検討会 議事録

日時	11/26(水) 13:30~17:30
開催場所	広島合同庁舎 4号館 3階災害対策室
議題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業の進捗について</li> <li>・実地試行に向けて</li> <li>・自走化に向けて</li> </ul>
議事	<p>(1) 主な論点</p> <p>① 本事業の進捗について</p> <p>◎ 景勝地と伝統芸能の組み合わせの可能性:  山口市の鷺流狂言と北広島町の芸北神楽を題材に旅行商品を造成・販売する上で、解決すべき課題や整理すべきポイントについて議論を行った。</p> <p>◎ 実地試行の振り返り:  10月に実施された実地試行（北広島町の芸北神楽、山口市の鷺流狂言）の様子と、有識者からの意見を共有。</p> <p>◎ 北広島町：神楽が生活に根付いていること、金棒作り体験や地元の人々との交流の可能性、本物志向の文化であることなどが評価された。</p> <p>◎ 山口市：言葉が分からなくても楽しめる狂言の魅力、演者との距離の近さ、街歩きとの組み合わせの面白さなどが評価された。</p> <p>課題：価格設定、受け入れ頻度、人材育成、通訳の確保などが挙げられた。</p> <p>② 実地試行に向けて（第2回）</p> <p>◎ 北広島町（芸北神楽）：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ(仮)：「神楽と生きる街、神々の芸能が暮らしに息づく場所で文化の交差点をめぐる」</li> <li>・狙い：神楽を見るだけでなく、地域の文化や歴史を体験できる旅にする。</li> <li>・行程案：壬生城でのガイダンス、箱寿司での昼食、民族芸能保存伝承館での見学、有田八幡神社での参拝、夜の神楽鑑賞、ミニチュア面作成体験など。</li> <li>・論点：演目の選定（儀式舞、八岐大蛇など）、食事メニュー（おにぎり、昼食(箱寿司)、団長のお店）、宿泊施設、ガイドの役割と確保、雪への対策など。</li> </ul> <p>◎ 山口市（鷺流狂言）：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ(仮)：「600年以上続く狂言、あなたの旅を即興狂言で描く」</li> <li>・狙い：狂言を鑑賞するだけでなく、自身の旅が物語になる体験を提供する。</li> <li>・行程案：昼食(瓦そば)、洞春寺での狂言解説と見学、演者との街歩き（一の坂川、龍福寺）、ふるさと伝承総合センターでの滞在、イタリア食堂ベケでの夕食、湯田温泉での宿泊、洞春寺での装束体験と狂言体験など。</li> <li>・論点：狂言の演目（鬼瓦）、導入部分の90分の使い方、演者への依存度、ガイドの役割と確保など。</li> </ul> <p>③ 自走化に向けて</p> <p>◎ 成果報告会の目的：地域のプレイヤーとのコミュニケーションの重要性、広島をハブとしたショートトリップの可能性、商品プロダクト自体の魅力などを伝える。</p> <p>◎ 今後の展望：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・横展開：他地域への展開を視野に入れ、地域理解の重要性、信頼関係の構築、持続的な改善と受け入れ体制整備が必要。</li> <li>・連泊滞在：1泊2日だけでなく、2泊3日、3泊4日といった連泊でのブラッシュアップの可能性。</li> </ul>

## 2. 実施内容と結果

## (1) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進に向けた検討会の開催

## ▶ 第二回検討会 議事録

日時	11/26(水) 13:30~17:30
開催場所	広島合同庁舎 4号館 3階災害対策室
議題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業の進捗について</li> <li>・実地試行に向けて</li> <li>・自走化に向けて</li> </ul>
議事	<p>◎地域での自走化：地域に熱意ある人がいること、誰も無理をしない仕組みづくり、行政の協力、経済貢献度への意識などが重要。</p> <p>◎ガイド：多言語対応、ストーリーテリング能力の重要性、地域外からのガイド活用も視野に入れる。</p> <p>◎ターゲット層：ライト層からヘビー層まで、多様なニーズに対応できる商品設計。</p> <p>・販売戦略：FITだけでなく、現地の旅行会社との連携（B to B）も重要。</p> <p>(2)課題とアプローチ方針</p> <p>◎課題：価格設定、受け入れ頻度、人材育成、通訳の確保：商品化に向けた具体的な課題。</p> <p>◎演者への依存度：山口の鷺流狂言ツアーにおいて、米本氏個人の魅力に大きく依存している点。</p> <p>◎地域住民の巻き込み方：特に山口市において、演者以外の地域住民をどのようにツアーに組み込むか。</p> <p>◎多言語ガイドの確保と育成：ストーリーテリングができる多言語ガイドの不足。</p> <p>◎持続可能性：関係者が無理なく継続できる仕組みづくり。</p> <p>◎雪への対策：1月、2月の北広島町での雪への対応。</p> <p>◎アプローチ方針</p> <p>◎地域との密な連携と信頼関係の構築： 北広島町、山口市ともに、地域が大切にすることを理解し、伝統芸能関係者、地域住民、行政との対話を継続する。</p> <p>・特に、演者や神楽団長が無理なく協力できるスケジュールや内容を調整し、長期的な関係を築く。</p> <p>・「本物」体験の深化：伝統芸能の背景にある歴史、文化、精神性を深く掘り下げ、単なる鑑賞に留まらない体験を提供する。壬生城でのガイドンスや、狂言の導入部分90分間を効果的に活用し、参加者の没入感を高める。</p> <p>・多様なニーズへの対応と商品設計： ライト層からヘビー層まで、様々な旅行者のニーズに対応できるよう、体験内容の選択肢（見るだけ、一部体験、フル体験など）を検討する。 1泊2日を基本としつつ、2泊3日、3泊4日といった連泊プランの可能性も探る。</p> <p>◎効果的なガイド体制の構築： 多言語対応可能なガイドの確保・育成を進める。地域外からのガイド活用や、インカムなどのツールの導入も検討する。ガイドには単なる通訳だけでなく、ストーリーテリング能力を重視し、地域への愛着を伝えられる人材を育成する。</p> <p>・販売戦略の検討：B to B（現地の旅行会社との連携）を先行させ、オプションツアーとしての組み込みを促進する。定期的な開催日を設定し、旅行会社が商品として扱いやすいようにする。</p> <p>◎経済効果と地域貢献の明確化：伝統芸能の保全や地域経済への貢献といった側面を明確に打ち出し、行政や地域住民の理解と協力を得る。 観光消費額の増加だけでなく、地域住民のシビックプライド向上や新たな雇用の創出といった波及効果も伝えていく。</p>

## 2. 実施内容と結果

### 第二回検討会 本資料

#### 資料1

令和7年度 訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業(実証事業)  
「中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業」業務

【第二回検討会用資料】

令和7年11月26日

#### 中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業 振り返り

##### 本事業の目的

中国地方における景勝地と伝統芸能・民俗芸能を掛け合わせたコンテンツがどの程度インバウンドに訴求力を持ち、**宿泊者数や観光消費額増加**を伴う来訪促進に向けたコンテンツとなり得るのか調査検討を行う。

$$\begin{matrix} \text{閑散期及び平日} \\ \text{来訪客数・滞在日数} \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{平均滞在時間} \times \text{平均商品単価} \\ \text{一人当りの消費単価} \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{地域連携} \\ \text{地域内調達率} \end{matrix} = \begin{matrix} \text{域内消費効果} \\ \text{観光消費額} \end{matrix}$$

##### 【本実証事業の内容】

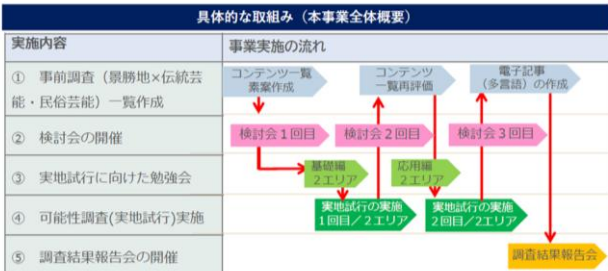
中国地方における“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”の可能性調査

- ◆ 業務Ⅰ “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する事前調査
- ◆ 業務Ⅱ “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進に向けた取組
- ◆ 業務Ⅲ 調査結果報告会の開催

2

#### 中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業 振り返り

##### 全体スケジュール



3

#### 中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業 振り返り

##### 検証地を2エリアに絞り、実証



4

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業

### (1) 勉強会

#### 中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業 勉強会の開催

##### 他地域の事例も交えながら、地域関係者と議論



北広島町の様子



北広島町の様子



北広島町の様子



北広島町の様子

6

## 2. 実施内容と結果

### 第二回検討会 本資料

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
勉強会の開催



北広島町の様子      北広島町の様子

＜出席者＞		＜趣意＞		＜趣意＞	
企業・団体名	職名等	氏名	氏名	氏名	氏名
東山神楽団	代表取締役	山本 隆雄	山本 隆雄	山本 隆雄	山本 隆雄
神楽団	代表取締役	山本 隆雄	山本 隆雄	山本 隆雄	山本 隆雄
有田神楽団	代表取締役	山本 隆雄	山本 隆雄	山本 隆雄	山本 隆雄
山本神楽団	代表取締役	山本 隆雄	山本 隆雄	山本 隆雄	山本 隆雄
山本神楽団	代表取締役	山本 隆雄	山本 隆雄	山本 隆雄	山本 隆雄
山本神楽団	代表取締役	山本 隆雄	山本 隆雄	山本 隆雄	山本 隆雄
山本神楽団	代表取締役	山本 隆雄	山本 隆雄	山本 隆雄	山本 隆雄
山本神楽団	代表取締役	山本 隆雄	山本 隆雄	山本 隆雄	山本 隆雄
山本神楽団	代表取締役	山本 隆雄	山本 隆雄	山本 隆雄	山本 隆雄
山本神楽団	代表取締役	山本 隆雄	山本 隆雄	山本 隆雄	山本 隆雄

7

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
勉強会の開催



豊流狂言勉強会の様子      豊流狂言勉強会の様子

＜出席者＞		＜趣意＞		＜趣意＞	
企業・団体名	職名等	氏名	氏名	氏名	氏名
東山神楽団	代表取締役	山本 隆雄	山本 隆雄	山本 隆雄	山本 隆雄
神楽団	代表取締役	山本 隆雄	山本 隆雄	山本 隆雄	山本 隆雄
有田神楽団	代表取締役	山本 隆雄	山本 隆雄	山本 隆雄	山本 隆雄
山本神楽団	代表取締役	山本 隆雄	山本 隆雄	山本 隆雄	山本 隆雄
山本神楽団	代表取締役	山本 隆雄	山本 隆雄	山本 隆雄	山本 隆雄
山本神楽団	代表取締役	山本 隆雄	山本 隆雄	山本 隆雄	山本 隆雄
山本神楽団	代表取締役	山本 隆雄	山本 隆雄	山本 隆雄	山本 隆雄
山本神楽団	代表取締役	山本 隆雄	山本 隆雄	山本 隆雄	山本 隆雄
山本神楽団	代表取締役	山本 隆雄	山本 隆雄	山本 隆雄	山本 隆雄
山本神楽団	代表取締役	山本 隆雄	山本 隆雄	山本 隆雄	山本 隆雄

8

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
**(2) 実地試行**

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
第一回実地試行

**10月に、北広島町×有田神楽団の実地試行を実施。**

日次	月日(曜)	行 程	宿泊	食事
1	10月16日(土)	12:00 壬生城址跡 13:00 有田神楽団 団員(ランチ) 14:30 農家の手仕事体験・ディスカッション 16:00 芸北民俗芸能保存伝承館 17:00 有田八幡神社・鬼金神作の体験 18:30 夕食(お好み焼きひろ) 地元交流 20:00 有田神楽団 鑑賞 及び衣装体験・ディスカッション	北ホテル	朝：－ 昼：○ 夕：○
2	10月19日(日)	道の駅センター 10:00 三上刀匠 見学 12:00 昼食(みちづれ)	－	朝：○ 昼：○ 夕：－

10

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
第一回実地試行

**10月に、北広島町×有田神楽団の実地試行を実施。**

日次	月日(曜)	行 程	宿泊	食事
1	その他	・東山神楽団 視察 ・有田神楽団 視察 ・広島酒楽神楽 視察 ・神楽門前湯治村 視察		朝：－ 昼：－ 夕：－

11

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
第一回実地試行

**10月に、北広島町×有田神楽団の実地試行を実施。**



壬生城址の様子      壬生城址の様子  
壬生城址の様子      古民家の様子

12

## 2. 実施内容と結果

### 第二回検討会 本資料

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
第一回実地試行



体験の様子



体験の様子



神楽団員の様子



神楽衣装

13

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
第一回実地試行



有田神楽団の様子



有田神楽団の様子



有田神楽団の様子



衣装着付体験の様子

14

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
第一回実地試行



衣装着付体験の様子



衣装着付体験の様子



グッズ販売の様子



グッズ販売の様子

15

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
第一回実地試行



食事の様子(北広島)



食事の様子(会場：みちづれ)



食事の様子(会場：みちづれ)

16

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
第一回実地試行

#### 三上刀匠視察



三上刀匠視察の様子



三上刀匠視察の様子



三上刀匠視察の様子



三上刀匠視察の様子

17

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
第一回実地試行

#### 参考：東山神楽団



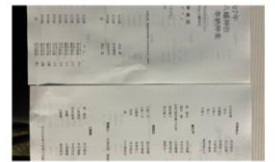
東山神楽団視察会場の雰囲気



東山神楽団視察会場の雰囲気



東山神楽団視察会場の雰囲気



東山神楽団視察会場の雰囲気

18

## 2. 実施内容と結果

### 第二回検討会 本資料

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
第一回実地試行



東山神楽団視察会場の雰囲気



東山神楽団視察会場の雰囲気



東山神楽団視察会場の雰囲気



東山神楽団視察会場の雰囲気

19

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
第一回実地試行



有田神楽団会場の雰囲気



有田神楽団会場の雰囲気



有田神楽団会場の雰囲気



有田神楽団会場の雰囲気

20

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
第一回実地試行



有田神楽団会場の雰囲気



有田神楽団会場の雰囲気



有田神楽団会場の雰囲気



有田神楽団会場の雰囲気

21

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
第一回実地試行



有田神楽団会場の雰囲気



有田神楽団会場の雰囲気



有田神楽団会場の雰囲気



有田神楽団会場の雰囲気

22

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
第一回実地試行



神楽団トラック



有田八幡神社トイレ



有田八幡神社の様子

23

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
第一回実地試行

#### 参考：神楽のグッズ販売



広島酒菜神楽店内視察 グッズ販売の様子



広島酒菜神楽店内視察 グッズ販売の様子



広島酒菜神楽店内視察 グッズ販売の様子



広島酒菜神楽店内視察 グッズ販売の様子

24

## 2. 実施内容と結果

### 第二回検討会 本資料

中国地方の「景勝地×伝統芸能・民俗芸能」推進事業  
第一回実地試行

参考：神楽門前湯治村の雰囲気



神楽門前湯治村視察の様子



神楽門前湯治村視察の様子



神楽門前湯治村視察の様子



神楽門前湯治村視察の様子

25

中国地方の「景勝地×伝統芸能・民俗芸能」推進事業  
第一回実地試行



神楽門前湯治村視察の様子



神楽門前湯治村視察の様子



神楽門前湯治村視察の様子



神楽門前湯治村視察の様子

26

中国地方の「景勝地×伝統芸能・民俗芸能」推進事業  
第一回実地試行

10月に、洞春寺×鶯流狂言の実地試行を実施。

日次	月日 (期)	行程	宿泊	食事
1	10月17日 (金)	11:33 新山口集合 12:00 瓦そば たかせ 13:00 洞春寺 (①鶯流狂言来演、②体験、③衣装・巾着体験、④+α講演) 15:30 狂言師とめぐる景勝地(一の明川、龍福寺、大内氏館跡、池泉庭園、イタリレストランベケ等) 18:30 夕食(TONBO) 地元交流	ホテル ルートイン 湯田温泉	朝：－ 昼：○ 夕：○

27

中国地方の「景勝地×伝統芸能・民俗芸能」推進事業  
第一回実地試行

10月に、洞春寺×鶯流狂言の実地試行を実施。



鶯流狂言の様子



会場の様子



会場の様子



衣装着付体験の様子

28

中国地方の「景勝地×伝統芸能・民俗芸能」推進事業  
第一回実地試行



衣装着付体験の様子



衣装着付体験の様子



体験の様子



お面体験の様子

29

中国地方の「景勝地×伝統芸能・民俗芸能」推進事業  
第一回実地試行



山口ふるさと伝承総合センター



ホテル



山口ふるさと伝承総合センター



街歩きの様子

30

## 2. 実施内容と結果

### 第二回検討会 本資料

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
第一回実地試行

地域住民との交流 ベイク

街歩きの様子

地域住民との交流

街歩きの様子

31

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
**(3) 第二回勉強会・実地試行に向けて**

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
ふりかえり

**北広島町(神楽)及び、山口市(齋流狂言)において実地試行を以下の点について検証した。**

■ 第一回の検証 2025年10月17日～19日開催

1	景勝地×伝統芸能の掛け合わせは、訪問者の感動と物語体験を生み出す力がある。
2	単なる鑑賞型ではなく、背景の理解・人との出会い・体験性の導入により、より深い満足度が得られる。
3	地元(神社・寺院、工房、食文化)などを組み合わせることで、旅程全体が一つのストーリーになる。
4	訪問者の文化的関与が高まる設計が必要であり、特に欧米圏の旅行者には効果的と判断された。
5	価格・受入頻度・人材育成・通訳対応等の課題は残るが、商品化の可能性は十分にある。

33

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
ふりかえり

**10/18(土)北広島町開催：参加者の主な意見(要約・抜粋)**

・第一回実施の振り返り 有田八幡神社×有田神楽

参加者の主な意見(抜粋・要約)

日次	行程	No.	意見
12:00	壬生城址跡	1	神楽が生活の中に根付いていることを感じることが出来る
13:00	有田神楽団 団長(ランチ)	2	鑑賞だけでなく、道具作りを通じて観られるのは体験コンテンツとして申し分ない。
14:30	農家の仕事体験・ディスカッション	3	地域の人が誇りをもって伝統を守っていることが伝わった
16:00	16:00 有田八幡神社・鬼金持の体験	4	こうした文化が受け継がれているように感じたい。
17:00	17:00 有田八幡神社・鬼金持の体験	5	勉強だけでなく、これは本物であり外国人観光客にも響く。
18:30	18:30 夕食(お好み焼きひろ) 地元交流	6	クラブ体験を加えることが出来るのは非常に良い。
20:00	20:00 有田神楽団 鑑賞 及び衣装体験・ディスカッション	7	演習と交流出来る時間が多かった。
	道の駅舞センター	8	神楽に関する資料館での学びが有意義だった。
10:00	10:00 三上刀匠 見学		
12:00	12:00 昼食 (おちづれ)		

34

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
第二回実地試行にむけて

**1/21(水) 第二回実地試行(案) 北広島町**

・今後の地域関係者への展開(案)

第二回実地試行(案)：有田八幡神社×有田神楽団

■ テーマ 「神楽と生きる町」  
～神々の芸能が暮らしに息づく場所で、文化の交差点を巡る～

■ 狙い

- 北広島市は、北は出雲、南は豪島神社、東は京都という文化圏の交差点に位置し、神楽の伝統と融合の拠点として独自の芸能文化を形成してきた。
- この地理的、歴史的背景を踏まえ、本ツアーでは神楽と生きる町の「芸能と信仰が共存する日常」を体験して頂く。
- 初日は、有田八幡神社や神楽伝承館を訪ね、神楽の成り立ちと地元(神社)との関わりを学ぶ。夜には神楽殿での本格的な神楽上演を鑑賞し、地域住民の祈りや誇りとしての神楽の姿を感じ取る。
- 翌日は神楽を支える職人や精神性にも触れ、「神楽」をいかに芸能が地域に深く根差した総合文化であることを実感してもらう構成とする。
- この体験を通じて、神楽を「見る」ではなく「地域の人達と大切に暮らす」に繋げる訴へと共働き、伝統文化と現代ツアーリズムの接点を探る機会とする。

日次	行程
1	11:15 道の駅舞センター-集合(引合会) 11:30 壬生城跡(地域観光に活用している特色ある伝統芸能が交わる地) 12:30 昼食：おちづれ(水曜日定休)orおにぎりor神楽団団長の昼食 13:30 有田八幡神社 14:30 有田八幡神社 ・境内参拝し、舞殿内の見学で、天蓋を見て、天蓋の紙重りの体験 ※可能であれば、天蓋に取付ける所まで見学する体験 16:00 チョコソフト 18:30 夕食(お好み焼きひろ) 地元交流or 宿泊施設内 20:30 有田神楽団 鑑賞 ・演出：観覧が、 ・3重目録(相鼓/神鼓、鐘、八岐大蛇)等相鼓 ・袴子後、衣装体験(寄寓撮影や道具との交流) ・観覧のみならず、地元の人も交流できる形は出来たか 09:00 チョコソフト 2
2	10:00 ミニチュア(白)順回し体験 お土産 11:30 ラーメン屋敷(団長と交流/記念撮影) 12:00 道の駅舞センター-解散

35

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
第二回実地試行にむけて

**有田神楽団へ事前ヒアリングを実施。**

・事前ヒアリング

×E

- 北広島町は日本で一番神楽団が多い地域。
- 神楽団を辞める団体が衣装を買い取った。
- 出張神楽を実施予定(広島市内)
- 毎週水曜日20:30-25:30で練習実施。金曜日も練習
- 音律の練習が商品になるのは負荷がなくなるがたい
- 若いメンバーにはシビックプライドを見直す機会になる。お米や神楽への感謝を感じる機会が増える
- 神楽演目は25演目あり。  
地域にまつわるストーリーと有田合戦。  
演目は、儀式舞(神楽)と八岐大蛇の60分かどうか
- 11月～2月は雪が心配
- おにぎり：壬生の花田植えのお米はどうか？  
おばあちゃんの沢庵、千代田の里という卵は？  
広島市のお好み焼きはほとんどがこの卵。
- 宿泊は、北ホテルや京屋旅館があり

## 2. 実施内容と結果

### 第二回検討会 本資料

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業 ふりかえり																																					
10/17(金)山口市開催：参加者の主な意見(要約・抜粋)																																					
・第一回実施の振り返り：洞春寺×瀧流狂言	参加者の主な意見(抜粋・要約)																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>日次</th> <th>行程</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11:33</td> <td>新山口集合</td> </tr> <tr> <td>12:00</td> <td>瓦そば たかぜ</td> </tr> <tr> <td>13:00</td> <td>洞春寺 ①瀧流狂言上演 ②体験 ③衣装・お面体験 ④+α議論</td> </tr> <tr> <td>15:30</td> <td>狂言観とめぐる農勝地 ①一ノ宮川 ②瑠璃光寺 ③大内氏跡跡 ④池原陣屋 ⑤イカアレストランベツ</td> </tr> <tr> <td>18:30</td> <td>夕食(TONBO) 地元交流</td> </tr> </tbody> </table>	日次	行程	11:33	新山口集合	12:00	瓦そば たかぜ	13:00	洞春寺 ①瀧流狂言上演 ②体験 ③衣装・お面体験 ④+α議論	15:30	狂言観とめぐる農勝地 ①一ノ宮川 ②瑠璃光寺 ③大内氏跡跡 ④池原陣屋 ⑤イカアレストランベツ	18:30	夕食(TONBO) 地元交流	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>意見</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>音楽が分からなくても、動きだけで楽しめる</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>劇場で演目を観ることは大きな強みである</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>洞春寺の空間と狂言が合っており、舞台として申し分ない</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>事前に解説があったので、内容がよく理解できた</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>普段見られない距離感で演者と接されたことはセールスポイントとなる強み。</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>演者と一瞬に移動する。伝歩きはコンテンツとして魅力的</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>日本文化の歴史感を再発見した</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>参加者全員で笑える場があったのが印象的だった</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>日本の美しい歴史を体験できた</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>自分の席が狂言で表現されることは唯一無二の体験となる</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>狂言が「コト」の原型！と聞いていたが実際に笑いながら理解することが出来た。</td> </tr> </tbody> </table>	No.	意見	1	音楽が分からなくても、動きだけで楽しめる	2	劇場で演目を観ることは大きな強みである	3	洞春寺の空間と狂言が合っており、舞台として申し分ない	4	事前に解説があったので、内容がよく理解できた	5	普段見られない距離感で演者と接されたことはセールスポイントとなる強み。	6	演者と一瞬に移動する。伝歩きはコンテンツとして魅力的	7	日本文化の歴史感を再発見した	8	参加者全員で笑える場があったのが印象的だった	9	日本の美しい歴史を体験できた	10	自分の席が狂言で表現されることは唯一無二の体験となる	11	狂言が「コト」の原型！と聞いていたが実際に笑いながら理解することが出来た。
日次	行程																																				
11:33	新山口集合																																				
12:00	瓦そば たかぜ																																				
13:00	洞春寺 ①瀧流狂言上演 ②体験 ③衣装・お面体験 ④+α議論																																				
15:30	狂言観とめぐる農勝地 ①一ノ宮川 ②瑠璃光寺 ③大内氏跡跡 ④池原陣屋 ⑤イカアレストランベツ																																				
18:30	夕食(TONBO) 地元交流																																				
No.	意見																																				
1	音楽が分からなくても、動きだけで楽しめる																																				
2	劇場で演目を観ることは大きな強みである																																				
3	洞春寺の空間と狂言が合っており、舞台として申し分ない																																				
4	事前に解説があったので、内容がよく理解できた																																				
5	普段見られない距離感で演者と接されたことはセールスポイントとなる強み。																																				
6	演者と一瞬に移動する。伝歩きはコンテンツとして魅力的																																				
7	日本文化の歴史感を再発見した																																				
8	参加者全員で笑える場があったのが印象的だった																																				
9	日本の美しい歴史を体験できた																																				
10	自分の席が狂言で表現されることは唯一無二の体験となる																																				
11	狂言が「コト」の原型！と聞いていたが実際に笑いながら理解することが出来た。																																				
	37																																				

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業 第二回実地試行にむけて																																	
1/22(木) 第二回実地試行(案) 山口市開催																																	
・今後の地域関係者への展開(案)	第二回実地試行(案)：洞春寺×瀧流狂言																																
<p>■ テーマ 「1000年続く日本のコトの原型」 ～狂言師が、あなたの旅を即興狂言で描く～</p> <p>■ 狙い ・狂言を“古典芸能”として鑑賞するだけでなく、観光体験として。 「自分の旅が物語になる」ことを実感できるプログラムとする。</p> <p>・参加者は、狂言師とともに街を歩き、土地の歴史や自身の旅のエピソードを共有しながら、即興で演目に取り入れてもらうという双方・参加型の体験を提供する。</p> <p>・会場となる洞春寺の空間は、狂言の「間」や「静と動」を引き立て、幽玄でありながらユーモラスな芸能の本質を感じさせる舞台となる</p> <p>・旅の最後には参加者自身が舞台上立つ「狂言体験」を含まれ、芸能を「観る」から、「体験する劇」へと転換することで、日本の伝統文化をより深く理解するきっかけとする。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>日次</th> <th>行程</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11:33</td> <td>新山口駅到着</td> </tr> <tr> <td>11:45</td> <td>出発</td> </tr> <tr> <td>12:00</td> <td>瓦そば たかぜ(昼食) ※鬼瓦の伏魔</td> </tr> <tr> <td>13:30</td> <td>洞春寺 ①30分：狂言の解説(基礎知識や歴史/鬼瓦説明と鑑賞)の紹介：基本らん相談</td> </tr> <tr> <td>15:00</td> <td>洞春寺見学</td> </tr> <tr> <td>15:30</td> <td>狂言師とめぐる農勝地 (一ノ宮川/地蔵が大切にしている聖の歴史を伝えます)</td> </tr> <tr> <td>16:00</td> <td>観劇(大内氏の館跡跡、本物の鬼瓦の伏魔回収)</td> </tr> <tr> <td>16:30</td> <td>ふるさと伝承総合センター (歴史資料展示、伝承工芸品などの土産購入も可)</td> </tr> <tr> <td>17:00</td> <td>イカアレストランベツ(夕食は狂言師や地元の人との交流) 串刺しのアゴソフトが人気の山形でも狂言的お楽しみが出る機会</td> </tr> <tr> <td>19:30</td> <td>洞春温泉チェックイン</td> </tr> <tr> <td>09:00</td> <td>チェックアウト</td> </tr> <tr> <td>09:30</td> <td>洞春寺にて衣装体験</td> </tr> <tr> <td>10:00</td> <td>狂言披露(即興演目あり)</td> </tr> <tr> <td>11:00</td> <td>狂言体験(学生限定)</td> </tr> <tr> <td>12:00</td> <td>解散(現地又は新山口駅)</td> </tr> </tbody> </table>	日次	行程	11:33	新山口駅到着	11:45	出発	12:00	瓦そば たかぜ(昼食) ※鬼瓦の伏魔	13:30	洞春寺 ①30分：狂言の解説(基礎知識や歴史/鬼瓦説明と鑑賞)の紹介：基本らん相談	15:00	洞春寺見学	15:30	狂言師とめぐる農勝地 (一ノ宮川/地蔵が大切にしている聖の歴史を伝えます)	16:00	観劇(大内氏の館跡跡、本物の鬼瓦の伏魔回収)	16:30	ふるさと伝承総合センター (歴史資料展示、伝承工芸品などの土産購入も可)	17:00	イカアレストランベツ(夕食は狂言師や地元の人との交流) 串刺しのアゴソフトが人気の山形でも狂言的お楽しみが出る機会	19:30	洞春温泉チェックイン	09:00	チェックアウト	09:30	洞春寺にて衣装体験	10:00	狂言披露(即興演目あり)	11:00	狂言体験(学生限定)	12:00	解散(現地又は新山口駅)
日次	行程																																
11:33	新山口駅到着																																
11:45	出発																																
12:00	瓦そば たかぜ(昼食) ※鬼瓦の伏魔																																
13:30	洞春寺 ①30分：狂言の解説(基礎知識や歴史/鬼瓦説明と鑑賞)の紹介：基本らん相談																																
15:00	洞春寺見学																																
15:30	狂言師とめぐる農勝地 (一ノ宮川/地蔵が大切にしている聖の歴史を伝えます)																																
16:00	観劇(大内氏の館跡跡、本物の鬼瓦の伏魔回収)																																
16:30	ふるさと伝承総合センター (歴史資料展示、伝承工芸品などの土産購入も可)																																
17:00	イカアレストランベツ(夕食は狂言師や地元の人との交流) 串刺しのアゴソフトが人気の山形でも狂言的お楽しみが出る機会																																
19:30	洞春温泉チェックイン																																
09:00	チェックアウト																																
09:30	洞春寺にて衣装体験																																
10:00	狂言披露(即興演目あり)																																
11:00	狂言体験(学生限定)																																
12:00	解散(現地又は新山口駅)																																
	38																																

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業 第二回実地試行にむけて	
瀧流狂言へ事前ヒアリングを実施	
・事前ヒアリング	×E
<ol style="list-style-type: none"> <li>1、持続する流れに整えていきたい。継続を希望する。</li> <li>2、交流の時間を大切にしたい。</li> <li>3、衣装体験、道具体験は2日目だろうか？</li> <li>4、イタリア食堂での夕食交流はどうか？</li> <li>5、山口を好きになって欲しい。地域にお金を落とすとして欲しい。製作者の想いを伝えたい。</li> <li>6、地元の人々が大事。狂言だけでなく山口に来る理由にならない。</li> <li>7、体験はやる人、やらない人が出てくる。配慮が必要</li> <li>8、瑠璃光寺はA面の美しいお寺。一方で洞春寺はB面の面白さがある。</li> <li>9、狂言を本気で取り組んでいたことで、洞春寺の住職達との出会いがあった。</li> </ol>	
	40

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業 他地域への展開に向けて	
今後の横展開について展望	
<p>1. 地域の理解を得て進めることの重要性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統芸能の多くが宗教、儀式と接続しており、外部からの観光コンテンツ化には配慮が必要</li> <li>・実施にあたっては、地域が大切にすることが最も重要。地域住民、神職、演者との信頼関係の構築が最優先事項</li> <li>・定期開催、受入体制整備を視野に、地域との合意形成・段階的な商品化が求められる。</li> </ul>	
<p>2. 伝統芸能の歴史や背景を活かした商品づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単なる芸能鑑賞ではなく、「誰が、何故、どのように守り伝えてきたのか」を伝える設計がカギ。</li> </ul>	
	40

## 2. 実施内容と結果

### 第二回検討会 本資料

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業 ふりかえり																																					
10/17(金)山口市開催：参加者の主な意見(要約・抜粋)																																					
・第一回実施の振り返り：洞春寺×鷺流狂言	参加者の主な意見(抜粋・要約)																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>日次</th> <th>行程</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11:33</td> <td>新山口集合</td> </tr> <tr> <td>12:00</td> <td>瓦そば たかぜ</td> </tr> <tr> <td>13:00</td> <td>洞春寺 ①鷺流狂言上演 ②体験 ③衣装・お面体験 ④+α議論</td> </tr> <tr> <td>15:30</td> <td>狂言観とめぐる農勝地 ①一の宮川 ②瑠璃寺 ③大内氏跡跡 ④池田庭園 ⑤イノアレストランベツ</td> </tr> <tr> <td>18:30</td> <td>夕食(TONBO) 地元交流</td> </tr> </tbody> </table>	日次	行程	11:33	新山口集合	12:00	瓦そば たかぜ	13:00	洞春寺 ①鷺流狂言上演 ②体験 ③衣装・お面体験 ④+α議論	15:30	狂言観とめぐる農勝地 ①一の宮川 ②瑠璃寺 ③大内氏跡跡 ④池田庭園 ⑤イノアレストランベツ	18:30	夕食(TONBO) 地元交流	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>音楽が分からなくても、動きだけで楽しめる</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>即興で演目を変えることは大きな強みである</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>洞春寺の空間と狂言が合っており、舞台として申し分ない</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>事前に解説があったので、内容がよく理解できた</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>普段見られない距離感で演者と接されたことはセールスポイントとなる強み。</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>演者と一瞬に移動する。伝言はコンテンツとして魅力的</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>日本文化の歴史を再発見した</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>参加者全員で笑える場があったのが印象的だった</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>日本の笑いの歴史を体験できた</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>自分の席が狂言で表現されることは唯一無二の体験となる</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>狂言が「コントの原型」と聞いているが実際に笑いながら理解することが出来た。</td> </tr> </tbody> </table>	No.	内容	1	音楽が分からなくても、動きだけで楽しめる	2	即興で演目を変えることは大きな強みである	3	洞春寺の空間と狂言が合っており、舞台として申し分ない	4	事前に解説があったので、内容がよく理解できた	5	普段見られない距離感で演者と接されたことはセールスポイントとなる強み。	6	演者と一瞬に移動する。伝言はコンテンツとして魅力的	7	日本文化の歴史を再発見した	8	参加者全員で笑える場があったのが印象的だった	9	日本の笑いの歴史を体験できた	10	自分の席が狂言で表現されることは唯一無二の体験となる	11	狂言が「コントの原型」と聞いているが実際に笑いながら理解することが出来た。
日次	行程																																				
11:33	新山口集合																																				
12:00	瓦そば たかぜ																																				
13:00	洞春寺 ①鷺流狂言上演 ②体験 ③衣装・お面体験 ④+α議論																																				
15:30	狂言観とめぐる農勝地 ①一の宮川 ②瑠璃寺 ③大内氏跡跡 ④池田庭園 ⑤イノアレストランベツ																																				
18:30	夕食(TONBO) 地元交流																																				
No.	内容																																				
1	音楽が分からなくても、動きだけで楽しめる																																				
2	即興で演目を変えることは大きな強みである																																				
3	洞春寺の空間と狂言が合っており、舞台として申し分ない																																				
4	事前に解説があったので、内容がよく理解できた																																				
5	普段見られない距離感で演者と接されたことはセールスポイントとなる強み。																																				
6	演者と一瞬に移動する。伝言はコンテンツとして魅力的																																				
7	日本文化の歴史を再発見した																																				
8	参加者全員で笑える場があったのが印象的だった																																				
9	日本の笑いの歴史を体験できた																																				
10	自分の席が狂言で表現されることは唯一無二の体験となる																																				
11	狂言が「コントの原型」と聞いているが実際に笑いながら理解することが出来た。																																				
	37																																				

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業 第二回実地試行にむけて																																	
1/22(木) 第二回実地試行(案) 山口市開催																																	
・今後の地域関係者への展開(案)	第二回実地試行(案)：洞春寺×鷺流狂言																																
<p>■テーマ 「1000年続く日本のコントの原型」 ～狂言師が、あなたの旅を即興狂言で描く～</p> <p>■狙い ・狂言を“古典芸能”として鑑賞するだけでなく、観光体験として、 「自分の旅が物語になる」ことを実感できるプログラムとする。</p> <p>・参加者は、狂言師とともに街を歩き、土地の歴史や自身の旅のエピソードを共有しながら、即興で演目に取り入れてもらうという 双方・参加型の体験を提供する。</p> <p>・会場となる洞春寺の空間は、狂言の「間」や「静と動」を引き立て、 幽玄でありながらユーモラスな芸能の本質を感じさせる舞台となる</p> <p>・旅の最後には参加者自身が舞台に立つ狂言体験を含まれ、 芸能を「観る」から、「体験する劇」へと転換することで、 日本の伝統文化をより深く理解するきっかけとする。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>日次</th> <th>行程</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11:33</td> <td>新山口駅到着</td> </tr> <tr> <td>11:45</td> <td>出発</td> </tr> <tr> <td>12:00</td> <td>瓦そば たかぜ(昼食) ※鬼瓦の伏線 を設け、基本を学ぶ</td> </tr> <tr> <td>13:30</td> <td>洞春寺 ①30分：狂言の解説(基礎知識や歴史/鬼瓦説明と鑑賞) の振り返り、基本を学ぶ</td> </tr> <tr> <td>15:00</td> <td>洞春寺見学</td> </tr> <tr> <td>15:30</td> <td>狂言観とめぐる農勝地 (一の宮川/瑠璃寺が大切!という歴史の解説を伝える)</td> </tr> <tr> <td>16:00</td> <td>鷺流寺(大内氏の菩提寺、本物の鬼瓦の伏線回収)</td> </tr> <tr> <td>16:30</td> <td>お茶と伝承総合センター (歴史資料展示、伝承工芸品などの土産購入など)</td> </tr> <tr> <td>17:00</td> <td>イノアレストランベツ(夕食は狂言師や地元の人との交流) 市史のアウトプットが人気の山口市狂言劇場へお出陣の機会</td> </tr> <tr> <td>19:30</td> <td>洞春庭園チェックイン</td> </tr> <tr> <td>09:00</td> <td>チェックアウト</td> </tr> <tr> <td>09:30</td> <td>洞春寺にて衣装体験</td> </tr> <tr> <td>10:00</td> <td>狂言披露(即興演目あり)</td> </tr> <tr> <td>11:00</td> <td>狂言体験(伝言・お面など)</td> </tr> <tr> <td>12:00</td> <td>解散(現地又は新山口駅)</td> </tr> </tbody> </table>	日次	行程	11:33	新山口駅到着	11:45	出発	12:00	瓦そば たかぜ(昼食) ※鬼瓦の伏線 を設け、基本を学ぶ	13:30	洞春寺 ①30分：狂言の解説(基礎知識や歴史/鬼瓦説明と鑑賞) の振り返り、基本を学ぶ	15:00	洞春寺見学	15:30	狂言観とめぐる農勝地 (一の宮川/瑠璃寺が大切!という歴史の解説を伝える)	16:00	鷺流寺(大内氏の菩提寺、本物の鬼瓦の伏線回収)	16:30	お茶と伝承総合センター (歴史資料展示、伝承工芸品などの土産購入など)	17:00	イノアレストランベツ(夕食は狂言師や地元の人との交流) 市史のアウトプットが人気の山口市狂言劇場へお出陣の機会	19:30	洞春庭園チェックイン	09:00	チェックアウト	09:30	洞春寺にて衣装体験	10:00	狂言披露(即興演目あり)	11:00	狂言体験(伝言・お面など)	12:00	解散(現地又は新山口駅)
日次	行程																																
11:33	新山口駅到着																																
11:45	出発																																
12:00	瓦そば たかぜ(昼食) ※鬼瓦の伏線 を設け、基本を学ぶ																																
13:30	洞春寺 ①30分：狂言の解説(基礎知識や歴史/鬼瓦説明と鑑賞) の振り返り、基本を学ぶ																																
15:00	洞春寺見学																																
15:30	狂言観とめぐる農勝地 (一の宮川/瑠璃寺が大切!という歴史の解説を伝える)																																
16:00	鷺流寺(大内氏の菩提寺、本物の鬼瓦の伏線回収)																																
16:30	お茶と伝承総合センター (歴史資料展示、伝承工芸品などの土産購入など)																																
17:00	イノアレストランベツ(夕食は狂言師や地元の人との交流) 市史のアウトプットが人気の山口市狂言劇場へお出陣の機会																																
19:30	洞春庭園チェックイン																																
09:00	チェックアウト																																
09:30	洞春寺にて衣装体験																																
10:00	狂言披露(即興演目あり)																																
11:00	狂言体験(伝言・お面など)																																
12:00	解散(現地又は新山口駅)																																
	38																																

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業 第二回実地試行にむけて	
鷺流狂言へ事前ヒアリングを実施	
・事前ヒアリング	×E
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 持続する流れに整えていきたい。継続を希望する。</li> <li>2. 交流の時間を大切にしたい。</li> <li>3. 衣装体験、道具体験は2日目だろうか？</li> <li>4. イタリア食堂での夕食交流はどうか？</li> <li>5. 山口市が好きになって欲しい。地域にお金を落とすとして欲しい。製作者の想いを伝えたい。</li> <li>6. 地元の人々が大事。狂言だけでなく山口市に来る理由にならない。</li> <li>7. 体験はやる人、やらない人が出てくる。配慮が必要</li> <li>8. 瑠璃光寺はA面の美しいお寺。一方で洞春寺はB面の面白さがある。</li> <li>9. 狂言を本気で取り組んでいたことで、洞春寺の住職達との出会いがあった。</li> </ol>	

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業 他地域への展開に向けて	
今後の横展開について展望	
<p>1. 地域の理解を得て進めることの重要性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統芸能の多くが宗教、儀式と接続しており、外部からの観光コンテンツ化には配慮が必要</li> <li>・実施にあたっては、地域が大切にしているものが最も重要。地域住民、神職、演者との信頼関係の構築が最優先事項</li> <li>・定期開催、受入体制整備を視野に、地域との合意形成・段階的な商品化が求められる。</li> </ul>	
<p>2. 伝統芸能の歴史や背景を活かした商品づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単なる芸能鑑賞ではなく、「誰が、何故、どのように守り伝えてきたのか」を伝える設計がカギ。</li> </ul>	
	40

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業	
(4) 成果報告会に向けて	

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業 成果報告会に向けて	
成果報告内容について	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域のプレイヤーとのコミュニケーションの重要性 中心人物の熱意など</li> <li>2. 広島をハブとしたショートトリップの可能性</li> <li>3. 商品の良さ(景勝地×伝統芸能)</li> <li>4. 共通項は何か(鷺流狂言と神楽)</li> <li>5. 今後の展望(横展開・連泊滞在・自走化に向けて)</li> <li>6. その他</li> </ol>	
	42

## 2. 実施内容と結果

### 第二回検討会 本資料

中国地方の「景勝地×伝統芸能・民俗芸能」推進事業  
成果報告会に向けて

#### 本実証における効果検証

1. 夜間観光のニーズ
2. 周遊観光のニーズ
3. 観光消費のニーズ

43

中国地方の「景勝地×伝統芸能・民俗芸能」推進事業  
成果報告会に向けて

①今までお祭りのみの開催だった神楽を本業を持つ地域住民(神楽師)の日程(夜間活動)を伝える商品化ができるか？  
②単なる鑑賞型の狂言ではなく、地域文化の理解、地域住民との交流による満足度向上に貢献できるか？

景勝地 × 伝統芸能	消費額	消費額	
		観客単価	滞在日数
景勝地(舞台)	出遊NG(北広島)	×	×
	出遊OK(鞆渡)	×	×
	伝統芸能が所在する市町村にシャワー(湯見あり)	神楽師	神楽師
	滞在型(古民家等)	伝統芸能以外の内容 資料館・食などに加え、探究心を 育む人との交流機会を取り入れる	伝統芸能以外の内容 資料館・食などに加え、探究心を 育む人との交流機会を取り入れる
	滞在型(温泉地・ホテル等)	地域かりの内容 地域の自然・風情・人との交流等 旅の由來事を取り入れていく	地域かりの内容 地域の自然・風情・人との交流等 旅の由來事を取り入れていく
	景勝地(舞台)のある市町村にシャワー(湯見あり)	舞臺寺	舞臺寺

44

中国地方の「景勝地×伝統芸能・民俗芸能」推進事業  
成果報告会に向けて

#### 地域住民が誇りを持つ景勝地や歴史文化の保全・伝統衣類の維持等、域内循環への貢献可能性があるか？

KGI → KSF → KPI (地域全体の成果) → KPI (地域活動による直接成果)

売上・利益	消費単価の向上	滞在日数の増加	季節消費の管理	需要の平準化	地域への利益	環境歴史文化基金
①経済波及効果 ②旅行消費額	一人当たりの旅行消費額	延べ宿泊者数	季節消費の管理	月別季節消費の平準化率	観光事業者の平均給与額	環境歴史文化基金
KGIへ影響が大きい指標をKPIとして設定	旅行商品販売額増加	ナイトタイムツアーによる売上増加率	季節消費の管理	MICEの誘致数	観光従事者の満足度	環境歴史文化基金
						持続可能な観光に資する住民満足度
						GSTC 研修受講者数

45

中国地方の「景勝地×伝統芸能・民俗芸能」推進事業  
成果報告会に向けて

#### 地域が大切にしていることに没入。見る・する・支えるを融合した交流体験が可能か？

地域住民との交流/支える側の交流体験

夜間の雰囲気(夜間練習を体験コンテンツ化)

地域住民との交流機会/する側の交流体験

神楽鑑賞/見る・する・支えるの交流体験

46

中国地方の「景勝地×伝統芸能・民俗芸能」推進事業  
成果報告会に向けて

#### 地域が大切にしていることに没入。見る・する・支えるを融合した交流体験が可能か？

地域住民との交流/支える側の裏側を学ぶ

大内氏文化の周遊

地域住民との交流機会/する側の交流体験

鑑賞/見る・する・支えるの交流体験

47

中国地方の「景勝地×伝統芸能・民俗芸能」推進事業  
成果報告会に向けて

#### 地域への経済波及効果は？

山口県

広島県

岡山県

48

## 2. 実施内容と結果

### 第二回検討会 本資料

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
成果報告会に向けて

#### 地域への経済波及効果は？

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
成果報告会に向けて

#### 開催概要について

■ スケジュール ※1/16(金) 確定 ※21日前

時刻	内容
14:30	開場
15:00	<b>第1部 「事業報告」</b>
15:02	3 主催者あいさつ
15:05	45 <b>実証事業成果発表</b> -① 北広島町×神楽 -② 山口市×盛流狂言
15:50	10 休憩
16:00	<b>第2部 「パネルディスカッション」</b>
16:03	3 開催地あいさつ
16:13	40 パネルディスカッション(伝統芸能×有識者)
17:00	報告会終了

■ 事業名 「中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業報告会

■ 開催日時 令和8（2025）年2月6日（金）  
15:00～17:00（開場14:30）

■ 開催場所 ※ハイブリッド方式 Slido活用

■ 定員 名

■ 主催 中国運輸局

■ 共催 -

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
成果報告会に向けて

#### 参加者・登壇者について

№	名称	マーケティング・マネジメント対象とする区域	№	名称	マーケティング・マネジメント対象とする区域
<b>山口県観光DMO</b>					
1	【一社】県市観光半部	徳川県、三島県、日笠県、早瀬市、大坂市、丹波県、赤松県、和歌山県、島根県、徳島県	1	【一社】太田市観光協会	島根県：太田市
2	【一社】せとうち観光推進機構	兵庫県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県	2	【一社】美濃市観光協会	岡山県：美濃市
3	【一社】山陽インバウンド機構	鳥取県、島根県	3	【一社】美濃市観光協会	岡山県：美濃市
<b>岡山県観光DMO</b>					
1	【一社】瀬戸のまち観光局	鳥取県：鳥取市、岩美町、笠岡市、倉吉市、八雲町、高梁市、新見市、倉敷市、津和野町、赤松町、赤松市、赤松町、赤松市、赤松町、赤松市	4	【一社】美濃市観光協会	岡山県：美濃市
2	【一社】瀬戸中部観光推進機構	鳥取県：倉吉市、三朝町、高梁市、津和野町、赤松町、赤松市、赤松町、赤松市	5	【一社】ヒジト茶舗	岡山県：美濃市
3	【一社】瀬戸・河津湖・大山園地観光局	鳥取県：赤松市、島根県：安来市	6	【一社】美濃市観光協会	岡山県：美濃市
4	【一社】瀬戸東部観光推進機構	鳥取県：鳥取市、島根県：安来市	7	【一社】三次観光推進機構	広島県：三次市
5	【一社】瀬戸シニア観光推進機構	鳥取県：鳥取市、島根県：安来市	8	【一社】美濃市観光協会	岡山県：美濃市
6	【一社】美濃市観光局	岡山県：美濃市、新庄町	9	【一社】ディスカバリー美濃	広島県：美濃市
7	【一社】美濃市観光局	岡山県：美濃市、新庄町	10	【一社】美濃市観光協会	岡山県：美濃市
8	【一社】美濃市観光局	岡山県：美濃市、新庄町	1.1	【一社】宇都宮観光コンベンション協会	山口県：宇都宮市
9	【一社】美濃市観光局	岡山県：美濃市、新庄町	1.2	【一社】美濃市観光協会	山口県：美濃市
10	【一社】美濃市観光局	岡山県：美濃市、新庄町	1.3	【一社】美濃市観光協会	山口県：美濃市

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
成果報告会に向けて

#### レイアウト/ハイブリット開催

## 2. 実施内容と結果

### (1) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進に向けた検討会の開催

#### ▶ 第三回検討会 議事次第

日時：令和8年2月6日(金) 13:30～15:30

場所：広島合同庁舎4号館5階 聴聞室

1. 開 会
2. 出席者紹介
3. 中国運輸局挨拶
4. 議 事
  - (1) 第二回実施試行の報告について
  - (2) 最終報告会について
  - (3) その他
5. 閉 会

#### 【資料】

- ・資料1 : 本資料
- ・資料2 : 第2回実施試行アンケート結果

## 2. 実施内容と結果

## (1) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進に向けた検討会の開催

## ▶ 第三回検討会 参加者

&lt;出席者&gt;

(順不同・敬称略)

区分	企業・団体名	職名等	氏名	ワライン
有識者	株式会社 OUGI	取締役	鈴木 雅己	○
	株式会社 OUGI	ストーリーテラー	加藤 亜祐美	○
	株式会社 ジャーマン・インターナショナル	代表取締役	ルース・マリー・ ジャーマン	○
	株式会社 makes	代表取締役	後藤 直哉	○

&lt;事務局&gt;

区分	企業・団体名	職名等	氏名	ワライン
事務局	中国運輸局	課長	柏木 実	
		主査	山崎 慎平	
		係員	中村 雪乃	
運営 スタッフ	株式会社 JTB 広島支店	営業課長	山口 啓介	
		観光開発アドバイザー	安藤 真雄	
		営業開発アドバイザー	鳥居 丈人	
		グループリーダー	竹村 純	
		ディレクター	道下 ひより	
		ディレクター	武本 苑子	○
	株式会社 JTB 山口支店	観光開発アドバイザー	山本 洋介	○

## 2. 実施内容と結果

## (1) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進に向けた検討会の開催

## ▶ 第三回検討会 議事録

日時	2/6(金) 13:30～15:30
開催場所	広島合同庁舎4号館5階聴聞室
議題	・第二回実地試行について ・最終成果報告会について
議事	<p>(1)主な論点</p> <p>①第二回実地試行の報告について</p> <p>◎ガイドの役割と必要性:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語を話せる担当者の常時同行、旅程管理と気配りのできる添乗員が必要。</li> <li>・北広島町の魅力や情熱を精神ごと伝えられる通訳ガイドが不可欠。</li> <li>・文化的背景のない人向けには、事前のフリーングが必要。</li> <li>・外国籍またはネイティブレベルの英語力と神楽への深い理解を持つガイドが望ましい。</li> <li>・旅行会社が懸念するアマチュアガイドによるトラブルを避けるため、既存ガイドの育成や研修が重要。</li> <li>・旅のスタート地点は広島駅とし、そこからガイドがアattendすることでワクワク感を醸成できるのではないだろうか。</li> </ul> <p>◎価格設定:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・島根県や温泉宿と組み合わせれば20万円でも成立するとの意見がある一方、食事内容や会場が価格に見合わないとの指摘もある。</li> <li>・ターゲット層（高単価旅行者）を考慮し、15万円～20万円程度の価格設定が適切。</li> </ul> <p>◎スケジュール:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ツアー冒頭でのワクワク感の醸成、広島駅からのバス移動中にツアー概要を話すなどの工夫が必要。</li> <li>・夏と冬で配慮が異なるため、季節に応じた設計が必要。</li> </ul> <p>◎食事:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビーガン・アレルギー対応の事前確認が必須。</li> <li>・ストーリー性のある食事（おにぎりなど）は良いが、提供方法や背景説明を工夫する必要がある。</li> <li>・夕食の交流会はセットメニューではなく、居酒屋での注文形式の方が良いという意見あり。</li> <li>・日本酒やワインなど、素敵なグラスでの提供が望ましい。</li> <li>・北広島町のラーメン店でのビーガンラーメン提供の可能性。</li> </ul> <p>◎宿泊:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜遅くまで神楽鑑賞があるため、移動時間が短い宿泊施設が望ましい（30分以内が理想）。</li> <li>・ハード面を改装出来ない場合は、ホテルのスタッフへの研修や、部屋の利用方法（布団の活用、暖房の入れ方など）の丁寧な説明で改善が可能。</li> <li>・北広島町では、グランピング施設のような、夜の交流ができる場所も候補。</li> <li>・宿泊施設は「地元っぽい」か「高級」かのどちらかに振り切るべき。</li> <li>・ナイトアクティビティとして販売する場合、鑑賞後にビールを飲んだり感想を語り合ったりする交流スペースがあると良いのではないかと。</li> </ul>

## 2. 実施内容と結果

## (1) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進に向けた検討会の開催

## ▶ 第三回検討会 議事録

議事	<p>◎商品としての核（北広島町）：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神楽、山、生活など要素が散りばめられており、何を軸にするか明確化が必要。</li> <li>・神楽団との交流が核である。</li> <li>・ナイトタイムエコノミーに特化した「スーパーナイトコンテンツ」としての売り出しも有効。</li> <li>・カルチャーを軸にした「ファミリー向け」と、ナイトアクティビティを軸にした「日本男児ツアー」のような二極化も検討。</li> </ul> <p>◎商品としての核（山口市）：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・演者から直接学べる体験が核。</li> <li>・演者をスターとして演出し、プロモーションを強化すべき。</li> <li>・演者のサポーター（ヘルパー）を配置し、ツアーの質を高める。</li> <li>・狂言と街の歴史・文化とのつながりをストーリーとして伝える。</li> <li>・受け入れ人数：</li> <li>・街歩きは、一体感を保つため少人数（5人程度）にグループ分けし、フレキシブルな対応が必要。</li> <li>・食事会場のキャパシティやオペレーションの負荷も考慮し、最適な人数を検討。</li> <li>・経済合理性を考えると、少人数で高単価（15万～20万円）を目指す。</li> </ul> <p>②最終成果報告会について</p> <p>◎販路と連携先：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ターゲットは欧米豪の高単価旅行者とし、広島をハブとしたカセット販売を検討。</li> <li>・初期段階では、海外旅行会社によるBtoB販売が主となるので、日本在住のランドオペレーターや公的機関（観光協会など）と連携してオペレーション設計していくことが良い。</li> <li>・将来的にはOTAなど個人向け販売も視野に入れる。</li> </ul> <p>◎プロモーション：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政の力を借り、中国地方全体の伝統芸能を軸とした大規模なPRを展開する。</li> <li>・演者をスターとして売り出し、演者の魅力を前面に出す。</li> </ul> <p>◎自走化と横展開：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域プレイヤーとのコミュニケーション、本物志向、地域を深掘りする姿勢が重要。</li> </ul>
----	---

## 2. 実施内容と結果

## (1) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進に向けた検討会の開催

## ▶ 第三回検討会 議事録

議事	<p>(2)課題とアプローチ方針</p> <p>◎課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドの質と量：伝統芸能への深い理解と多言語対応、ストーリーテリング能力を兼ね備えたガイドの不足。</li> <li>・宿泊施設の魅力向上：既存宿泊施設のサービスや設備に対する改善、高単価旅行者向けの魅力的な宿泊施設の選択肢の少なさ。</li> <li>・食事の対応力：ビーガン・アレルギー対応、ストーリー性のあるメニュー提供、地域が無理なく提供できる体制の構築。</li> <li>・ツアーの核の明確化：ツアーの魅力を確認に打ち出すための「核」の特定と、それに基づいたストーリーの構築。</li> <li>・受け入れ体制の整備：最適な人数規模でのツアー運営、オペレーションの効率化、緊急時の対応策。</li> </ul> <p>◎アプローチ方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドの育成と活用： <ul style="list-style-type: none"> <li>・広島を拠点に活動するガイドに、神楽や狂言の歴史・文化に関する研修を実施し、専門性を高める。</li> <li>・外国籍またはネイティブレベルの英語力を持ち、伝統芸能に情熱を持つ人材を積極的に採用・育成する。</li> <li>・広島駅を旅のスタート地点とし、移動中に映像やガイドによるブリーフィングでワクワク感を醸成する。</li> </ul> </li> <li>・宿泊施設の改善と多様化： <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存宿泊施設（広島北ホテルなど）に対して、サービス向上や設備改善に関する研修・アドバイスを実施する。</li> <li>・高単価旅行者向けに、グランピング施設や高級旅館の活用を検討し、宿泊体験自体を魅力的なものにする。</li> <li>・鑑賞後の交流スペースを設け、ツアーの満足度を高める。</li> </ul> </li> <li>・食事のストーリー性と柔軟性： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビーガン・アレルギー対応は必須とし、必要に応じてビーガンラーメンなどの代替メニューを開発・導入する。</li> <li>・食事の場所やメニューにストーリー性を持たせ、地域の文化や歴史とのつながりを強調する（例：おにぎりの由來說明）。</li> <li>・夕食は、交流を重視する。</li> </ul> </li> <li>◎ツアーの核の明確化と演出： <ul style="list-style-type: none"> <li>・北広島町は「ナイトタイムエコノミー」や「ファミリー向け文化体験」など、ターゲットに応じた核を明確にする。</li> <li>・ツアー全体を通じて、演者や神楽団長との交流、地域住民との触れ合いを重視する。</li> </ul> </li> <li>・ストーリーブックは、情報提供だけでなく、体験者の感情に寄り添い、旅の発見を促すツールとして改善する。</li> <li>・成功事例を「パターン化」し、チェックリストやガイドラインとして他地域に提供することで、横展開を促進する。</li> <li>・地域が主体的に事業を継続できるよう、無理のない持続可能な仕組みづくりを支援する。</li> </ul>
----	---

## 2. 実施内容と結果

### 第三回検討会 本資料

#### 資料1

令和7年度 訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業(実証事業)  
「中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業」業務

【第三回検討会用資料】

令和8年2月6日

#### 中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業 振り返り

##### 本事業の目的

中国地方における景勝地と伝統芸能・民俗芸能を掛け合わせたコンテンツがどの程度インバウンドに訴求力を持ち、**宿泊者数や観光消費額増加**を伴う来訪促進に向けたコンテンツとなり得るのか調査検討を行う。

$$\begin{matrix} \text{閑散期及び平日} \\ \text{来訪客数・滞在日数} \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{平均滞在時間} \times \text{平均商品単価} \\ \text{一人当りの消費単価} \end{matrix} \times \begin{matrix} \text{地域連携} \\ \text{地域内調達率} \end{matrix} = \begin{matrix} \text{域内消費効果} \\ \text{観光消費額} \end{matrix}$$

##### 【本実証事業の内容】

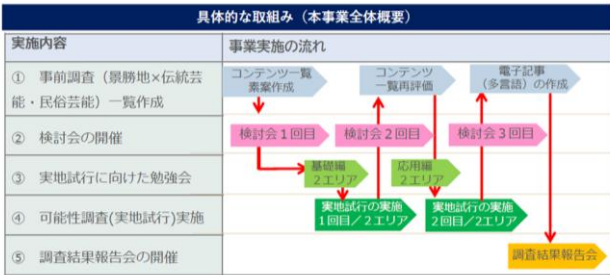
中国地方における“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”の可能性調査

- ◆ 業務Ⅰ “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する事前調査
- ◆ 業務Ⅱ “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進に向けた取組
- ◆ 業務Ⅲ 調査結果報告会の開催

2

#### 中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業 振り返り

##### 全体スケジュール



3

#### 中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業 振り返り

##### 検証地を2エリアに絞り、実証



4

#### 中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業 (1)第二回実地試行の報告

#### 中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業 振り返り

##### 1/21(水)-22(木) 北広島町開催：参加者の主な意見(要約・抜粋)

・第二回実地の振り返り 有田八幡神社×有田神楽

参加者の主な意見(抜粋・要約)

日次	行程
1	10:50 広島駅 11:45 道の駅磯ノド (地元ガイド合流) 12:00 王生城址跡 12:50 昼食：へんご茶屋 14:00 芸北民俗芸能保存伝承館（学芸員）＋トイレ休憩 15:00 有田八幡神社「参拝・着ぶりの体験」（宮司・スタッフ） 17:00 ホテルチェックイン 18:15 夕食：ラーメン原盛（ケーダング料理・地元交流） 20:00 有田神楽団 鑑賞 及び衣装体験・ディスカッション
2	09:30 チェックアウト 09:45 道の駅磯ノド（解散）

No.	分類	高松のプラットフォームに向けて
1	全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>所収言語(英語)だけではなく日本語の案内が必要</li> <li>参加者の旅程管理、気配りも含めていた方がよい。</li> <li>遠征ガイドが、北広島町の魅力や人々の情緒を「体験」してほしい(「種別」として伝えなければ意味がない)。</li> <li>文化的背景の無い人向けに事前のプリアップが必須。</li> <li>共通言語がない状態で、自然の交流を期待するのは難しく、ガイドによる媒介・仲介が不可欠。</li> </ul>
2	価格設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>高松原や湯家原を駆け足20分程度でも成立する。</li> <li>食事内容、食事会場が見合わない。</li> <li>ツアーの開始・終了の時刻をある程度良い。</li> </ul>
3	スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>広島駅からのバス50分程度で、ツアー概要・北広島町の概要を説明したらよいのでは？</li> <li>何處も道の駅磯ノドに乗ったのは良かった。</li> <li>季節要因が影響される数と冬で気候が異なる。</li> <li>事前にオンラインアンケートで参加者の確認が必要。</li> <li>へんご茶屋メニューと人が密着したメニューを重複すべきかストーリーに焦点を充てるべきか？</li> </ul>
4	お食事	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流夕食：セットメニューor注文式が良いか？</li> <li>古民家で手料理が良いか？遠征は？</li> <li>焼く・炒める料理を少量提供するのが良いのでは？</li> <li>日本酒やワインなど無類なグラスと具材が良いのか？</li> </ul>

6

2. 実施内容と結果

第三回検討会 本資料

中国地方の「景勝地×伝統芸能・民俗芸能」推進事業 振り返り	
1/21(水)-22(木) 北広島町開催：参加者の主な意見(要約・抜粋)	
・第二回実施の振り返り 有田八幡神社×有田神楽	
No.	分類
5	街歩き
6	ハイライト
7	宿泊
8	お土産
9	移動
10	演出
参加者の主な意見(抜粋・要約)	
No.	分類
11	ストーリーブック
12	商品としての旗
7	

中国地方の「景勝地×伝統芸能・民俗芸能」推進事業 振り返り	
1/22(木)-23(金) 山口市開催：参加者の主な意見(要約・抜粋)	
・第二回実施の振り返り：洞春寺×嵯流狂言	
参加者の主な意見(抜粋・要約)	
No.	分類
1	全体
2	趣意設定
3	スケジュール
4	お食事
参加者の主な意見(抜粋・要約)	
No.	分類
1	全体
2	趣意設定
3	スケジュール
4	お食事
8	

中国地方の「景勝地×伝統芸能・民俗芸能」推進事業 振り返り	
1/22(木)-23(金) 山口市開催：参加者の主な意見(要約・抜粋)	
・第二回実施の振り返り：洞春寺×嵯流狂言	
No.	分類
5	街歩き
6	ハイライト
7	宿泊
8	お土産
9	移動
10	演出
参加者の主な意見(抜粋・要約)	
No.	分類
11	ストーリーブック
12	商品としての旗
9	

中国地方の「景勝地×伝統芸能・民俗芸能」推進事業

## (2) 成果報告会について

中国地方の「景勝地×伝統芸能・民俗芸能」推進事業 成果報告会について	
開催概要について	
■ スケジュール ※2/17(火) 確定予定 ※15日前	
09:30	開場
10:00	第1部「事業報告」
10:02	3 主催者あいさつ
10:05	45 実証事業成果発表 -① 北広島町×神楽 -② 山口市×嵯流狂言
10:10	10 休憩
11:00	第2部「パネルディスカッション」
11:03	3 モデレーターあいさつ
11:13	40 パネルディスカッション(伝統芸能×有識者)
12:00	報告会終了
■ 事業名 「中国地方の」景勝地×伝統芸能・民俗芸能推進事業報告会	
■ 開催日時 令和8(2026)年3月4日(水) 10:00~12:00 (開場09:30)	
■ 開催場所 中国運輸局内 会議室 ※ハイパッド方式	
■ 定員 名	
■ 主催 中国運輸局	
11	

中国地方の「景勝地×伝統芸能・民俗芸能」推進事業 成果報告会について	
レイアウト/ハイブリット開催	
<p>■ テーマ 『景勝地×伝統芸能・民俗芸能による中国地方観光の可能性について』</p> <p>■ 内容 (案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の「レイアウト」とコミュニケーションの重要性について(中心人物の熟慮)</li> <li>・商品(景勝地×伝統芸能)の良さ×課題について</li> <li>・嵯流狂言と芸北神楽の共通項は何か</li> <li>・広島をハブとしたショートドライブの可能性</li> <li>・今後の展望について(自走化・横展開・連泊滞在等)</li> </ul> <p>■ コーディネーター/パネリスト (詳細を記載)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・株式会社OUGI 取締役 鈴木雅己 氏</li> <li>・株式会社MAKES 代表取締役 後藤直哉 氏</li> <li>・株式会社ジャーマン・インターナショナル ルース・マリ・ジャーマン 氏</li> </ul>	
12	

## 2. 実施内容と結果

### 第三回検討会 本資料

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
成果報告会について

#### 地域のプレイヤーとのコミュニケーションの重要性とは？

キープレイヤー



地域プレイヤーの巻き込み



13

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
成果報告会について

#### 商品(景勝地×伝統芸能)の良さや課題とは？

景勝地 (地域が大切にしている自然・歴史・文化)



伝統芸能 (地域に負荷をかけすぎない取組とは？)



14

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
成果報告会について

#### 鶯流狂言と芸北神楽の共通項は？

景勝地×伝統芸能



コンテンツの性質

NO	分類の軸	備考
1	コンテンツの性質	伝統芸能
2	顧客層	・個人旅行者orミニグループの団体旅行者 ・ファミリー、シニア、若年 ・富裕層
3	所要時間	・短時間型 ・半日型 ・1日型 ・曜日を伴う長期型
4	価格帯	・低価格、中価格、高価格
5	販売期間	・実施期間まで販売が可能か否か ・販売から実施までのリードタイム長期
6	実施時期	・連年型 ・季節限定型
7	顧客対応	・顧客の要望に応じたアレンジが可能なパッケージ型 ・顧客の要望に応じたアレンジが必要なオーダーメイド型
8	販路(連携先)	・観光販売 ・OTA ・海外旅行会社 ・海外旅行を取り扱うランドオペレーター等 ・観光案内所、ホテルコンシェルジュ
9	プロモーション	・メディア(旅行雑誌、TV番組) ・SNS(インフルエンサー等) ・イベント出展(商談会等)

15

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
成果報告会について

#### 広島をハブとしたショートトリップの可能性は？



16

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
成果報告会について

#### 今後の展望について(自走化・横展開・連泊滞在等)は？



17

## 2. 実施内容と結果

### (2) 実地試行実施に向けた勉強会の開催

#### ▶ 第1回勉強会 実証エリア①北広島町 議事次第

日時：令和7年9月4日（木） 14：00～17：00

場所：北広島町 小石原農園

1. 開 会
2. 中国運輸局挨拶
3. 参加者紹介
4. 議 事
  - (1) 本事業の方向性と中国エリアの課題について
  - (2) 地域の課題(伝統芸能・民俗芸能の取組)について
  - (3) 他地域の事例について
  - (4) 今後の方向性について
5. 閉 会

#### 【資料】

- ・資料1：全体概要資料
- ・資料2：他地域の事例について
- ・資料3：今後の方向性について

## 2. 実施内容と結果

## (2) 実地試行実施に向けた勉強会の開催

&lt;出席者&gt;

(順不同・敬称略)

区分	企業・団体名	職名等	氏名	ワライ
北広島 関係者	東山神楽団		田辺 康行	
	北広島町役場		反田 賢太郎	
	有限会社大朝交通	代表取締役	堀田 高広	
	小石原農園		三須 敏幸	
有識者	NPO 神楽芸術研究所	事務局次長	湧田 裕樹	
	株式会社 OUGI	取締役	鈴木 雅己	
	株式会社 OUGI	ストーリーテラー	加藤 亜祐美	
	株式会社 makes	代表取締役	後藤 直哉	
講師	FeEL プロダクトカンパニー	神楽師	小野 辰浩	

&lt;事務局&gt;

(順不同・敬称略)

区分	企業・団体名	職名等	氏名	ワライ
事務局	中国運輸局	課長	柏木 実	
		主査	山崎 慎平	
		係員	中村 雪乃	
運営 スタッフ	株式会社 JTB 広島支店	営業課長	山口 啓介	
		観光開発アドバイザー	安藤 真雄	
		グループリーダー	竹村 純	

## 2. 実施内容と結果

## (2) 実地試行実施に向けた勉強会の開催

## ▶ 第一回勉強会 議事録 (北広島町)

日時	9/4(木) 14:00～17:00
開催場所	北広島町 小石原農園
議題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業の方向性と中国エリアの課題について</li> <li>・地域の課題(伝統芸能・民俗芸能の取組)について</li> <li>・他地域の事例について</li> </ul>
議事	<p>(1) 主な論点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 中国地方における観光客の流入同行説明: 事務局より課題、伝統芸能の課題や活用方、持続可能性を説明した。</li> <li>◎ 意見：伝統芸能を継承する団体の課題は多岐に渡るが、その課題の捉え方は伝統芸能を継承している者でなければ分からないことが多い。</li> </ul> <p>◎ 麻生神楽 小野様の発表：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・麻生神楽体験プログラムは、2020年のコロナによる活動自粛の期間に神楽保存会が自ら導き出した新たな活動として造成に取り組んだ。</li> <li>・北広島町では神楽を舞う機会が多く活動も活発であり、宇佐市の神楽保存会が持つ課題とは異なっている。</li> <li>・広島県北部については、中国山地を挟んで北には島根県を置くため、石見神楽の影響が強いと見える。実際に県北部で活動する神楽団体数は、北広島だけで60団体あり、伝統芸能が地域の文化や風俗に完全に溶け込んでいると思われる。</li> </ul> <p>◎ 伝統芸能継承に向けて：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2040年に神楽が地域コミュニティーとして共存していけるか。神楽を地域伝統芸能として後世に残していけるか。その目標に対しては、下記の8つの取組が考えられる。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 地域資源を観光素材として活用</li> <li>② 鑑賞型ではなく、体験型とするための地域の協力体制</li> <li>③ 伝統芸能の簡素化を避けるための計画</li> <li>④ インストラクターの稽古</li> <li>⑤ 周遊ガイドとの連携</li> <li>⑥ 宿泊場所、食事場所の協力</li> <li>⑦ 言語問題の解消</li> <li>⑧ 体験観光の販売協力旅行会社との連携</li> </ol> <p>◎ その他主な意見と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・景勝地は、映える場所ではなく、神楽と物語的・信仰的につながる場所であるべき：神楽の演目や神話との意味的接続性がない観光地にはふさわしくない。</li> <li>・滞在型(2泊3日)の行程が理想：資料館、神社、奉納神楽、地域の人との交流を含めた学びと共感の構成が必要。</li> <li>・実際の奉納神楽に訪日客を参加させることへの配慮：観光客ではなく、「共に祈る・敬う」立場としての体験設計が重要。</li> </ul>

## 2. 実施内容と結果

## (2) 実地試行実施に向けた勉強会の開催

議事	<p>(2) 課題とアプローチ方針</p> <p>課題①：景勝地の選定方針 → 神楽演目や伝承にゆかりのある地に明確化する。</p> <p>課題②：文脈の理解を促進する構成 → 行程初日に、北広島町を知る機会を配置し、文脈の理解を促進する構成にしていく。</p> <p>課題③：鑑賞者のマナー 鑑賞者のマナー、撮影制限などについては、事前オリエンテーションで徹底周知していく。</p> <p>◎ 今後のアプローチについて：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自然の恵み」とされる北広島町に包括される、本来の神事としての神楽を活用した文化観光コンテンツを創出していく。</li> <li>・北広島町にまつわる信仰、神話、自然といった文脈を重視し、地域の精神性・象徴性を体験化することを目的とする。</li> </ul> <p>◎ 今後の検証ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神楽演目がインバウンド向けに受容されるか。</li> <li>・演目の背景説明やストーリーテリングの工夫によって文化的理解と没入感が高まるか。</li> <li>・「神楽×景勝地×地域交流」の3点を結ぶ観光消費の創出効果があるか。</li> </ul> <p>◎ ターゲット：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・欧米豪の訪日 F I T 層(文化理解への意欲が高い層／日本の精神文化に関心がある層)</li> <li>・少人数で深い文化体験を求める個人または2人組</li> </ul> <p>◎ 実地試行構成：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第一回：関係者向け。演出、時間配分、案内導線、演者体制の確認</li> <li>・第二回：訪日外国人向け。文化理解度、U X、写真映え、拡散性などの定性、定量評価</li> </ul> <p>◎ 検討事項：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・販売価格、行程内容、演者側との調整、神楽と景勝地の「意味的連携」の構築(物語設計)、二次交通・宿泊・通訳ガイドの手配等。</li> </ul>
----	---

## 2. 実施内容と結果

### (2) 実地試行実施に向けた勉強会の開催

#### ▶ 第1回勉強会 実証エリア②山口市 議事次第

日時：令和7年9月5日（金）10：00～13：00

場所：山口県 洞春寺

1. 開 会
2. 中国運輸局挨拶
3. 参加者紹介
4. 議 事
  - (1) 本事業の方向性と中国エリアの課題について
  - (2) 地域の課題(伝統芸能・民俗芸能の取組)について
  - (3) 他地域の事例について
  - (4) 今後の方向性について
5. 閉 会

#### 【資料】

- ・資料1：全体概要資料
- ・資料2：他地域の事例について
- ・資料3：今後の方向性について

## 2. 実施内容と結果

## (2) 実地試行実施に向けた勉強会の開催

## ＜出席者＞

(順不同・敬称略)

区分	企業・団体名	職名等	氏名	ワライン
山口 関係者	山口鷺流狂言保存会	山口県無形文化財 保持者	米本 太郎	
	株式会社インターン	代表取締役	岡藤 凜太郎	
	山口県観光スポーツ文化部	調整監	山本 康弘	
	山口観光コンベンション協会	専務理事	眞田 直也	
	美祢市観光協会	事務局長	藤里 佳久	○
	美祢市観光協会		平岩 和也	○
有識者	株式会社 OUGI	取締役	鈴木 雅己	
	株式会社 OUGI	ストーリーテラー	加藤 亜祐美	
	株式会社 makes	代表取締役	後藤 直哉	
講師	FeEL プロダクトカンパニー	神楽師	小野 辰浩	

## ＜事務局＞

(順不同・敬称略)

区分	企業・団体名	職名等	氏名	ワライン
事務局	中国運輸局	課長	柏木 実	
		主査	山崎 慎平	
		係員	中村 雪乃	
運営 スタッフ	株式会社 JTB 広島支店	営業課長	山口 啓介	
		観光開発アドバイザー	安藤 真雄	
		グループリーダー	竹村 純	

## 2. 実施内容と結果

## (2) 実地試行実施に向けた勉強会の開催

## ▶ 第一回勉強会 議事録 (山口市)

日時	9/5(金) 10:00~13:00
開催場所	山口県 洞春寺
議題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業の方向性と中国エリアの課題について</li> <li>・地域の課題(伝統芸能・民俗芸能の取組)について</li> <li>・他地域の事例について</li> </ul>
議事	<p>(1) 主な論点</p> <p>◎ 中国地方の課題： 全国と比較して延べ宿泊者数、外国人宿泊者数、旅行消費単価が低い。特に外国人宿泊者数は全国の1.8%に留まり、広島県への集中（70%）が見られる。</p> <p>◎ 伝統芸能の活用： 観光消費額向上の具体策として、伝統芸能を活かした特別体験やナイトコンテンツの造成・販売が考えられる。</p> <p>◎ 伝統芸能側の課題： 演者（舞手、奏者）の多くが本業を持つ地域住民であるため、定期公演や出張公演に制約がある。また、宿泊施設や地域の受け入れ体制が不十分である。</p> <p>◎ 景勝地側の課題： 景勝地は通常営業との兼ね合いや、保護と活用とのバランス、電源設備、スペースの制約、許認可の問題など、イベント開催における課題が多い。</p> <p>◎ インバウンド誘致のターゲット： 広島県に多く訪れる欧米豪の富裕層（小グループ）をターゲットとし、日本の精神文化に触れる深い体験を提供することが重要視されている。</p> <p>◎ コンテンツのストーリー性： 景勝地と伝統芸能を組み合わせる際に、なぜその場所でその伝統芸能を行うのかというストーリー性が不可欠である。</p> <p>◎ 伝統芸能の持続可能性： 担い手不足、資金不足が深刻であり、これを解決するためにも、伝統芸能が収益を上げられる仕組みを構築する必要がある。</p> <p>◎ 価格設定の重要性： 安価な提供では持続性がなく、適正な価格設定とそれに見合う価値の提供が求められる。</p> <p>◎ 地域連携の可能性： 山口市だけでなく、周辺的美祢市などと連携し、広域での観光を推進することで、観光客の滞在期間延長や消費額増加を目指す。</p> <p>(2) 課題とアプローチ方針</p> <p>課題1：観光消費額の低迷 特に中国地方全体の外国人宿泊者数と旅行消費単価が全国平均を下回っている。</p> <p>課題2：伝統芸能の制約と持続可能性： 演者の本業との兼ね合い、後継者不足、資金不足、イベント化への抵抗感（奉納の儀式としての意識）など。</p> <p>課題3. 景勝地の活用制約： 通常営業との兼ね合い、保護と活用とのバランス、物理的な制約（スペース、電源など）、許認可の煩雑さ。</p> <p>課題4. コンテンツのストーリー性不足： 景勝地と伝統芸能を単に組み合わせるだけでは、観光客に響く魅力的な体験を提供できない。</p> <p>課題5. 二次交通の課題： 宿泊地から景勝地・体験場所への移動手段の確保が難しい。</p> <p>課題6. 価格設定と価値提供： 伝統芸能の価値を適切に価格に反映させ、観光客に満足度の高い体験を提供できていない。</p>

## 2. 実施内容と結果

## (2) 実地試行実施に向けた勉強会の開催

## ▶ 第一回勉強会 議事録 (山口市)

議事	<p>◎アプローチ方針</p> <p>①ターゲット層の明確化と深い体験の提供：      ・広島県を訪れる欧米豪の富裕層（5～10人程度の小グループ）を主要ターゲットとする。      ・日本の精神文化や地域文化に深く触れる「ディープカルチャー体験」を提供し、高単価・長期滞在を促す。      ・単なる鑑賞だけでなく、伝統芸能の「習得体験」や地域住民との交流を重視する（例：大分の神楽体験）。</p> <p>②景勝地と伝統芸能のストーリー構築：      ・景勝地で伝統芸能を行う「必然性」をストーリーとして作り込む。単に場所が珍しいだけでなく、歴史的背景や文化的なつながりを説明できるようにする。      ・狂言のように場所を選ばない特性を持つ伝統芸能の場合、景勝地を巡る旅の途中で体験し、最終的にその体験を狂言で発表する、といったストーリー性を持たせる。      ・特定の景勝地に限定せず、地域全体で伝統芸能と関連する場所を巡るコース設定も検討する。</p> <p>③伝統芸能の持続可能なビジネスモデル構築：      ・伝統芸能が収益を上げられるように、旅行商品として適正な価格設定を行う。旅行会社が販売する際に、伝統芸能の費用をグロスに含めることで、価値を下げずに提供する。      ・演者が本業を持つことを踏まえ、夜間や週末の開催、短期間での習得プログラムなど、柔軟な実施形態を検討する。      ・通訳案内士との連携により、多言語での解説や交流を促進し、体験価値を高める。</p> <p>④地域連携と広域観光の推進：      ・山口市だけでなく、美祢市など周辺自治体と連携し、広域での周遊ルートやコンテンツを開発する。      ・各地域の強み（山口市の宿泊施設、美祢市の景勝地など）を活かし、相互補完的な関係を築く。      ・DC（デスティネーションキャンペーン）の機会を捉え、国内外へのプロモーションを強化する。</p> <p>⑤多角的な視点でのコンテンツ開発：      ・伝統芸能を「古典」としてだけでなく、「現代に生きる芸能」として捉え、現代的な解釈や新しい表現方法も検討する（例：アニメの原点としての狂言、即興劇としての狂言）。      ・日本人には当たり前の文化や習慣（箸の置き方、神社での拍手など）を丁寧に解説し、外国人観光客の「なぜ？」に応えることで、体験の深みを増す。      ・SNSでの発信を意識した、話題性のある体験プログラムを造成する。</p> <p>これらのアプローチを通じて、中国地方の観光消費額向上と伝統芸能の持続的な発展を目指す。</p>
----	---

## 2. 実施内容と結果

# 第1回勉強会 本資料

### 資料1

令和7年度 訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業(実証事業)  
「中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業」業務

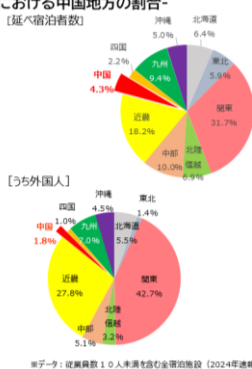
【第一回勉強会用資料】

令和7年9月4日・5日

### 1. 本事業の方向性と中国エリアの課題について

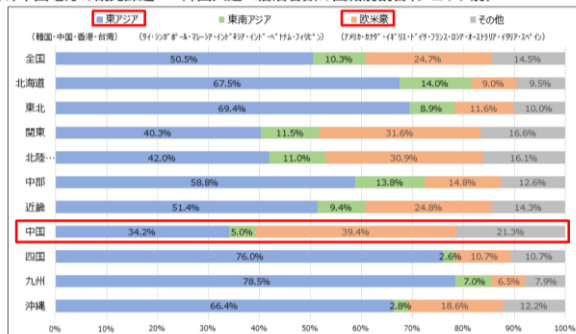
#### (1) 中国地方の観光課題 - 延べ宿泊者数の全国における中国地方の割合 -

エリア	延べ宿泊者数		うち外国人		割合(2019年)
	総数	ウエイト	総数	ウエイト	
北海道	38,354	6.4	8,215	5.5	7.3
東北	35,226	5.9	2,089	1.4	1.6
関東	188,932	31.7	63,272	42.7	35.0
北陸信越	41,266	6.9	4,708	3.2	2.9
中部	59,360	10.0	7,545	5.1	7.2
近畿	108,285	18.2	41,185	27.8	28.7
中国	25,902	4.3	2,637	1.8	1.9
四国	13,160	2.2	1,473	1.0	1.1
九州	55,696	9.4	10,387	7.0	7.6
沖縄	29,487	5.0	6,681	4.5	6.8
計	595,668	100.0	148,191	100.0	100



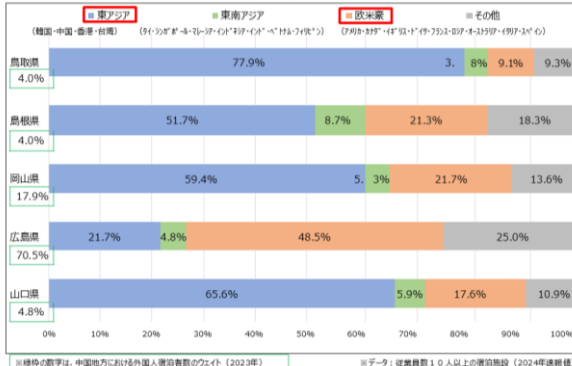
### 1. 本事業の方向性と中国エリアの課題について

#### (1) 中国地方の観光課題 - 外国人延べ宿泊者数の国籍別割合(ブロック別) -



### 1. 本事業の方向性と中国エリアの課題について

#### (1) 中国地方の観光課題 - 外国人延べ宿泊者数の国籍別割合(県別) -



### 1. 本事業の方向性と中国エリアの課題について

#### (2) 中国地方の観光課題まとめ

中国地方における外国人宿泊者数及び訪日外国人旅行消費単価は全国平均を大きく下回っている状況である。(2024年における外国人宿泊者数は、2,831,130人で、全国10ブロック中8位、訪日外国人旅行商品単価は、46,805円で全国10ブロック中最下位)

具体的な打ち手(宿泊者数や観光消費額増加に寄与する取組)として、伝統芸能の特別体験等のナイトコンテンツの造成・販売が考えられる。

しかしながら、  
①伝統芸能・民俗芸能における舞手や奏者の多くは、本業を別に持つ地域住民であり、定期公演や出張公演に制約がある。  
②宿泊施設や地域の受入体制機能が不十分

このことから、ナイトコンテンツとして売り出しにくい状況であると考えられる。

### 1. 本事業の方向性と中国エリアの課題について

#### (3) 本事業の目的

中国地方における景勝地と伝統芸能・民俗芸能を掛け合わせたコンテンツがどの程度インバウンドに訴求力を持ち、**宿泊者数や観光消費額増加**を伴う来訪促進に向けたコンテンツとなり得るのか調査検討を行う。

$$\text{閑散期及び平日} \times \text{平均滞在時間} \times \text{平均商品単価} \times \text{地域連携} = \text{域内消費効果}$$

$$\text{来訪客数} \times \text{滞在日数} \times \text{一人当りの消費単価} \times \text{地域内調達率} = \text{観光消費額}$$

#### 【本実証事業の内容】

中国地方における“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”の可能性調査

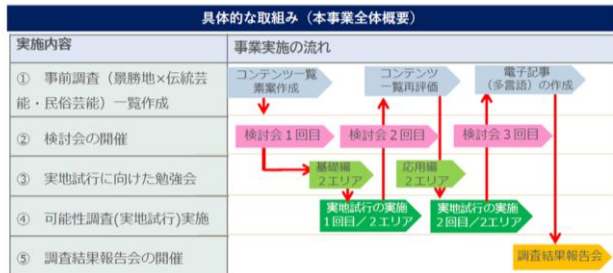
- ◆業務Ⅰ “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する事前調査
- ◆業務Ⅱ “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進に向けた取組
- ◆業務Ⅲ 調査結果報告会の開催

## 2. 実施内容と結果

### 第1回勉強会 本資料

#### 1. 本事業の方向性と中国エリアの課題について

##### (4) 全体スケジュール



2. 実施内容と結果

第1回勉強会 資料2

資料2

中国地方の景勝地×伝統芸能・民俗芸能推進事業  
他地域の事例

【(1) 事例① 徳島県徳島市「阿波おどり」

研究・出版  
・ <http://www.city.tokushima.lg.jp/seisaku/201904/1317/>  
・ <http://www.city.tokushima.lg.jp/seisaku/201904/1318/>

マタイズの手法	阿波おどりは舞踊の発展や観光促進を目的として行われる。 ・ イベントの開催場所以外に観光客向けに体験型(踊り教室)を開催し、観光客の来場を促している。 ・ 阿波おどりの振付は踊り手から伝承され、踊り手から伝承される。 ・ 阿波おどりの振付は踊り手から伝承され、踊り手から伝承される。 ・ 阿波おどりの振付は踊り手から伝承され、踊り手から伝承される。	
イベントの誘客の工夫	阿波おどりの振付は踊り手から伝承され、踊り手から伝承される。 ・ 阿波おどりの振付は踊り手から伝承され、踊り手から伝承される。 ・ 阿波おどりの振付は踊り手から伝承され、踊り手から伝承される。	

【参考ポイント】  
・ 「阿波おどり」は舞踊の発展や観光促進を目的として行われる。  
・ 阿波おどりの振付は踊り手から伝承され、踊り手から伝承される。

【(1) 事例① 徳島県徳島市「阿波おどり」

研究・出版  
・ <http://www.city.tokushima.lg.jp/seisaku/201904/1317/>  
・ <http://www.city.tokushima.lg.jp/seisaku/201904/1318/>

参加型・体験型の仕組み	阿波おどりの振付は踊り手から伝承され、踊り手から伝承される。 ・ 阿波おどりの振付は踊り手から伝承され、踊り手から伝承される。 ・ 阿波おどりの振付は踊り手から伝承され、踊り手から伝承される。	
伝統芸能の継承・普及への取組	阿波おどりの振付は踊り手から伝承され、踊り手から伝承される。 ・ 阿波おどりの振付は踊り手から伝承され、踊り手から伝承される。 ・ 阿波おどりの振付は踊り手から伝承され、踊り手から伝承される。	

【(1) 事例② 東京都青森市青森山「天空賞賛ナイト」

研究・出版  
・ <http://www.city.aomori.lg.jp/seisaku/201904/1317/>  
・ <http://www.city.aomori.lg.jp/seisaku/201904/1318/>

マタイズの手法	イベントは観光客向けに開催され、観光客の来場を促している。 ・ イベントの開催場所以外に観光客向けに体験型(踊り教室)を開催し、観光客の来場を促している。 ・ イベントの開催場所以外に観光客向けに体験型(踊り教室)を開催し、観光客の来場を促している。	
イベントの誘客の工夫	阿波おどりの振付は踊り手から伝承され、踊り手から伝承される。 ・ 阿波おどりの振付は踊り手から伝承され、踊り手から伝承される。 ・ 阿波おどりの振付は踊り手から伝承され、踊り手から伝承される。	

【参考ポイント】  
・ 「阿波おどり」は舞踊の発展や観光促進を目的として行われる。  
・ 阿波おどりの振付は踊り手から伝承され、踊り手から伝承される。


【(1) 事例② 東京都青森市青森山「天空賞賛ナイト」

研究・出版  
・ <http://www.city.aomori.lg.jp/seisaku/201904/1317/>  
・ <http://www.city.aomori.lg.jp/seisaku/201904/1318/>

参加型・体験型の仕組み	阿波おどりの振付は踊り手から伝承され、踊り手から伝承される。 ・ 阿波おどりの振付は踊り手から伝承され、踊り手から伝承される。 ・ 阿波おどりの振付は踊り手から伝承され、踊り手から伝承される。	
伝統芸能の継承・普及への取組	阿波おどりの振付は踊り手から伝承され、踊り手から伝承される。 ・ 阿波おどりの振付は踊り手から伝承され、踊り手から伝承される。 ・ 阿波おどりの振付は踊り手から伝承され、踊り手から伝承される。	

【(1) 事例③ 宮崎県高千穂市「高千穂夜神楽」の観光商品化

研究・出版  
・ <http://www.city.takahoku.lg.jp/seisaku/201904/1317/>  
・ <http://www.city.takahoku.lg.jp/seisaku/201904/1318/>

参加型・体験型の仕組み	阿波おどりの振付は踊り手から伝承され、踊り手から伝承される。 ・ 阿波おどりの振付は踊り手から伝承され、踊り手から伝承される。 ・ 阿波おどりの振付は踊り手から伝承され、踊り手から伝承される。	
伝統芸能の継承・普及への取組	阿波おどりの振付は踊り手から伝承され、踊り手から伝承される。 ・ 阿波おどりの振付は踊り手から伝承され、踊り手から伝承される。 ・ 阿波おどりの振付は踊り手から伝承され、踊り手から伝承される。	

2. 実施内容と結果

第1回勉強会 資料2

【1】事例③ 宮崎県高千穂町「高千穂夜神楽」の観光商品化

関係先: <http://www.kamikoto.com/>  
<http://www.kamikoto.com/kyogen/>  
<http://www.kamikoto.com/kyogen/kyogen.html>

マネタイズの方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光誘致の経費は材料（衣装料）最大700円で、年間約3万人以上が観覧する。観光客が観覧する各団体（保存会）への経費削減や観覧費のことで、伝統芸能の維持費用に充てられている。</li> <li>加えて、高千穂夜神楽は観光客への体験型観光商品として、高千穂夜神楽の衣装を着せ、高千穂夜神楽の舞を体験するツアーを実施している。高千穂夜神楽の衣装を着せ、高千穂夜神楽の舞を体験するツアーを実施している。</li> <li>高千穂夜神楽の衣装を着せ、高千穂夜神楽の舞を体験するツアーを実施している。</li> </ul>	
イベント調整の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人にわかりやすく（楽しんで）できるように、多言語のウェブサイト（英・中・韓・日）を用意し、観光客の理解を促進している。</li> <li>高千穂夜神楽の衣装を着せ、高千穂夜神楽の舞を体験するツアーを実施している。</li> <li>高千穂夜神楽の衣装を着せ、高千穂夜神楽の舞を体験するツアーを実施している。</li> </ul>	<p>出典: <a href="https://kakichiro.kamikoto.com/info/kamikoto/kyogen/">https://kakichiro.kamikoto.com/info/kamikoto/kyogen/</a></p>

【参考系】

- 伝統的な神楽祭を観光客向けにアレンジし、毎日上演することで宿泊客の滞在体験にしている。高千穂夜神楽祭の観光コンテナ企画に賛同している。
- また多言語のウェブサイトやパンフレット、伝統衣装の体験ツアー開催など、外国人でも理解しやすい工夫は、中国地方の神楽、民間芸能振興にも応用できている。

【1】事例④ 山形県庄内地域「黒川節・出羽三山ディープカルチャーツアー」

関係先: <http://www.kurokawa-festival.com/>  
<http://www.kurokawa-festival.com/kyogen/>


【事業概要（観光・伝統芸能・文化）】

- 山形県庄内地域に伝わる「黒川節」（2000年以上の歴史を持つ神楽の舞）と、出羽三山山形県黒川節の祭りの振興と観光客の誘致を目的とする。
- 黒川節の祭りの多岐にわたる魅力を、観光客が理解しやすくなるよう工夫している。
- 出羽三山山形県黒川節の祭りの魅力を、観光客が理解しやすくなるよう工夫している。

事業内容・体験の仕組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>ツアーでは、黒川節の祭りの見どころや歴史、祭りの由来、祭りの楽しみ方などを説明し、祭りの楽しみ方を体験してもらう。</li> <li>祭りの楽しみ方を体験してもらう。</li> <li>祭りの楽しみ方を体験してもらう。</li> </ul>	
伝統芸能の継承・普及の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>黒川節の祭りの魅力を、観光客が理解しやすくなるよう工夫している。</li> <li>黒川節の祭りの魅力を、観光客が理解しやすくなるよう工夫している。</li> <li>黒川節の祭りの魅力を、観光客が理解しやすくなるよう工夫している。</li> </ul>	<p>出典: <a href="https://www.kurokawa-festival.com/kyogen/kyogen.html">https://www.kurokawa-festival.com/kyogen/kyogen.html</a></p>

【1】事例⑤ 山形県庄内地域「黒川節・出羽三山ディープカルチャーツアー」

関係先: <http://www.kurokawa-festival.com/>  
<http://www.kurokawa-festival.com/kyogen/>

マネタイズの方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>黒川節の祭りの魅力を、観光客が理解しやすくなるよう工夫している。</li> <li>黒川節の祭りの魅力を、観光客が理解しやすくなるよう工夫している。</li> <li>黒川節の祭りの魅力を、観光客が理解しやすくなるよう工夫している。</li> </ul>	
イベント調整の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>黒川節の祭りの魅力を、観光客が理解しやすくなるよう工夫している。</li> <li>黒川節の祭りの魅力を、観光客が理解しやすくなるよう工夫している。</li> <li>黒川節の祭りの魅力を、観光客が理解しやすくなるよう工夫している。</li> </ul>	<p>出典: <a href="https://www.kurokawa-festival.com/kyogen/kyogen.html">https://www.kurokawa-festival.com/kyogen/kyogen.html</a></p>

【参考系】

- 伝統的な祭りを観光客向けにアレンジし、毎日上演することで宿泊客の滞在体験にしている。高千穂夜神楽祭の観光コンテナ企画に賛同している。
- また多言語のウェブサイトやパンフレット、伝統衣装の体験ツアー開催など、外国人でも理解しやすい工夫は、中国地方の神楽、民間芸能振興にも応用できている。

【1】事例⑥ 北海道厚岸郡「アイヌ古舞踊と文化体験プログラム」

関係先: <http://www.ainu-culture.com/>  
<http://www.ainu-culture.com/kyogen/>


【事業概要（観光・伝統芸能・文化）】

- アイヌ文化の魅力を、観光客が理解しやすくなるよう工夫している。
- アイヌ文化の魅力を、観光客が理解しやすくなるよう工夫している。
- アイヌ文化の魅力を、観光客が理解しやすくなるよう工夫している。

事業内容・体験の仕組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>アイヌ文化の魅力を、観光客が理解しやすくなるよう工夫している。</li> <li>アイヌ文化の魅力を、観光客が理解しやすくなるよう工夫している。</li> <li>アイヌ文化の魅力を、観光客が理解しやすくなるよう工夫している。</li> </ul>	
伝統芸能の継承・普及の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>アイヌ文化の魅力を、観光客が理解しやすくなるよう工夫している。</li> <li>アイヌ文化の魅力を、観光客が理解しやすくなるよう工夫している。</li> <li>アイヌ文化の魅力を、観光客が理解しやすくなるよう工夫している。</li> </ul>	<p>出典: <a href="http://www.ainu-culture.com/kyogen/kyogen.html">http://www.ainu-culture.com/kyogen/kyogen.html</a></p>

【1】事例⑦ 北海道厚岸郡「アイヌ古舞踊と文化体験プログラム」

関係先: <http://www.ainu-culture.com/>  
<http://www.ainu-culture.com/kyogen/>

マネタイズの方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>アイヌ文化の魅力を、観光客が理解しやすくなるよう工夫している。</li> <li>アイヌ文化の魅力を、観光客が理解しやすくなるよう工夫している。</li> <li>アイヌ文化の魅力を、観光客が理解しやすくなるよう工夫している。</li> </ul>	
イベント調整の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>アイヌ文化の魅力を、観光客が理解しやすくなるよう工夫している。</li> <li>アイヌ文化の魅力を、観光客が理解しやすくなるよう工夫している。</li> <li>アイヌ文化の魅力を、観光客が理解しやすくなるよう工夫している。</li> </ul>	<p>出典: <a href="http://www.ainu-culture.com/kyogen/kyogen.html">http://www.ainu-culture.com/kyogen/kyogen.html</a></p>

【参考系】

- 伝統的な祭りと自然・生活文化を包括的に体験できるプログラム構成は、地域の民俗芸能と土地の暮らしを結びつけて発信する好例である。
- 観光客の体験型観光商品の開発により、観光客の滞在体験を促進している点も参考になる。
- また伝統的要素（新作物の活用）による観光商品の開発と伝統的要素を活かした商品開発など、コンテンツの魅力を活かした工夫は、観光客の滞在体験にも応用できている。

【1】まとめ

【参考系】

- 各事例から導き出される示唆として、「景勝地×伝統芸能」の観光コンテナ成功の鍵は：
  - 地域資源と芸術の融合による「無二の体験」づくり
  - 観光客の体験型観光商品の開発により、観光客の滞在体験を促進すること
  - 多言語対応や観光客向け文化体験型商品の開発など、外国人でも理解しやすい工夫
  - 収益モデルの工夫（観光客向け商品開発・観光客向け商品開発など）
  - 地元民・手の回り手と連携を両立させる運営

それぞれ中国地方での「景勝地×伝統芸能・民俗芸能」推進事業を模倣する上で貴重な参考ポイントになるでしょう。



## 2. 実施内容と結果

### 第1回勉強会 資料3

別紙 他地域の事例

中国地方の景勝地×伝統芸能・民俗芸能推進事業

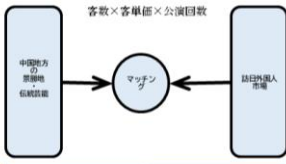
### (3) 他業種のビジネスモデル

|(3) 他業種のビジネスモデル

特定エリアの、客数・客単価・公演回数を増やすことは可能か？

コンテンツの方向性：マッチングモデル

チェックポイント



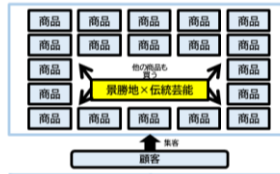
- ✓ 観光収入を得ることで、伝統芸能の持続性向上
- ✓ 演者や租い手育成につなげる
- ✓ 地域に根ざした芸能を通して、日本文化の奥深さと地域の魅力を世界に伝える
- ✓ 広域連携による文化圏の構築

|(3) 他業種のビジネスモデル

伝統芸能・民俗芸能を集客のフックとして、地域への経済波及効果を生み出すことは出来ないか？

コンテンツの方向性：特売モデル

チェックポイント



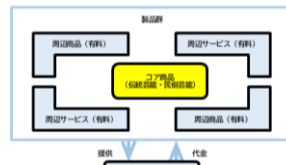
- ✓ 景勝地エリアの域内消費の増加
- ✓ 伝統芸能開催エリアの域内消費の増加

|(3) 他業種のビジネスモデル

伝統芸能・民俗芸能を核として、物販など収益率の高い商品で稼ぐことは出来ないだろうか？

コンテンツの方向性：オープンソースモデル

チェックポイント



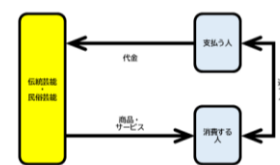
- ✓ 伝統芸能グッズの販売(衣装・Tシャツ・タオル等)

|(3) 他業種のビジネスモデル

伝統芸能・民俗芸能の観賞を、贈答品にすることは出来ないだろうか？

コンテンツの方向性：環境構築モデル

チェックポイント



- ✓ 鑑賞チケットの贈答による単価の向上

## 2. 実施内容と結果

### 第1回勉強会 資料3

|(3) 標準型のビジネスモデル

**閑散期や閑散時間を実施することは出来ないだろうか？**

コンテンツの方向性：標準化・最大化モデル

チェックポイント

▼ 閑散期

▼ 閑散時間

モデルとなる業界・商品・サービス

飛行機、ホテル、旅館、工場他
成立しやすい条件
利益を生む理由

|(3) 標準型のビジネスモデル

**リピーター顧客を生み出していくことは、出来ないだろうか？**

コンテンツの方向性：オプトアウトモデル

チェックポイント

▼ 低価格で販売

▼ 個人情報を入手できる

▼ 伝統芸能・民俗芸能以外のアプローチが可能

モデルとなる業界・商品・サービス

インターネット関連企業
成立しやすい条件
利益を生む理由

|(3) 標準型のビジネスモデル

**リピーター顧客を生み出していくことは、出来ないだろうか？**

コンテンツの方向性：リテンション設計

チェックポイント

▼ リピーター顧客創出に貢献できる

1. ユーザーの成長

2. ユーザーの継続

3. ユーザーの貢献

4. ユーザーの共有

中国地方の景勝地×伝統芸能・民俗芸能推進事業

**(4) 景勝地について**

|(4) 景勝地について

**景勝地の課題について**

コンテンツ達成から先達まで

課題

1. コンテンツ作成

2. 商流・流通施策

3. オペレーション

4. プロモーション

5. その他

|(4) 景勝地について

**景勝地の課題について**

コンテンツ達成から先達まで

課題

1. コンテンツ作成

2. 商流・流通施策

3. オペレーション

4. プロモーション

5. その他

## 2. 実施内容と結果

### 第1回勉強会 資料3

中国地方の景勝地×伝統芸能・民俗芸能推進事業

#### (5) 伝統芸能団体の課題について

(5) 伝統芸能団体について

#### 伝統芸能団体の課題について

コンテンツ構成から流通まで

課題

1. コンテンツ造成 売れる商品を作る
2. 商流・流通施策 売れる場所に流す
3. オペレーション 売れるように構える
4. プロモーション 売れるように促す
5. その他

- ✓ 市場ニーズとのマッチング
- ✓ 想定されるターゲット
- ✓ 交通の利便性
- ✓ 隣県コンテンツとの差別化の可能性
- ✓ セールスポイントの分かりやすさ
- ✓ SNS投稿向けの画像への期待度
- ✓ 受入環境(人材・看板・多言語・受入可能人員等)
- ✓ 金額の妥当性

(5) 伝統芸能団体について

#### 伝統芸能団体の課題について

コンテンツ構成から流通まで

課題

1. コンテンツ造成 売れる商品を作る
2. 商流・流通施策 売れる場所に流す
3. オペレーション 売れるように構える
4. プロモーション 売れるように促す
5. その他

▶コンテンツファミリーの構成	
コンテンツ	内容・効果
デジタル写真	コンテンツ性 演出・体験的な付加価値
動画 撮影機材	映像制作のノウハウ(2D・3D映像制作) 演出・演出機材のノウハウ(演出機材・主要機材のノウハウ)
コンテンツ (Digital Contents etc. special)	演出・演出機材のノウハウ(演出機材・主要機材のノウハウ)
撮影機材	● 撮影機材 高画質機材、演出機材
撮影機材のノウハウ	● 演出機材 (照明機材等)
演出・演出機材のノウハウ	演出機材 演出機材のノウハウ(演出機材・主要機材のノウハウ)
演出機材	演出機材 演出機材のノウハウ(演出機材・主要機材のノウハウ)

▶販売用タリフの構成	
コンテンツ	内容
デジタル写真 動画	コンテンツ性 演出・体験的な付加価値
動画 撮影機材	映像制作のノウハウ(2D・3D映像制作) 演出・演出機材のノウハウ(演出機材・主要機材のノウハウ)
コンテンツ (Digital Contents etc. special)	演出・演出機材のノウハウ(演出機材・主要機材のノウハウ)
撮影機材	● 撮影機材 高画質機材、演出機材
撮影機材のノウハウ	● 演出機材 (照明機材等)
演出・演出機材のノウハウ	演出機材 演出機材のノウハウ(演出機材・主要機材のノウハウ)
演出機材	演出機材 演出機材のノウハウ(演出機材・主要機材のノウハウ)

中国地方の景勝地×伝統芸能・民俗芸能推進事業

#### (6) 滞在時間について

(6) 滞在時間について

「景勝地×伝統芸能・民俗芸能」は、どんな方々と連携していくべきだろうか？

滞在エリア

ポイント



(6) 滞在時間について

「景勝地×伝統芸能・民俗芸能」は、どんな方々と連携していくべきだろうか？

コンテンツの方向性：中国地方ならではのストーリーを確立

チェックポイント



## 2. 実施内容と結果

### 第1回勉強会 資料3

中国地方の景勝地×伝統芸能・民俗芸能推進事業

#### (7) 商品設計について

|(7) 商品設計について

#### 「景勝地×伝統芸能・民俗芸能」の商品設計ポイントは？

・人気体験コンテンツのポイント

ポイント

1. 文芸ができる
2. 旅行者だけではたどり着かない場所（予約困難や秘田）に行ける
3. 事前予約が可能
4. その場所・コンテンツについて誰よりも詳しくなる
5. 地元の人と仲良くなり、協力体制を作る
6. ゲストが自分たちだけではできないことを考える
7. 地域独自の文化や習慣を体験にする

中国地方の景勝地×伝統芸能・民俗芸能推進事業

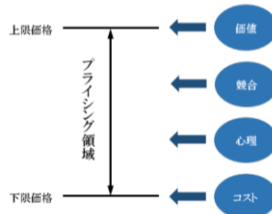
#### (8) 単価について

|(8) 単価について

#### 単価アップを試みることは出来るだろうか？

・イメージが価格を決めている。ベンチマークを参考に、単価アップを試みることは出来ないか？

ポイント



中国地方の景勝地×伝統芸能・民俗芸能推進事業

#### (9) 公演回数について

|(9) 公演回数について

#### 公演回数は増やすべきか？ 絞るべきか？

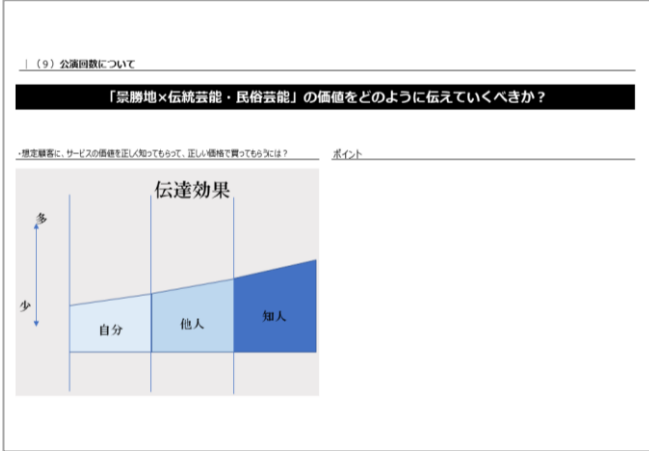
・想定顧客に、サービスの価値を正しく知ってもらって、正しい価格で買ってもらえる？

ポイント



## 2. 実施内容と結果

### 第1回勉強会 資料3



## 2. 実施内容と結果

### (2) 実地試行実施に向けた勉強会の開催

#### ▶ 第2回勉強会 実証エリア①北広島町 議事次第

日時：令和7年12月25日（木）14：00～15：30

場所：オンライン

1. 開 会

2. 議 事

- (1) 実施してきた取組について
- (2) 第二回実地試行について
- (3) 持続的な展開に向けて

3. 閉 会

【資料】

- ・資料1：本資料

## 2. 実施内容と結果

## (2) 実地試行実施に向けた勉強会の開催

## ▶ 第二回勉強会 議事録 (北広島町)

日時	12/25(木) 14:00-15:30
開催場所	ラーメン辰盛 (ハイブリッド)
議題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施してきた取組について</li> <li>・第二回実地試行について</li> <li>・持続的な展開に向けて</li> </ul>
議事	<p>(1) 主な論点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 実施してきた内容について振り返り</li> <li>◎ 第二回実地試行について</li> </ul> <p>① 壬生城跡</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積雪が心配。氷点下 - 4℃になる場合もある。お客様の安全を第一に考えて実施する。代案も検討しておく必要有り。壬生城跡が難しい場合は、パネルで説明し、すぐに民俗資料館のご案内が最適。1週間前の天気予報で判断する。</li> </ul> <p>② ランチ案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・五穀豊穡(稲作文化)を伝えていく。</li> <li>・注意点はビーガンやベジタリアン対応をどう行うか。</li> </ul> <p>お米やおにぎりは文化を伝えやすいが、屋外でのおにぎりは寒い。郷土料理を提供される方々を今後巻き込んでいけると良い。アレンジが可能だとさらに良い。</p> <p>③ コンテツタイトル：伝えたいことは、伝統文化のまちであること。生活の一部になっていること。文化の交差点という単語は良い。</p> <p>④ ガイド：町内に、英語ガイドはいるが、宗教上、神楽ガイドが出来ない。別途調整する必要がある。</p> <p>⑤ お土産：道の駅舞ロードIC千代田で設定するのが良い。</p> <p>⑥ ストーリーブック：広島に来訪者はインテリジェンスな方が多い傾向がある。事前にあらすじを渡した方がよい。</p> <p>⑦ 今回の入口(元々の考え方)の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有田神楽団の存続(フィーが落ちることで、伝統芸能を維持していくことが大切)</li> <li>・壬生城も利用料が入って、維持管理費を捻出できるか？がポイント。その伝え方が重要。</li> <li>・普段の生活をみてもらいたい。ライフスタイルを知っていただきたい。</li> </ul> <p>⑧ 神楽体験場所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冬の暖房設備はあるか？リバーシブルで鑑賞できる作りになっている。屋内にストーブもあり。</li> </ul> <p>⑨ 地域の人巻き込み方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お金を稼ぐことの出来るガイドや交通事業者なども巻き込みたい。いずれ価値観が一緒の人たちとやっていくことが必要。少しずつ拡大していく。</li> </ul> <p>以上の内容を踏まえ、実地試行の準備を行う。</p>

## 2. 実施内容と結果

### (2) 実地試行実施に向けた勉強会の開催

#### ▶ 第2回勉強会 実証エリア②山口市 議事次第

日時：令和7年12月23日（火）13：00～14：00

場所：オンライン

1. 開 会

2. 議 事

- (1) 実施してきた取組について
- (2) 第二回実地試行について
- (3) 持続的な展開に向けて

3. 閉 会

【資料】

- ・資料1：本資料

## 2. 実施内容と結果

## (2) 実地試行実施に向けた勉強会の開催

## ▶ 第二回勉強会 議事録 (山口市)

日時	12/23(火) 13:00-14:00
開催場所	オンライン (山口市)
議題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施してきた取組について</li> <li>・第二回実地試行について</li> <li>・持続的な展開に向けて</li> </ul>
議事	<p>(1) 主な論点</p> <p>◎モニターツアーの詳細調整: 1月22日・23日に予定されているモニターツアーの行程(時間配分、宿泊施設、食事アレルギ-・ビーガン対応)、最終日の解散場所(瑠璃光寺五重塔での自由見学)などを検討</p> <p>◎参加人数の想定とキャパシティ: 演者への負担、街歩きの妨げにならないか、食事のキャパシティなどを考慮し、5人以上20人程度の人数感を想定。</p> <p>◎持続可能な事業運営: 演者への依存度軽減: 演者個人の負担軽減と、演者が不在でもツアーが実施できる体制の構築。街歩きガイドなど地域の人材活用を検討。 ・地域との連携: 山口市国際交流関係、コンベンション協会、地域の旅行会社、街歩きガイドなど、多様な関係者を巻き込むことの重要性。</p> <p>◎継続的な実施頻度: 毎月ではなく、2~3ヶ月に1回、または四半期に1回程度の実施頻度が現実的かつ希少性を高める上で望ましい。</p> <p>◎収益性: 費用感や利益構造、コスト分解、オペレーション、営業戦略など、持続的な販売を見据えた検討が必要。 ◎タイトル設定: 海外の人が理解しやすく、親しみやすいライトなタイトルを検討</p> <p>◎配布資料: ツアー中にパラパラと読めるような、要点を絞った分かりやすい「しおり」や「ストーリーブック」の必要性。狂言鑑賞のポイントや山口の歴史・文化とのつながりを盛り込むと良い。 ◎アンケート: 参加者の具体的な感想やニーズを把握するため、定性的なコメントを重視したアンケート設計が良い。 ◎悪天候時の対応: 雪や雨の場合の街歩きルート短縮や、バスでの移動など、柔軟な対応策を検討。</p> <p>(2) 課題とアプローチ方針</p> <p>課題1: モニターツアーの実施詳細の詰め: 1月モニターツアーの具体的な行程や、参加者の受け入れ体制(食事、防寒、移動など)を細部まで調整する必要がある。</p> <p>課題2. 演者への依存度が高い: ツアーの魅力が演者個人に大きく依存しており、持続的な事業展開にはこの依存度を解消する必要がある。</p> <p>課題3. 地域連携の不足: ツアー運営に関わる地域内の多様なステークホルダー(行政、DMO、地元事業者、ガイドなど)との連携がまだ不十分。</p> <p>課題4. 持続的な実施体制の構築: 演者の多忙なスケジュールや、狂言保存会の年間活動を考慮すると、継続的なツアー実施の頻度や体制を確立することが難しい。</p> <p>課題5. 収益性のあるビジネスモデルの確立: モニターツアーから実販売へ移行するにあたり、適切な価格設定、販売戦略、コスト構造の明確化が課題。</p> <p>課題6. 効果的な情報発信とプロモーション: ターゲット層に響くタイトルや配布資料、広報戦略が未確立。</p> <p>課題7. 悪天候時のリスク管理: 特に冬場の積雪など、悪天候時のツアー運営に関する具体的な対応策が必要。無理のない実施頻度(例: 四半期に1回)を設定し、希少性を高める。</p> <p>以上の課題にアプローチしていくこととする。</p>

## 2. 実施内容と結果

## (2) 実地試行実施に向けた勉強会の開催

&lt;出席者&gt; 実証エリア①

(順不同・敬称略)

区分	企業・団体名	職名等	氏名	サイン
北広島 関係者	有田神楽団	団長	立盛 翔太	○
	東山神楽団		田辺 康行	○

&lt;出席者&gt; 実証エリア②

(順不同・敬称略)

区分	企業・団体名	職名等	氏名	サイン
山口 関係者	山口鷺流狂言保存会	山口県無形文化財 保持者	米本 太郎	○
有識者	株式会社 OUGI	取締役	鈴木 雅己	○
	株式会社 OUGI	ストーリーテラー	加藤 亜祐美	○

&lt;事務局&gt;

(順不同・敬称略)

区分	企業・団体名	職名等	氏名	サイン
事務局	中国運輸局	課長	柏木 実	○
		主査	山崎 慎平	○
		係員	中村 雪乃	○
運営スタッフ	株式会社JTB広島支店	観光開発アドバイザー	安藤 真雄	○

## 2. 実施内容と結果

### 第2回勉強会 本資料

資料1

令和7年度 訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業(実証事業)  
「中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業」業務

【第二回勉強会用資料】 -北広島町-

令和7年12月25日

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
**(1)実施してきた取組**

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
勉強会の開催

他地域の事例も交えながら、地域関係者と議論



北広島町の様子



北広島町の様子



北広島町の様子

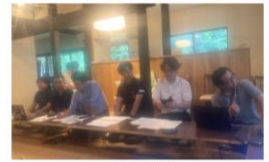


北広島町の様子

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
勉強会の開催



北広島町の様子



北広島町の様子

<出席者>

氏名	職名	所属	役職
東山神楽団	代表	東山	実行
神楽団	代表	北広島	実行
東山地区大勢交流	代表	東山	実行
北広島町	町長	北広島	町長
岡山県立芸術文化	学長	岡山	学長
株式会社 山口	代表	山口	代表
株式会社 山口	代表	山口	代表
株式会社 アグロトランスポート	代表	山口	代表
株式会社 山口	代表	山口	代表

<事務局>

氏名	職名	所属
中野謙輔	課長	観光
山崎 寛	主任	観光
山崎 純平	副課長	観光
中野 智子	課長	観光
山崎 孝子	課長	観光
株式会社 山口 北広島支店	課長	観光
株式会社 アグロトランスポート	代表	観光
株式会社 山口	代表	観光

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
第一回実地試行

10月に、北広島町×有田神楽団の実地試行を実施。

日次	月日 (曜)	行 程	宿 泊	食 事
1	10月18日 (土)	12:00 壬生城址跡 13:00 有田神楽団 団員(ランチ) 14:30 農家の半仕事体験+ディスカッション 16:00 芸北股巻着脱保存伝承体験 17:00 有田八幡神社・鬼金棒作り体験 18:30 夕食(お好み焼きひろ) 地元交流 20:00 有田神楽団 鑑賞 及び衣装体験+ディスカッション	北カナル	朝：- 昼：○ 夕：○
2	10月19日 (日)	道の駅センター 10:00 三上刀匠 見学 12:00 昼食 (みちづれ)	-	朝：○ 昼：○ 夕：-

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
第一回実地試行

10月に、北広島町×有田神楽団の実地試行を実施。

日次	月日 (曜)	行 程	宿 泊	食 事
1	その他	・東山神楽団 視察 ・有田神楽団 視察 ・広島福菜神楽 視察 ・神楽門前湯治村 視察		朝：- 昼：- 夕：-

## 2. 実施内容と結果

### 第2回勉強会 本資料

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
第一回実地試行

**10月に、北広島町×有田神楽団の実地試行を実施。**



壬生城址の様子



壬生城址の様子



壬生城址の様子



古民家の様子

7

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
第一回実地試行



体験の様子



体験の様子



神楽団員の様子



神楽衣装

8

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
第一回実地試行



有田神楽団の様子



有田神楽団の様子



有田神楽団の様子



衣装着付体験の様子

9

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
第一回実地試行



衣装着付体験の様子



衣装着付体験の様子



グッズ販売の様子



グッズ販売の様子

10

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
第一回実地試行



食事の様子(北広島)



食事の様子(会場：みちづれ)



食事の様子(会場：みちづれ)

11

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
第一回実地試行

**三上刀匠視察**



三上刀匠視察の様子



三上刀匠視察の様子



三上刀匠視察の様子



三上刀匠視察の様子

12

2. 実施内容と結果

第2回勉強会 本資料

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
第一回実地試行

参考：東山神楽団

東山神楽団視察会場の雰囲気

東山神楽団視察会場の雰囲気

東山神楽団視察会場の雰囲気

東山神楽団視察会場の雰囲気

13

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
第一回実地試行

東山神楽団視察会場の雰囲気

東山神楽団視察会場の雰囲気

東山神楽団視察会場の雰囲気

東山神楽団視察会場の雰囲気

14

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
第一回実地試行

有田神楽団会場の雰囲気

有田神楽団会場の雰囲気

有田神楽団会場の雰囲気

有田神楽団会場の雰囲気

15

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
第一回実地試行

有田神楽団会場の雰囲気

有田神楽団会場の雰囲気

有田神楽団会場の雰囲気

有田神楽団会場の雰囲気

16

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
第一回実地試行

有田神楽団会場の雰囲気

有田神楽団会場の雰囲気

有田神楽団会場の雰囲気

有田神楽団会場の雰囲気

17

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
第一回実地試行

神楽団トラック

有田八幡神社トイレ

有田八幡神社の様子

18

2. 実施内容と結果

第2回勉強会 本資料

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
第一回実地試行

参考：神楽のグッズ販売



広島酒菜神楽店内視察 グッズ販売の様子

広島酒菜神楽店内視察 グッズ販売の様子

広島酒菜神楽店内視察 グッズ販売の様子

広島酒菜神楽店内視察 グッズ販売の様子

19

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
第一回実地試行

参考：神楽門前湯治村の雰囲気



神楽門前湯治村視察の様子

神楽門前湯治村視察の様子

神楽門前湯治村視察の様子

神楽門前湯治村視察の様子

20

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
第一回実地試行



神楽門前湯治村視察の様子

神楽門前湯治村視察の様子

神楽門前湯治村視察の様子

神楽門前湯治村視察の様子

21

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
第一回実地試行

10月に、洞春寺×鶯流狂言の実地試行を実施。



鶯流狂言の様子

会場の様子

会場の様子

衣装着付体験の様子

22

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
第一回実地試行



衣装着付体験の様子

衣装着付体験の様子

体験の様子

お面体験の様子

23

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
第一回実地試行



山口ふるさと伝承総合センター

ホテル

山口ふるさと伝承総合センター

街歩きの様子

24

## 2. 実施内容と結果

### 第2回勉強会 本資料

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
第一回実地試行



地域住民との交流 ベけ



街歩きの様子



地域住民との交流



街歩きの様子

25

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
第一回実地試行

**10/18(土)北広島町開催：参加者の主な意見(要約・抜粋)**

・第一回実施の振り返り 有田八幡神社×有田神楽

参加者の主な意見(抜粋・要約)

No	内容
1	神楽が生活の中に根付いていることを感じることが出来る
2	鑑賞だけでなく、道具作りを通じて聞かれるのは体験コンテンツとして申し分ない。
3	地域の人が誇りをもつて伝統を守っていることが伝わった
4	こうした文化が衰えられないように応援したい。
5	間違いなく、これは本物であり外国人観光客にも響く。
6	クラフト体験を加えることが出来るのは非常に良い。
7	演習と交流出来る時間があった良かった
8	神楽に関する資料館での学びが有意義だった。

日次	行 程
1	12:00 壬生地跡 13:00 有田神楽団 団員(ランチ) 14:30 農家の手仕事体験・デスカッション 16:00 芸北民俗芸能保存伝承館 17:00 有田八幡神社・曳金棒作り体験 18:30 夕食(お好み焼きひろ) 地元交流 20:00 有田神楽団 鑑賞 及び衣装体験・デスカッション
2	道の駅センター 10:00 三上刀匠 見学 12:00 昼食 (みちづれ)

26

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
第二回実地試行にむけて

**事前ヒアリングの振り返り**

・事前ヒアリング

ME

- 1、北広島町は日本で一番神楽団が多い地域。
- 2、神楽団を辞める団体があり衣装を買い取った。
- 3、出張神楽を実施予定(広島市内)
- 4、毎週水曜日20:30-25:30で練習実施。金曜日も練習
- 5、普段の練習が商品になるのは負荷がなくありがたい
- 6、若いメンバーにはシビックプライドを見直す機会になる。お米や神楽への感謝を感じる機会が増える
- 7、神楽演目は25演目あり。地域にまつわるストーリーだと有田合戦。演目は、儀式舞(神降)と八岐大蛇の60分かどうか
- 8、1月～2月は雪が心配
- 9、おにぎり：壬生の花田植えのお米はどうか？おばあちゃんの沢庵、千代田の里という卵は？広島市のお好み焼きはほとんどがこの卵。
- 10、宿泊は、北ホテルや京屋旅館があり

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
第二回実地試行にむけて

**有識者からの意見**

・有識者からの意見

ME

- 1、文化的背景を取り入れられたらさらに良い。
- 2、神聖な舞台に上がるのは悪い経験になる。
- 3、3演目で90分程度が良い。
- 4、対象が外国籍のためお米の意味も伝えられると良い。周りの風景、文化の交差点、ストーリーをつなげられれば、腑に落ちる。
- 5、徐々にテンションが上がっていき、最後におにぎりはいかが？
- 6、神楽を鑑賞するまでは神聖なものとして伝え、その後、舞台裏ツアーが良いのでは？
- 7、神さまに捧げる神楽を親でらうフィナーレが
- 8、ガイドがキーになる。通訳案内士を検討。
- 9、宿泊も体験の一つ。宿泊施設内も楽しめると良い。買い物で40分程度と良い。

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業

**(2)第二回実地試行に向けて**

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
第二回実地試行にむけて

**1/21(水) 第二回実地試行(案) 北広島町**

・今後の地域関係者への展開(案)

チェック事項

- テーマ 「神楽と生きる町」  
～神々の芸能が暮らしに息づく場所、文化の交差点を巡る～
- 狙い
  - 北広島市は、北は出雲、南は広島神社、東は京都という文化圏の交差点に位置し、神楽の伝統と融合の拠点として独自の芸能文化を形成してきた。
  - この地理的、歴史的背景を踏まえ、本ツアーでは神楽と生きる町の「芸能と信仰が共存する日常」を体験して頂く。
  - 初日は、有田八幡神社や神楽伝承館を訪ね、神楽の成り立ちと地元の暮らしとの関わりを学ぶ。夜には神楽殿での本格的な神楽上演を鑑賞し、地域住民の祈りや誇りとしての神楽の姿を感じ取る。
  - 翌日は神楽を支える職人文化や精神性にも触れ、「神楽」をいう芸能が地域に深く根差した総合文化であることを実感してもらう構成とする。
  - この体験を通じて、神楽を「見る」ではなく「地域の人達が大切にしている暮らしに繋がる語」へと昇華させ、伝統文化と現代ツアーとの接点を考える機会とする。

30

## 2. 実施内容と結果

### 第2回勉強会 本資料

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
第二回実地試行にむけて

**1/21(水) 第二回実地試行(案) 北広島町**

・タイトル  
↓

日次	行 程	チェック事項
1	11:15 道の駅センター集合(ガイド合流) 11:30 主志城跡(お米の歴史)に地味、いい特色ある伝統芸能がわかるか 12:30 昼食：おちづれ(水曜日定休)orおちづれor神楽団長の家 13:30 芸北原宿芸能保存伝承館 有田入道神社 ・舞台を拝見し、舞踊内の見学で、天童を見て、天童の能垂すの体験 ※可能であれば、天童に取り付け所まで見学する体験 16:00 チェックアウト 18:30 夕食(石臼お米むりる) 地元交流or 宿泊施設内 20:30 有田神楽団 鑑賞 ・演出：篝火など ・舞台程度(粗技/神楽、舞踊、八坂大助)等相談 ・終了後、衣装体験(写し撮影や写真の交換) ・観光客のみならず、地元の人にも交流できる形は出せないか	タイトル： サブタイトル： 待合せ場所： 多言語ガイド：日本語・英語 宿泊： 最少催行(最大受付人員)： 食事回数： 地域との交流ポイント： お土産購入： 受付開始： 日前 配布物： 役割分担：撮影、アンケート回収、先回り係等 雨天時対応： アンケート項目：
2	09:00 チェックアウト 10:00 ミニツアー(白)順付け体験 お土産 11:30 テーマ会議(図表/交流/記念撮影) 12:00 道の駅センター解散	

31

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
第二回実地試行にむけて

**1/21(水) 第二回実地試行(案) 北広島町開催**

・アンケート項目 (案)

No.	質問内容	回答
1	基本属性(お名前・国籍・年齢・性別)	
2	有田神楽団に関する事前知識(どの程度)でしたか?	
3	神楽団の解説(基礎知識、歴史等)はわかりやすかったですか?	
4	神楽団の鑑賞は楽しめましたか?(言葉分からなくても楽しめるか?)	
5	神楽団との交流の機会は充分でしたか?	
6	街歩き(景勝地めぐり)は楽しめましたか?	
7	衣装体験は楽しかったですか?	
8	今回の体験を通して、日本の伝統文化への理解が深まりましたか?	
9	鑑賞の満足度はいゆがでしたか?	
10	夕食と地元交流の満足度はいゆがでしたか?	
11	北広島町での滞在の満足度はいゆがでしたか?	
12	滞在はくわが妥当だと思えますか?	
13	このツアーを通じて、日本の伝統芸能を「観る側」から「体験する側」へと意識が変化したと感じましたか?	
14	今回のツアーは、広島県や中国地方への興味・関心を高めるきっかけとなりましたか?	
15	今回のツアーで最も印象に残ったことをお聞かせください。	
16	今回のツアーで改善して欲しい点をお聞かせください。	

32

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業

**(3) 持続的な展開に向けて**

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
持続的な展開へ向けて

**見込客のカスタマージャーニー**

日本全体の滞在日数

広域ルート

羽田Or成田 (入国地域) → 東京 3泊 + 福根 + 富士山 1泊 → 京都 3泊・大阪 1泊 → 中国地方 1泊 → 中国地方 + α → 金沢 1泊 → 東京 2泊 → 羽田Or成田 (出国地域)

中国エリア前の滞在エリア | 中国地方への滞在日数 | 中国エリア直後の滞在エリア

34

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
持続的な展開へ向けて

**商品設計について**

顧客嗜好度 → 顧客関係性 → アプローチ手法 → 予約・決済 → 顧客流入経路

顧客流入経路: 観客観望、観客観望、観客観望、観客観望、観客観望、観客観望、観客観望、観客観望、観客観望、観客観望

観客観望: 観客観望、観客観望、観客観望、観客観望、観客観望、観客観望、観客観望、観客観望、観客観望、観客観望

アプローチ手法: B2C、B2B、B2C、B2B、B2C、B2B、B2C、B2B、B2C、B2B

予約・決済: 観客観望、観客観望、観客観望、観客観望、観客観望、観客観望、観客観望、観客観望、観客観望、観客観望

顧客観望: 観客観望、観客観望、観客観望、観客観望、観客観望、観客観望、観客観望、観客観望、観客観望、観客観望

観客観望: 観客観望、観客観望、観客観望、観客観望、観客観望、観客観望、観客観望、観客観望、観客観望、観客観望

35

中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業  
持続的な展開へ向けて

**商品設計 (価格設定) について**

・顧客関係性 (先切型)      ・原価項目

売上高 = 単価 × 購入者数

購入者数 = 新規購入者数 + リピート購入者数

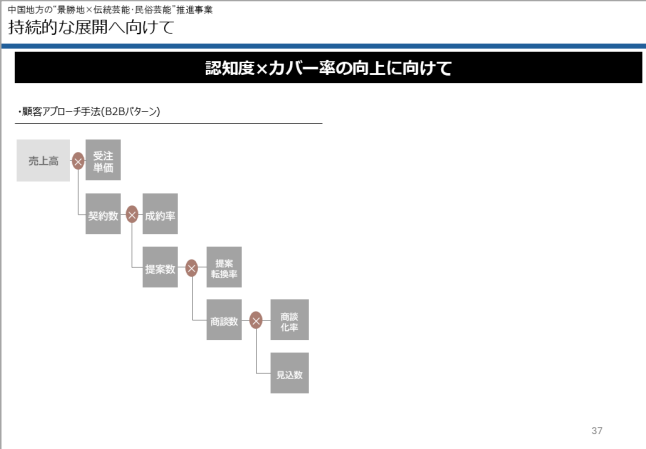
リピート購入者数 = 過去購入者数 × リピート率

原価項目: 費用、売上原価、伝票印刷費、委託印刷費、会場費用、宿泊費、交通費、食費代、衣装代、講師・ガイド代、保険料、任意で負担 (任意負担)

36

## 2. 実施内容と結果

### 第2回勉強会 本資料



## 2. 実施内容と結果

## (3) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する可能性調査(実地試行) 第1回

## エリア① 北広島町 開催日:10月18日(土)~19日(日)

## &lt;行程表&gt;

方面: 北広島町

期間: 2025年10月18日(土)~2025年10月19日(土)

日次	月日曜	行程	食事
1	10/18 (土)	<p>12:00 北広島 辰盛(昼食) ※全体概要・コンセプト共有 『昔からの北広島の田舎暮らしを知り、生活の中で紡がれてきた伝統芸能を鑑賞する』</p> <p>13:30 壬生城跡 北広島町を360°見渡せる場所。滞在する北広島町の土地感覚を体感する。</p> <p>14:45 芸北民俗芸能保存伝承館</p> <p>15:30 農家の手仕事体験デモンストレーション(古民家で稲刈り)</p> <p>16:15 休憩&amp;ディスカッション</p> <p>17:00 有田八幡神社 金棒作り体験</p> <p>18:00 夕食 お好み焼きひろ(交流会)</p> <p>20:00 有田神楽団団長とMTG</p> <p>21:00 有田神楽団鑑賞 (八栄神楽団。岩戸集会場にて)</p> <p style="text-align: right;">ご宿泊: 北広島町内</p>	朝:○ 昼:○ 夕:○
2	10/19 (日)	<p>09:00 チェックアウト</p> <p>09:30 道の駅舞羅ロードIC千代田</p> <p>10:00 三上刀匠鍛錬場・神楽面工房</p> <p>12:00 昼食 酔膳亭みちづれ</p> <p>14:00 広島駅(解散)</p>	朝:○ 昼:○ 夕:-

## 2. 実施内容と結果

## (3) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する可能性調査(実地試行) 第1回

エリア① 北広島町 開催日:10月18日(土)~19日(日)

&lt;参加者&gt;

(順不同・敬称略)

	区分	所属	名前	その他
1	北広島関係者	有田神楽団	立盛 翔太	
2		東山神楽団	田辺 康行	
3		小石原農園	三須 敏幸	
4		有田八幡神社	宮司	
5	有識者	ジャーマン・インターナショナル	ルース・マリー・ジャーマン	
6		株式会社OUGI	鈴木 雅己	
7		株式会社OUGI	加藤 亜祐美	
8		株式会社MAKES	後藤 直哉	
9	運営スタッフ	株式会社JTB広島支店	安藤 真雄	

## 2. 実施内容と結果

## (3) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する可能性調査(実地試行) 第2回

## エリア① 北広島町 開催日:1月21日(水)~22日(木)

## &lt;行程表&gt;

方面: 北広島町

期間: 2026年1月21日(水)~2026年1月22日(木) 1泊2日

日次	月日曜	行程	食事
1	1/21 (水)	10:55 広島駅新幹線口発(小型バス) 11:45 道の駅舞ロードIC千代田着(現地ガイド合流) 12:00 壬生城跡 ※地域それぞれに根付いている特色ある伝統芸能が交わる地 13:00 昼食:へんぼこ茶屋 ※ヴィーガン&ベジタリアン対応。自家製のおもちを食べる。 14:15 芸北民俗芸能保存伝承館 15:00 有田八幡神社(境内を参拝し、舞殿にて神楽面付け体験) 16:30 ホテルチェックイン 18:00 出発 18:30 夕食(立盛/地域住民との交流) ※ヴィーガン&ベジタリアンメニュー対応(地域食材にて) 20:00 有田神楽団鑑賞 ・場所:室内にて ・演目:2演目(神降ろし、八岐大蛇) ・終了後、衣装体験(写真撮影や団員との交流)・神楽面渡し 22:30 宿泊 ざ宿泊:北広島町内	朝:- 昼:○ 夕:○
2	1/22 (木)	09:30 チェックアウト 朝食9:00迄~お土産(30分) 09:45 道の駅舞ロードIC千代田(お買い物) 10:30 出発	朝:○ 昼:- 夕:-

## 2. 実施内容と結果

## (3) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する可能性調査(実地試行) 第2回

エリア① 北広島町 開催日:1月21日(水)～22日(木)

&lt;出席者&gt;

(順不同・敬称略)

	区分	所属	名前	1/21(水) 宿泊	1/21(水) 交流会	その他
1	主催者	中国運輸局	山崎 慎平		○	
2		中国運輸局	中村 雪乃		○	
3	外国人アドバイザー(招請者)	株式会社JIZO HAT	ポール・ウォルツシュ	○	○	ベジタリアン
4		元All About Japan社	キアラ・テルズオロ	○	○	ヴィーガン
5		ジャーマン・インターナショナル	リラ・クロップフェンシュタイン	○	○	
6		ジャーマン・インターナショナル	ルース・マリー・ジャーマン	○	○	
7	有識者	株式会社OUGI	鈴木 雅己	○	○	
8		株式会社OUGI	加藤 亜祐美	○	○	
9		株式会社MAKES	後藤 直哉	○	○	
10		株式会社JTB	市川 功	○	○	
11	運営スタッフ	株式会社JTB広島支店	安藤 真雄	○	○	
12		株式会社JTB広島支店	武本 苑子	○	○	
13	通訳	ガイド	佐藤 仁美	○	○	
14	交通事業者	八重タクシー	ドライバー			
15	北広島関係者	有田神楽団	立盛 翔太		○	
16		東山神楽団	田辺 康行		○	
17		小石原農園	三須 敏幸		○	
18		九品寺しろうがね	銀 純洋		○	
19		有田八幡神社	宮司		○	

## 2. 実施内容と結果

### (3) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する可能性調査(実地試行) 第2回

#### 招請者情報

ルース・マリー・ジョーマン



【来日から現在】

米国ノースカロライナ州生まれハワイ州育ち。1988年にボストンのタフズ大学国際関係学部からリクルートに入社し、以来35年以上日本に滞在。1992年から個人事業主として翻訳と通訳のキャリアを構築し、2000年から株式会社スペースデザインに在籍。新規事業として、来日する外国人向けの家具付きサービスアパートメントを東京・横浜・ドバイにて開発・運営業務に携わる。サービスアパートメントの営業本部長として、2000年から2012年までの間、約4万人の訪日外国人プロフェッショナルと接し、現場で情報発信/販促促進策の経験を多く積む。その際、初来日される外国人の様々な目線を分析したことが現在のインバウンドコンサルの基礎知識となっている。1998年に日本語能力試験 (JLPT) 1級合格。2006年に欧米系女性として日本の宅地建物取引士となる。2023年6月に公益財団法人日本女性学習財団の理事に就任。一般社団法人HRM協会の理事。2022年5月発足の国土交通省関東運輸局「江戸街道プロジェクト」の有識者。2024年4月より就任のNHK国際放送番組審議会委員を務めるほか、神奈川県地方創生推進員、復興庁の「新しい東北」事業の有識者としての歴任を通して、日本のインバウンド対策の第一線を走る。

キアラ・ナルスオロ (Chiara Ternullo)



国籍：アメリカ・イタリア  
 日本在住歴：13年  
 所属企業：Shimizu & Ishida Group  
 専門分野：観光・観光現場での記事執筆および編集、インバウンド・マーケティング、コンテンツ、ソーシャルメディア、SEO、日本語、MC  
 学歴：修士：ロンドン大学修士 (東アジア研究)、修士：修士 (国際関係・中国)、ロンドン大学修士 (アフリカ研究) (SOAS)  
 勤務先：The Japan Times, Japan Today, All About, Atlas Obscura, Lonely Planet, Sate Today, InTouch Magazine

近年の出版物：  
[Obituary of Shinzo Abe](#)  
[Shikoku 88 Temple Pilgrimage](#)  
[The Signpost in Tokyo](#)  
[Hidden Japan](#)

職務：  
 日本のプロモーションにおいて豊富な経験を持っており、マーケティング、コンテンツ管理、PR、ブランド戦略、SEOにわたる、様々な業務で活躍中。また、「The Signpost in Tokyo」と「Hidden Japan」という書籍の著者でもある。

英語とイタリア語のバイリンガルで、日本語とフランス語も堪能である彼女は、日本と日本の文化に対する深い理解に基づき、効果的な観光の体験を提供できるため、顧客からも好評を得ている。

さらに、NHKの番組「Learn Japanese from the Stars (ニュースで日本語を学ぶ)」の制作スタッフも務めており、プロの演者、MC、ナレーターとしても活動。日本中のテレビイベントで定期的にパフォーマンスを行っている。



リラ・クロフエンシュタイン  
プロジェクトマネージャー

リラ・クロフエンシュタインは、2025年よりプロジェクトマネージャーとしてJチームに参加し、官公庁案件や異文化環境におけるプロジェクトマネジメント、スナックホルダー調整の豊富な経験を活かして活躍している。

米国アイダホ大学にて国際政治経済学の学士号を取得後、JETプログラムを通じて長崎県にて約3年間滞在し、日本の行政や地域社会に関わる実務経験を積んだ。その後、ボイシー州立大学にて公共政策学 (MPA) 修士号を取得。

米国では、地方自治体連合において主任プランナー兼プロジェクトマネージャーとして勤務し、連邦・州・地方自治体と連携しながら、交通および地域開発分野のプロジェクトを推進してきた。

現在は弊社において、国際案件を幅広くサポートし、体系的なプロジェクト管理手法と高いコミュニケーション力を活かしながら、プロジェクトの円滑な遂行に貢献している。

ポール・ウォルシュ (Paul Walsh)



国籍：イギリス  
 日本在住期間：13年  
 所属企業：ジグワット株式会社

職務：設立者

専門分野：歴史、言語、アウトラブ、ペダリアン、インターネットマーケティング、ソーシャルメディア  
 学歴：修士：シェフィールド大学 修士 (日本研究)、ブリストル大学 修士 (歴史)、日本語能力試験 1級  
 出版物：パンク航空機内誌、Fish Thai、西遊スチラス航空機内誌、トレイルランニングマガジン、ザットヒストリマガジン、ザットヒストリマガジン(インターネット)、ジパントラブル(インターネット)、ジパントラブル(インターネット)

日本の生活でのお宝になり：素晴らしい食事、素晴らしい風景、山、動物のように美しい鳥、大都市と小さな村々、熱狂的なナイトライフ、新鮮なお金の森の神社。とにかく大好きである。  
 日本でのお宝になり：山!

職務：日本での生活は自分でもし違ひたものであると見え、へとへとに疲れる毎日にも関わらず、州一州関係の代表を務めたり、アゲインストの活動での現場経験も積むようになったりするなど、常に自分を色々な活動に没頭している。また、彼が日本から帰国したとき人々の受け取っていたこととしており、深く、広く受け取られるべき全てのものを伝えることが現在の使命だと思っている。広島県立大学の専任教員を務めながら行った。GetInShima.comの2024年以上の運営を経て、現在はジグワット株式会社の設立者として外国人観光客が日本への来訪に促すようなサポートをすることに専念している。日本の観光を促進するのが好きで、特に徒歩や自転車で行くことを好む。20年以上経った今でも、日本での生活はほんの少しおぼろげにすぎないと感じている。

## 2. 実施内容と結果

## (3) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する可能性調査(実地試行) 第2回

## ■ 北広島町（有田八幡神社×芸北神楽）のアンケート内容

この度は、『DID YOU KNOW KAGURA?～神々の芸能が暮らしに息づく場所で文化の交差点を巡る～』のモニターツアーへご参加頂き、誠にありがとうございました。ご参加頂いた皆様のご意見やご感想を頂戴し、より充実したツアーになるように改善して参ります。つきましては、下記の質問へご回答頂けますようお願い致します。※率直なご感想をお伺いさせて頂きたく、フリー記述にさせて頂いております。【1/29(木)】までにご回答頂けますようご協力よろしくお願い致します。

## 1. 価格設定（15万円）に対するブラッシュアップポイント

本ツアーは、1名あたり15万円での販売を想定しています。この価格で販売するために、「特にブラッシュアップすべきシーン・要素」はどこだとお考えでしょうか。改善すべきシーンやコンテンツを選んで、また、その理由をあわせてお聞かせください。

※旅行代金には神楽鑑賞代・体験代・食事代・宿泊代・多言語ガイド代・ツアー中のタクシー代が含まれます。（複数選択可）

- |                                      |                                     |                                      |
|--------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 壬生城跡        | <input type="checkbox"/> へんぼこ茶屋     | <input type="checkbox"/> 芸北民俗芸能保存伝承館 |
| <input type="checkbox"/> 参拝神楽面づくり体験  | <input type="checkbox"/> 交流レストラン立盛  | <input type="checkbox"/> 神楽鑑賞        |
| <input type="checkbox"/> 道の舞ロードIC千代田 | <input type="checkbox"/> 北広島ホテル(宿泊) | <input type="checkbox"/> その他         |

## 2. 価格設定（15万円）に対するブラッシュアップポイントの理由

理由をお聞かせください。

## 3. スケジュール（体験時間・移動時間）について

ツアー全体の時間配分や、移動時間の長さ・テンポについて、改善した方がよいと感じた点があればご意見をお聞かせください。

## 4. お食事について

本ツアーにおけるお食事内容について、味・内容・演出・地域性の観点からご意見をお聞かせください。商品価値を高めるために改善できる点があれば併せてお書きください。

## 5. 演出について

本ツアー全体の演出（雰囲気づくり、進行、見せ方等）について、印象に残った点、または改善すべき点があればご意見をお聞かせください。

## 6. ストーリーブックについて

配布したストーリーブックについて、内容の分かりやすさ、情報量、体験理解への貢献度についてご意見をお聞かせください。改善点があれば具体的にご記載ください。

## 7. ツアーコンセプトについて

本ツアーのコンセプトについて、「伝わりやすさ」「独自性」「訪日外国人向け商品としての魅力」などの観点からご意見をお聞かせください。

## 8. 神楽体験の価値認識について

今回体験した神楽について、「他地域でも体験できるもの」と比べて、北広島町ならではのと感じた点があれば具体的にお書きください。

## 9. 「神楽と生きる町」という文脈の伝わり方

神楽が地域の暮らしや信仰と結びついていることについて、十分に理解・実感できたでしょうか。そう感じた理由、または分かりにくかった点をお聞かせください。

## 10. 北広島町コンテンツの「商品としての核」

北広島町の体験全体を振り返って、「このツアーの核（売り）になる」と感じた要素は何でしょうか。その理由とあわせてお聞かせください。

## 2. 実施内容と結果

### (3) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する可能性調査(実地試行) 第2回

#### ■ 北広島町（有田八幡神社×芸北神楽）のアンケート結果

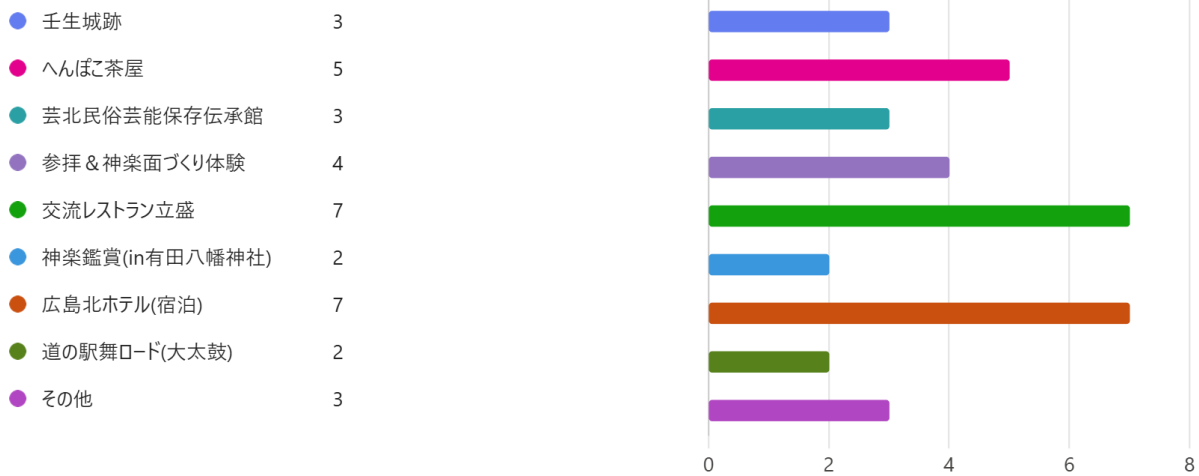
回答者8名

#### 1. 価格設定（15万円）に対するブラッシュアップポイント

本ツアーは、1名あたり15万円での販売を想定しています。この価格で販売するために、「特にブラッシュアップすべきシーン・要素」はどこだとお考えでしょうか。改善すべきシーンやコンテンツを選んで、また、その理由をあわせてお聞かせください。

※旅行代金には神楽鑑賞代・体験代・食事代・宿泊代・多言語ガイド代・ツアー中のタクシー代が含まれます。（複数選択可）

- |                                   |                                       |                                      |
|-----------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 壬生城跡     | <input type="checkbox"/> へんぼこ茶屋       | <input type="checkbox"/> 芸北民俗芸能保存伝承館 |
| <input type="checkbox"/> 神楽面づくり体験 | <input type="checkbox"/> 交流レストラン立盛    | <input type="checkbox"/> 神楽鑑賞        |
| <input type="checkbox"/> 道の舞センター  | <input type="checkbox"/> 北広島町内ホテル(宿泊) | <input type="checkbox"/> その他         |



回答者	価格設定（15万円）に対するブラッシュアップポイント
1	へんぼこ茶屋;参拝 & 神楽面づくり体験;交流レストラン立盛;神楽鑑賞(in有田八幡神社);ホテル(宿泊);その他;芸北民俗芸能保存伝承館;壬生城跡;
2	交流レストラン立盛;ホテル(宿泊);参拝 & 神楽面づくり体験;
3	芸北民俗芸能保存伝承館;交流レストラン立盛;ホテル(宿泊);へんぼこ茶屋;
4	へんぼこ茶屋;交流レストラン立盛;ホテル(宿泊);参拝 & 神楽面づくり体験;
5	へんぼこ茶屋;壬生城跡;交流レストラン立盛;ホテル(宿泊);
6	その他;
7	交流レストラン立盛;ホテル(宿泊);道の駅舞ロード(大太鼓);その他;
8	へんぼこ茶屋;壬生城跡;芸北民俗芸能保存伝承館;参拝 & 神楽面づくり体験;交流レストラン立盛;神楽鑑賞(in有田八幡神社);ホテル(宿泊);道の駅舞ロード(大太鼓);

## 2. 実施内容と結果

## (3) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する可能性調査(実地試行) 第2回

## 2. 価格設定(15万円)に対するブラッシュアップポイントの理由

理由をお聞かせください。

回答者	理由
1	<p>へんぼこ茶屋;参拝&amp;神楽面づくり体験;交流レストラン立盛;神楽鑑賞(in有田八幡神社);ホテル(宿泊);その他;芸北民俗芸能保存伝承館;壬生城跡;</p> <p>基本的には、ツアーのコンセプト・テーマが何で、それを具現化する場所や体験が重要。そのテーマ性がわかりにくいので、ブラッシュアップポイントが指摘しにくい。</p> <p>①ツアー初期段階で伝承館に行くのは適切(英語対応と、場合によっては簡単なビデオ等があると良い)。</p> <p>②壬生城跡は千代田地区を見渡すには良いが、頂上に何も無いので、少し物足りない可能性あり(解説も重要)。</p> <p>③昼食にへんぼこ茶屋もあるが、地域の高級弁当を古民家(または武家屋敷)やお寺の座敷(季節によっては壬生城跡等の外)で食べるのも良い。</p> <p>④神楽面づくり体験も良いが、より本物の体験や匠の技術を観れるほうが良いかもしれない。</p> <p>⑤神楽鑑賞は非常に良い。可能であれば、神社の社殿で神楽観賞できる機会も確保できれば良い。(有田八幡神社は社殿が小さいのでやむを得ない。)考えられるのは、日時を変えた複数の異なるグループツアーで、有田神楽団だけでなく、違う神楽団(社殿で神楽ができる神社も多い)も観賞できるようにすれば、通年で継続的にツアーが組めるのではないかと。境内に焚火や松明を設置すると伝統的な神楽の雰囲気が出る。</p> <p>⑥夕食は高級感を出すか、庶民性を出すかで別れる。できれば、夕食は弁当でないほうが良い。高級感を出す場合は、レストラン「彩聖」(<a href="https://maps.app.goo.gl/C69bCb53iLREd2PH9">https://maps.app.goo.gl/C69bCb53iLREd2PH9</a>)や「みや島」(<a href="https://maps.app.goo.gl/Ey3fsUQxAB2ChnDH7">https://maps.app.goo.gl/Ey3fsUQxAB2ChnDH7</a>)、または古民家で手料理(現地のおばあさん等に作ってもらい会話)など。庶民的にするには、同じく古民家(滞在先)でおばあさんの手料理か、何かを一緒に収穫してバーベキュー等(季節による)。</p> <p>⑦宿泊先はグループ規模にもよるが、一か所滞在の場合はホテルしか対応できない。複数の和風古民家に分かれて滞在もあるかもしれない(ただし、宿泊用の商業ベースの古民家は内部が伝統的でない造りが殆ど)。</p> <p>⑧コンセプトによってプランの作り方が変わるが、むしろ2泊3日か3泊4日くらいにして、1日目の神楽観賞の後で、2日目に田舎ののんびりした環境(特に田舎の古民家宿泊の場合)を自由に体験する時間やサイクリングまたは簡単なハイキング(龍頭山山頂ピクニック等)をしてもよいのではないかと。または、2日目か3日目に、神楽の演目の舞台になった島根県の神社等を訪問したり、そのまま温泉宿で宿泊(有福温泉、美又温泉、玉造温泉、温泉津温泉+石見銀山等)するのも良いのではないかと。その場合、20万円でも成立する。</p>
2	<p>交流レストラン立盛;ホテル(宿泊);参拝&amp;神楽面づくり体験;</p> <p>以前ハイエンドのツアーで北広島町の「RAKUSAN」に宿泊しましたが、有田神社から30分かかりますので、遠いですよね。 ◇食事については、「食事について」の欄で書かせていただきます。 ◇神楽面作り：できあがった面をもっとセレモニー的にお渡しするとよいと思います。神楽上演終了後、団長のサインが入った面を「桐の箱」などに入れ、各ゲストに団長からお渡しし、個別に記念撮影をするのはどうでしょうか？</p>
3	<p>芸北民俗芸能保存伝承館;交流レストラン立盛;ホテル(宿泊);へんぼこ茶屋;</p> <p>へんぼこ茶屋：15万円でツアーを販売するならば、真のヴィーガン/アレルギー対応が必要だというのはさておき、このレストランは米農家が経営しているにもかかわらず、メインメニューがうどんというのは非常に奇妙に思えました。うどん自体はまあまあですが、ストーリーに焦点を当てるべきでしょうか？おにぎり2個、野菜の小鉢2個、お餅2個がセットになった方が良いと思います(動物性食品の問題も避けられます)。</p> <p>芸北民俗芸能保存伝承館：若いスタッフの説明は素晴らしく、展示物自体も非常に効果的で美しいです。しかし、この場所での体験は、英語ガイドのスキルによって大きく左右されます。単に翻訳するだけでは(それも非常に時間がかかります)、文化を生きたまま伝えるには、スタッフが用意した情報や台本をしっかりと理解している必要があります。</p> <p>交流レストラン立盛：夕食時にも申し上げましたが、ガイドが英語を話せると誰も期待していない状況で真の交流をするのは非常に難しく、おそらく気まずい雰囲気になるでしょう。また、ラーメン店は居酒屋としても機能しているため、普段とは違う(しかも冷たい)料理を出すので、このギャップが強調されてしまいます。地元のお客さんのように、普通のテーブルに座って好きなものを注文してもらおうことをお勧めします(簡単な英語のメニューを用意しておくとうるす)。普通のお客さんと同じように感じてもらえれば、マスターは彼らと交流し、同じ時間に食事している他のお客さんと繋がれるよう、最善を尽くしてくれるでしょう。</p> <p>ホテル(宿泊)：少なくとも私が宿泊した部屋に関しては、これが一番の難関です。改装された「特別室」もあるようなので、それが確保できればかなり助かります。</p>

## 2. 実施内容と結果

## (3) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する可能性調査(実地試行) 第2回

## 2. 価格設定（15万円）に対するブラッシュアップポイントの理由

理由をお聞かせください。

回答者	理由
4	<p><b>へんぼこ茶屋;交流レストラン立盛;ホテル(宿泊);参拝&amp;神楽面づくり体験;</b></p> <p>食事：昼・夜とも@15万円のツアーには食事会場も食事内容もブラッシュアップが必要。特に夕食はお膳で会席料理を提供して頂くと良いのでは。</p> <p>宿泊：他に宿泊施設がないのかもしれないが、さらに単価を上げてもいいので露天風呂付客室や和洋室タイプの部屋を用意したい。地域への裨益を無視するなら片道50分なら広島市内に戻って宿泊のほうがいい。提供できる価値に見合った価格やターゲットの再検討が必要と感じた</p> <p>神楽面づくり：説明が雑な印象。面作りの職人や面作成に詳しい方から助言があってもいいのでは。道具も一人分ずつ用意したほうがいい。持ち帰り用の箱は必須。</p>
5	<p><b>へんぼこ茶屋;壬生城跡;交流レストラン立盛;ホテル(宿泊);</b></p> <p>(壬生城跡) この場所は非常に美しく、落ち着いた雰囲気印象的でした。地域の水系について学び、動物を見る体験は、訪問に奥行きを与え、この土地の自然の豊かさを強く感じさせるものでした。海外のお客様にとっては、この場所と神楽との歴史的・文化的なつながり、特に地域社会の形成と神楽が果たしてきた共同体的な役割について、もう少し明確な説明があると理解が深まると思われます。なお、本アンケートのストーリーブックの項目に、その点に関する提案を記載しています。</p> <p>(へんぼこ茶屋) いちご大福は特に印象的で、非常に強い好印象を残しました。全体としても、心地よく楽しめる訪問でした。今後のツアーにおいては、事前に飲食店へアレルギーの確認を行い、可能な範囲での対応可否を確認されるとよいかと思えます。そうすることで、食事制限のあるお客様にも、より安心してご参加いただけたと考えます。</p> <p>(交流レストラン立盛) お弁当は丁寧に調理されており、地域ならではの品質へのこだわりが感じられ、とても美味しくいただきました。プレミアムツアーとしてご参加されるお客様を考えると、夕食時に温かい料理をご提供いただくことで、満足度がさらに高まると考えます。広島風お好み焼きのようなシンプルで地域性のある料理は特に好評ではないかと思えます。また、おにぎり、唐揚げ、枝豆、サラダなど、比較的親しみやすい料理を少量用意することで、海外のお客様にも安心して楽しみたいだけと考えます（可能な範囲でアレルギーへの配慮も含めて）。</p> <p>(神楽鑑賞(in有田八幡神社)) このように本格的で神聖な場所で神楽を鑑賞できたことは、ツアーの中でも特に印象深い体験でした。地域に根ざした雰囲気の中で神楽を体験できたことを、私自身とても楽しみました。体験をさらに豊かにするための一案として、地元のお酒の試飲を任意で提供することも考えられるかと思えます。地元の方々が神楽を楽しむ一つの形として紹介することで、より理解が深まるのではないのでしょうか。また、床に座ることに慣れている海外の方もいますが、背もたれ付きの椅子をご用意いただくことで、より快適に鑑賞でき、演目に集中しやすくなると思えます。</p> <p>(ホテル(宿泊)) 客室は非常に広く、見た目にも印象的で、宿泊価値の高さを強く感じました。ホテル全体の個性や雰囲気も魅力的でした。一方で、海外のお客様にとっては、例えば柔らかめの枕をご用意いただくなど、いくつかの小さな配慮があると、より快適にお過ごしいただけると思えます。海外の方は、一般的に日本の伝統的な硬めの枕に慣れていないことが多いからです。翌朝の朝食では、一部の食材（例：色が変わっていた海苔）にやや鮮度が気になるものがありました。鮮度への細やかな配慮は、海外のお客様の安心感につながると考えます。</p>
6	<p><b>その他;</b></p> <p>ツアーで表現したい核がどこなのか？を全体通して明確にする必要があると感じました。現状ですと、神楽なのか、山なのか、稲作なのか、生活なのか、歴史上の人物なのか？ポイントがリードする人の言動も、訪れる場所に関しても、各所に要素が散ってしまっており、参加者として何を軸に体験して良いのか分からず、各所に訪れる意図(ストーリー)を自身に落とし込むことができませんでした。そのため、どこをブラッシュアップするか？と限定することが難しい状況です。</p>

## 2. 実施内容と結果

## (3) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する可能性調査(実地試行) 第2回

## 2. 価格設定(15万円)に対するブラッシュアップポイントの理由

理由をお聞かせください。

回答者	理由
7	<p><b>交流レストラン立盛;ホテル(宿泊);道の駅舞ロード(大太鼓);その他;</b></p> <p>全体として、常に英語(もしくは参加者の母国語)を話せる担当者が同行する体制が必要だと感じました。参加者が飲み物を必要としていないか、寒そうにしているか、誰かと話したそうにしているかなど、細やかに気を配ることが大切だと思います。常に思いやりのあるガイドが寄り添っていることで、体験の質は格段に向上するはず。ガイドを神楽の専門家をお願いできればベストです。</p> <p>また、きちんとした制服を着たドライバーが笑顔で対応し、簡単な英語が話せるようであれば、さらに良い印象になると思います。本当に笑顔とHelloやThank youの英語だけでも印象が非常に良くなると思います。同行スタッフが次の予定を教えてくださいましたのはとても良かったのですが、移動中にマイクを使って地域の歴史や夜ならではの怪談、地元で人気のジョークなどを紹介してもらえると、さらに楽しい時間になると思います。バスや車での移動時間は、情報を共有し、参加者に楽しんでもらう絶好の機会だと感じます。あるいは「次の目的地まで30分ほどありますので、メールをチェックしたり、少しお休みください」といった一言があるだけでも、心配りとして素晴らしいと思います。</p> <p>1) 立盛について 立盛でのお食事は、お弁当ではなく、温かく出来立ての料理が望ましいと感じました。前はラーメンがとても美味しく、さまざまな種類について説明を聞いてから自分で選べたのも楽しかったです。メニューから注文できる形式は、参加者にとって魅力的だと思います。事前に相談すれば、ヴィーガン対応も可能だと思います。また、店主(団長さん)のこれまでの歩みやお店のストーリーをここで紹介すると良いと思いますし、ユニークなペットのコレクションについても触れると面白いと思います。壁に飾られているさまざまなお面についての説明も、料理を待つ間の話題として興味深いでしょう。また、出発前の混雑を避けるためトイレが一つしかないことを事前に伝えてくださったのは、とても良い配慮でした。</p> <p>2) ホテルについて 客室がかなり寒かったため、クローゼットにある予備の毛布が使えることを事前に案内すると良いと思います。また、水道水の質の良さは大きな魅力なので、もっと強調してもよいポイントです。 温泉に慣れていない海外の方のために、チェックイン時に写真を見せながら、タオルの持ち方、浴衣の使い方、どのスリッパを履くのかなどを丁寧に説明すると、とても親切だと思います。客室のバスルームは特別魅力的というわけではないので、温泉に入らないのは本当にもったいないです。温泉体験は、きっと素晴らしい思い出になるはずです。 再利用された帯をランチョンマットとして販売しているのは素敵なので、それを活用した小さなポーチをゲスト用に用意するのも良いアイデアだと思います。その中にシャンプーセット、質の良い石けん、歯ブラシ、コーヒーと紅茶のパック、クリームや砂糖、小さなお菓子などを入れたウェルカムポーチがあると嬉しいです。客室備え付けのシャンプーなどはあまり質が高くなかったため、その補完になります。 また、客室に素敵なコーヒーカップ(2客セット)とスプーンを用意しておく、朝すぐに温かいコーヒーを楽しめて良いと思います。ロビーで販売している美しい小さなお面は、もっと目立つ場所(ショップコーナーなど)に置くと、購入される方が増えるのではないのでしょうか。新聞を客室に届けるサービスも、ちょっとした心配りとして喜ばれると思います。</p> <p>3) お土産・買い物について 日本在住の参加者の中には、お米を購入して自宅に送付したい方もいるかもしれません。スタッフが一緒に売り場を回り、商品や面白いアイテム(スパイスペンなど)を説明してくれると良いと思います。最後に太鼓の前で撮影した集合写真は素晴らしいです。 宅急便の伝票記入を手伝ってもらえると、たくさん購入した商品を東京のホテルへ送ることができて便利だと思います。海外発送が簡単にできる商品があれば、その点も案内すると良いでしょう。また、クレジットカードが使えることを明確にするか、現金が必要な場合には一時的に立て替えられる体制があると安心です。</p> <p>4) 送迎について 今回のツアーでは、広島駅で参加者をピックアップし、そのまま北広島へ向かう形が良いと感じました。途中で軽く飲み物を取れる立ち寄りがあるとさらに良いと思います。車両やチャトルは質の高いものを用意し、きちんとした服装のドライバーとアテンダントが出迎える体制が望ましいと感じました。</p>

## 2. 実施内容と結果

## (3) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する可能性調査(実地試行) 第2回

## 2. 価格設定 (15万円) に対するブラッシュアップポイントの理由

理由をお聞かせください。

回答者	理由
8	<p>へんぼこ茶屋;壬生城跡;芸北民俗芸能保存伝承館;参拝&amp;神楽面づくり体験;交流レストラン立盛;神楽鑑賞(in有田八幡神社);ホテル(宿泊);道の駅舞ロード(大太鼓);</p> <p>① ストーリー ツアー全体の「ストーリー」については、編集およびコピーライティングのブラッシュアップが必要です。 北広島町の魅力を海外からの旅行者に十分に伝えるだけでなく、地域のファンとなり、友人や家族に勧めたり、再訪したいと思ってもらえるような内容に昇華させることが重要です。</p> <p>② 第一印象 第一印象において、参加者（または手配した旅行会社）が「15万円を支払う価値のある選択をした」と安心できることが非常に重要です。 ツアーの開始地点を壬生山とすることを提案します。 山を歩いて登り、山頂では衣装をまとった演者による神楽や田植え祭りの囃子のリズムで迎えられる簡単なウェルカムパフォーマンスを行う。 地域についてのよく練られた印象的な導入説明を行いながら、八王子よみがえりの水を使用したお茶・コーヒー、または地元柑橘のドリンクを、地元産のお菓子とともに提供する。</p> <p>③ 八王子よみがえりの水 昼食前に八王子よみがえりの水を訪問する行程を加えることを提案します。 ・ 分かりやすく説明すれば非常に魅力的な民話がある点 ・ 単なる説明ではなく、「見せて伝える」好例である点 ・ 北広島町が清らかな自然に恵まれていることを体感的に示せる点 ・ 地元住民が日常的に利用していることから、自然との密接な関わりや里山的な暮らしが伝わる点 ・ 大きな水タンクを運ぶための一輪車などの細かな工夫、水風呂といった要素も高く評価される ・ 地元の方が水を汲みに来ていれば、ガイドが橋渡し役となり「よく来られるのですか」「この水は何に使われているのですか」などの会話を促すことで、偶発的で印象に残る交流が生まれ、体験価値が高まる ・ 最後に、へんぼこ茶屋の創業ストーリーと自然につながり、同店がこの水を使用していることの説明がより印象的になる これにより、ツアー全体の雰囲気が一気に高まり、参加者に「忘れられない体験になる」という確信を与えることができます。</p> <p>④ 田んぼウォーク 八王子よみがえりの水まで約1kmを田んぼの中を歩くオプションを検討してはいかがでしょうか。 ・ 多くの訪日客にとって非常に珍しい体験となる ・ 欧米の旅行者は歩くことを好む傾向がある ・ 車で美しい田園風景を通過するだけでは、もどかしさを感じる場合がある ・ 壬生山への登りよりも、農家や田んぼの間を歩き、農村生活を垣間見る方が満足度が高い ・ 壬生山から俯瞰した里山の風景を、実際に「ズームイン」して体感できる ・ 稲作や農村生活について説明する絶好の機会となる ・ 多少遠回りでも、最も景観の良いルートを選定する ・ 可能であれば道路ではなく田んぼのあぜ沿いを歩く ・ 写真撮影の機会が非常に多くなる ・ 食事前の導入としても効果的</p> <p>⑤ 体験内容 神社参拝および神楽の奉納は非常に本格的で、高い価値があると感じました。 一方で、神楽面の絵付け体験は楽しく、ホストとの交流という点では良いものの、体験価値としてはやや弱い印象を受けました。 管沢良典千代田工房を何らかの形で組み込むことは可能でしょうか。 実際に神楽面師の仕事を見学し、交流できる体験は、価値認識を大きく高めます。特に高価格帯の顧客は、職人の仕事を目の当たりにした後であれば、本物の神楽面を購入する可能性が高まります。 絵付け体験は「楽しい追加要素」として残しつつ、職人工房の訪問を本ツアー参加者限定の特別体験とすることで、差別化が可能です。</p> <p>⑥ 移動手段 トヨタ・アルファードのような上位グレードの車両を使用することで、体験価値はさらに向上します。 八重交通が現時点で投資に踏み切れない場合は、広島市内の運送会社と連携し、市場性が確認できた段階で投資を検討するのも一案です。</p> <p>⑦ 宿泊 事前の期待値調整が適切であれば、本ツアーに惹かれる多くの参加者は現状の宿泊水準を受け入れると思われる。ただし、一部のハイエンド層には不向きです。 特に空調音が大きく、睡眠に支障をきたす可能性がある点が気になりました。 現状の選択肢を踏まえると、宿泊にこだわる方向けに、神楽鑑賞後に広島市内または宮島へ戻る日帰りプランを用意することを提案します。この場合もアルファード等の車両が必要です。 この選択肢があることで、旅行会社やブティック系DMCが顧客に提案しやすくなると思います。</p> <p>⑧ 通訳ガイド 上記の改善により、15万円という価格設定は十分に妥当なものになります。 しかし、それらは通訳ガイドが北広島町の魅力や人々の情熱を「意味だけでなく精神ごと」伝えられなければ意味を成しません。 多くの参加者が理解できるのは、ガイドが何を、どのように伝えるかだけであり、ガイドの力量がツアーの成否を左右します。 本商品の通訳ガイドには、単なる通訳を超え、体験全体を「生きた物語」として届ける役割が求められます。そのため、事前に十分なブリーフィングを行い、複雑な説明を簡潔にし、文化的背景がない参加者にも理解できるよう補足する必要があります。 また、地域の人々と参加者をつなぐ橋渡し役として、積極的に会話を促し、興味深いエピソードを引き出す姿勢が重要です。</p>

## 2. 実施内容と結果

## (3) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する可能性調査(実地試行) 第2回

## 3. スケジュール（体験時間・移動時間）について

ツアー全体の時間配分や、移動時間の長さ・テンポについて、改善した方がよいと感じた点があればご意見をお聞かせください。

回答者	理由
1	時間配分はほぼ良い。できれば、2泊3日か3泊4日くらいの設計で、ゆったりできる時間も設け、単価を上げるほうがよいのではないかと。
2	<p>◇広島駅-北広島町の移動はツアーに含まれていないようですが、ツアーガイド視点ですと、バスの50分程度を使ってツアーの概要、北広島町の概要、そして現地では説明する時間が取れない事項（例えば北広島・壬生城の歴史など細かいところ、神楽の背景知識など）を説明できたら、ツアーに対する期待度がより高まると思います。また、バスは田んぼや山林を見ながら進みますので、日本人と稲作・米の話。木材・炭・たたら製鉄、などの話ができ、北広島町ツアーの背景知識が得られます。ガイドが話したことを、現地で専門家がもう一回話すとしても、それはそれでより理解が深まります。</p> <p>◇北広島体験ツアーのモニターツアーのガイドを担当したことがあり、その時は広島駅→北広島町の移動もツアーに入っていました。その中で、参加者ひとりひとりに自己紹介をしてもらいましたが、皆さん結構お話しされてお互いのこともよく分かり、よい時間でした。</p> <p>◇壬生城、伝承館、参拝、神楽面作り、神楽鑑賞などの見学・体験は、それぞれ時間的にちょうど良いと感じた。</p> <p>◇訪問場所がコンパクトにまとまっていて長時間の移動が発生せず、テンポの良いツアーと感じる。</p> <p>◇大変寒かったこともあり、1200現地着→2230終了はとても長く、夕食前に1時間ほどホテルで休憩があったのがありがたかった。もしくは神楽鑑賞の終了が2100位になれば、終了後のホテルでもっとゆっくりできるのでは。</p>
3	もし広島あたりに、すでに泊っている方なら、大丈夫と思います。ただし、広島駅から出てるバスに無事に乗れるかだけはちょっと心配です。自分でも迷う時あります。何回も道の駅に戻るのにはちょっと変だったかもしれません。
4	2日目、道の駅に寄らずに広島市内からの1 Day Tripからの取組でいいかもしれません。
5	<p>本ツアーにおいては、季節要因が重要なポイントになると感じました。夏は非常に暑く、冬は大変寒くなる一方で、空調の整った休憩場所が限られています。夏には冷たい飲料、冬にはカイロなど、季節に応じた小さな配慮をご用意いただくことで、おもてなしの気持ちがより伝わると思います。</p> <p>また、日本語のみで実施する場合のスケジュールは適切に感じられましたが、通訳を含める場合には、通訳や質問の時間を考慮し、やや余裕を持たせることで、より落ち着いた参加体験につながると考えます。</p>
6	モニターツアー用と実際に実施される際のスケジュールの違いはありますか？ 先日のモニターツアーの視察スケジュールについては、身体的な負荷なく参加できました。
7	設問2参照（移動中をコミュニケーションタイムとして活用できると思います）。
8	<p>各体験の所要時間は適切で、バスに長時間乗り続けるような行程ではなかった点は良かったと感じました。</p> <p>一方で、通訳を含めた場合に各体験がどの程度長くなるかについて、十分に考慮されていたかは不明です。</p> <p>今後は、説明・通訳・質疑応答をすべて現行スケジュール内に収めることを前提とし、そのために説明内容の編集や簡略化を行う必要があると考えます。</p>

## 2. 実施内容と結果

## (3) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する可能性調査(実地試行) 第2回

## 4. お食事について

本ツアーにおけるお食事内容について、味・内容・演出・地域性の観点からご意見をお聞かせください。商品価値を高めるために改善できる点があれば併せてお書きください。

回答者	ご意見
1	2で回答済み。
2	<p>「へんぼ茶屋」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇米農家、地元の米や野菜、名水、と言ったウリを強調するとよい</li> <li>◇お店の壁に書いてあった「へんぼ茶屋の歴史」を（到着前のバスで）説明したい</li> <li>◇メニューを自由に選んで良いことは喜ばれるかもしれないが、英語メニューがなかったので工夫が必要。</li> <li>◇お店のメニューを見て注文をすると、値段が分かってしまうが、問題ないか。 →その点、絶品だったいちご大福・各種おはぎを到着前に全面的にアピールし、全員に選んでもらうと喜ばれると思います（お餅類は全員食べられる）</li> <li>◇ビーガン、ベジなどの対応をどうするか（うどん・そばの出汁には鰹が入っていた）</li> </ul> <p>「立盛」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇神楽団長経営のラーメン屋さんという場所が面白く、地元の方との交流の場としてもあのような広いスペースは良いと思いました。</li> <li>◇ラーメン屋での開催だけど、食事は「地元で有名な日本食店しらがね」から持ってきています、ということをきちんとメンションすべき。ラーメン屋さんの食事だと思われるかもしれません。</li> <li>◇お弁当の味はとても良かったです。お料理に対するシェフの説明がもっときっちり、詳しくされたらより喜ばれると思う。その際、その内容を通訳が事前に聞けるとありがたい。</li> <li>◇あの高級なお弁当ならば、日本酒やワインなどが素敵なグラスとともに出されたら、より喜ばれると思います。飲み物の出し方にもっと工夫があれば。</li> <li>◇以前モニターツアーでガイドをした経験（ゲストは全員日本語NG）から、食事の際は誰がどこに座るかが重要です。地元の方との交流ができやすいよう、地元の方、ゲスト、通訳の席を事前に決めておくことが必要。ずっとずっとしゃべりたい方がおられる一方で、無口で聞くだけになりがちの方もおられましたので、工夫が必要。その点「立盛」さんは、高級店で席の移動が難しいといったことではないので、地元の方々ゲストひとりひとりを回ってお話をすると思われたいです。</li> <li>◇そのため、通訳できる人が複数いるとよいかもしれません。</li> </ul>
3	食事は全体的に美味しかったです（シェフが作った夕食は特に素晴らしかったです）。ただ、北広島らしさが少し欠けているように感じました。何か地元の名物料理はありますか？（地元産の餅は素晴らしかったです）
4	壬生城跡で田んぼの話があつてからの伏線回収的なおはぎや大福の提供は良かった。昼食内容については15万のツアーと考えるなら価格に見合わない。味やメニューというよりドライブインのような会場の雰囲気やチーフ。もう少し郷土色の濃い料理を古民家や神社などで提供するなど工夫ができればいいが、物理的に難しければ先述の通りターゲットの設定を見直すべき。夕食も設問2で回答の通り。お弁当の味や内容についてはあの程度でいいかと思いますが、会席・コース料理として提供し、都度、素材や調理法の説明があれば。会場もラーメン屋は厳しいのでは。
5	ツアー全体を通して、食事の質は非常に高いと感じました。検討点としては、夕食において温かい料理を優先することが挙げられます。また、お好み焼きのような、自然と会話や交流が生まれやすい料理を夕食に取り入れることも一案かと思えます。こうした食事は、海外のお客様にとって特別な体験となり、地元の方々とのコミュニケーションを円滑にする助けにもなると考えます。
6	へんぼ茶屋は、お店の立ち上がりの由来含めて、ツアーのストーリーとどのように紐付けるかを工夫できれば、とても有用になると思いました！が、諸々のサイズが大きいことを含め、事前にアナウンスいただけると選び方も変わると思えます（食べ残さず済むかと。気にされる方多い印象です）
7	(2) 参照。

## 2. 実施内容と結果

## (3) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する可能性調査(実地試行) 第2回

## 4. お食事について

本ツアーにおけるお食事内容について、味・内容・演出・地域性の観点からご意見をお聞かせください。商品価値を高めるために改善できる点があれば併せてお書きください。

回答者	ご意見
8	<p>昼食</p> <p>昼食会場は雰囲気良く、料理の選択肢も十分でした。 また、八王子よみがえりの水とのつながりや、地元の米作りとの関係性が感じられる点も評価できます。</p> <p>ヴィーガン、ベジタリアン、グルテンフリー等への常時対応を期待するのは現実的ではないと思われませんが、事前に十分な相談期間を設けた上で、個別対応の特別メニューを用意できる可能性について検討する価値はあると考えます。 こうした相談は予約時ではなく、企画準備段階で行うことで、飲食店側にも敬意を示し、プロジェクトの一員として関わってもらいやすくなります。</p> <p>また、魚だしを使用していることなど、食材・調理方法に関する情報は、誤解を避けるためにもツアー事業者から明確に共有することが不可欠です。</p> <p>夕食</p> <p>ヴィーガン弁当は非常によくできており、初めての試みとは思えない完成度でした。 ただし、夕食として弁当を提供する形式は可能な限り避け、温かい料理を提供し、その時の体調や気分に応じてメニューを選べる形が望ましいと感じました。</p> <p>朝食</p> <p>可もなく不可もなく、という印象でした。 アレルギー表示、魚・肉類（魚だしを含む）の明示があれば、より安心感が高まると思われます。</p>

## 2. 実施内容と結果

## (3) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する可能性調査(実地試行) 第2回

## 5. 演出について

本ツアー全体の演出（雰囲気づくり、進行、見せ方等）について、印象に残った点、または改善すべき点があればご意見をお聞かせください。

回答者	ご意見
1	2で回答済み。全てツアーのコンセプトに依存する。
2	<p>◇ツアーの冒頭にワクワク感を高める工夫がもっとあつたらと思います。 道の駅に田辺さんが迎えて下さいましたが（寒いので部屋の中でのお話に留まりましたが）、あの道の駅の太鼓を見せながら、「花田植」「神楽」とツアーのコンセプトを説明し、本物の太鼓を叩いてもらうなどのミニセレモニーでツアーをスタートさせるのはいかがでしょうか。</p> <p>◇冒頭に続き、各訪問場所でもワクワク感を演出する必要があります。各訪問場所でもどんな素晴らしい体験ができるのか？見どころは何か？What's the significance? を明確に説明できるよう準備する必要があります。ストーリーブックや、冒頭のツアー説明においてだけでなく、それぞれを訪れる際に「次はこんなすごいところに行きますよ！」としっかり案内する。文句もあらかじめ決めておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・壬生城跡：頂上より「里山」「里山の暮らし」にイメージを膨らませることができる</li> <li>・へんぼ茶屋：米農家・地元の米野菜・名水・いちご大福など各種お餅を堪能できる</li> <li>・伝承館：「里山の暮らし」を四季に分けて立体的に紹介。「花田植」「神楽」など興味深い伝統芸能も。</li> <li>・有田神社：歴史ある社殿で神官から話を伺い、玉串奉納というめったにできない特別体験。</li> <li>・神楽面作り：神社神楽殿で本物の面を見ながら面の絵付け。本格的な面作りもできます。</li> <li>・交流レストラン：伝統を守り町を盛り上げようと頑張る地元の若者のアツい思いが聞ける + 地元の美味しい料理と日本酒を堪能できる</li> <li>・神楽鑑賞：神楽殿で地元の歴史ある神楽団の舞が面前で鑑賞できる。他ではできない経験。</li> <li>・マイロード：北広島町の特別なお土産が買えます。特産は～。魅力的なものがたくさん。</li> </ul> <p>◇伝承館では、竹の楽器や太鼓をゲストが演奏する場面があつたが、説明を聞くだけでなく手に取って体験できるとわかりやすく印象に残りやすいと思います。また説明は充実していたが、もう少し参加者が自由に展示物に近づいて見る時間があつたらよいと思った。（もっとゆっくりじっくり見たかった）</p> <p>◇神楽鑑賞後にQ&amp;Aが有りましたが、非常に価値のある時間だと思いますので、上手く通訳できる方が間に入りQ&amp;Aセッション、コミュニケーションの時間がとれると良いと思います。</p> <p>◇最後の記念写真を全員で撮影しました。広島定期公演では、衣装をお借りし衣装を羽織らせていただいて個人またはグループと一緒に記念撮影をしています。全体写真も良いですが、せっかくの機会ですので、個別の写真もとって差し上げると大変喜ばれます。</p>
3	素晴らしい。団長さんをレストランで会ったり、神主さんに神社で会ったりすることで、これが地域の伝統であることを真に実感できるでしょう（もっとも、神社での詳細な体験は必要かどうかは分かりませんが）。もう少し英語での説明があれば（そして、床に座って座りたくない人が多いので、椅子をもう少し増やしてもいいかもしれません）、完璧でしょう。
4	ガイドさんが同行していたが初回モニターの為、部分的となり、参加者とガイドの会話があまりなかったので評価しにくい。そもそもモニターが全員日本語を理解できたので実際に日本語を理解できない方が参加した場合の感想・意見を参考にしたい。地元住民との交流は無理やり押しつけず、まずは、質疑応答（料理や神楽、地域のことを尋ねて答える）などさりげない会話程度でいいかと。ガイドが地元の方でスルーで同行するのならその方を介して地域の方との会話がより楽しめるかも。
5	本ツアーの最大の魅力は、地域の人々と日常の営みに焦点を当てている点だと感じました。地域の方々と直接出会い、交流できたことで、温かく、真に地域に根ざした、記憶に残る体験となりました。特に立盛さんの誠実で心のこもったお話は強く印象に残っています。また、若い走者や笛奏者、神楽にも出演されていた神職の方との出会いも、非常に印象的でした。ツアーに関わる地元の方々との直接交流できたことで、体験に感情的な深みと本物らしさが加わり、とても個人的で特別なものを感じられました。

## 2. 実施内容と結果

## (3) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する可能性調査(実地試行) 第2回

## 5. 演出について

本ツアー全体の演出（雰囲気づくり、進行、見せ方等）について、印象に残った点、または改善すべき点があればご意見をお聞かせください。

回答者	ご意見
6	<p>スルーガイドさんご自身の見せたい部分と、ツアーとして表現したいところの擦り合わせが必要だと感じました。</p> <p>また、面作りに関して、その場では面白いかもしれないのですが、どなたかが「帰ってこれどうしたらいいの？」とおっしゃっておられましたが、結局「なぜこれをやったのか？自分にとってこれはどういう意味があるのか」という思い入れが無いと、結果無関係なものとして残ってしまい、体験の価値が下がってしまうと思います。その辺りの設計もきちんと見直したほうが良いと思います。</p>
7	<p>神楽団の皆さんについて理解が深まるにつれ、皆さんがボランティアで活動されていることを知りました。公演後、お一人の方がとてもお疲れの様子に見え、私たちのために無理をさせてしまったのではないかと心が痛みました。今回のツアーに参加されるお客様は相応の参加費をお支払いになりますので、演者の方々に負担をかけているのではないかと感じてしまう状況は、できるだけ避けたほうがよいと感じました。日本の文化的な背景もあり難しい面があることは承知しておりますが、演者の皆さんが「演じられることを喜んでいる」ように見えることがとても大切だと思います。もし演じることが過度な負担となり、疲れ切っているように見えてしまうと、お客様が気兼ねしてしまう可能性があります。</p> <p>公演会場そのものはとても素晴らしい場所でしたが、夏場はかなり暑くなるのが予想されます。観覧中に使える扇風機を用意したり、冷たい飲み物を楽しめるようにすると、より快適で楽しい体験になると思います。また、飲み物や軽いスナックを常に用意しておくことは、満足度の向上にもつながる良い工夫だと感じました。</p>
8	<p>ホストの皆様の温かさや親しみやすさは非常によく伝わってきました。日本語が理解できる立場としては、本ツアーが地域への愛情と情熱による「チームの取り組み」であることが明確に感じられました。</p> <p>課題は、日本語や日本文化の知識がほとんどない参加者に対して、その想いをどこまで伝えられるかという点です。参加者が「15万円を支払う価値が十分にあった」と心から感じられるレベルまで、演出とストーリーテリングを磨く必要があります。</p> <p>現状では、ツアーが個別の体験の集合体のように感じられ、より流れのある一貫した物語として再構成できる余地があると感じました。</p> <p>各パートについて //導入（壬生山）// ツアー冒頭の改善案については、前述（質問2）で提案した内容の通りです。</p> <p>//伝承館// 非常によく構成された、テーマの明確な施設であり、案内を担当してくださった若いスタッフの方との出会いも好印象でした。 各祭りの様子を伝える映像があれば、雰囲気より直感的に理解できる 祭りの音（BGM）を流すことで没入感が高まる 説明内容は訪日客向けに編集し、国内客には不要な細部を削り、背景説明を補足する 通訳を含めた場合の所要時間を考慮する 通訳ガイドが、施設スタッフと参加者間のコミュニケーションを積極的に補助する</p> <p>//神社参拝// 非常に印象に残る体験でした。 提灯の灯り、そびえ立つ杉の木々、雪景色など、写真撮影の時間を十分に確保すべき場所だと感じました。説明内容も興味深かった一方で、通訳しやすく、意図したメッセージが確実に伝わるよう、ストーリーをさらに磨く余地があると感じました。</p> <p>※次ページに続く</p>

## 2. 実施内容と結果

## (3) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する可能性調査(実地試行) 第2回

## 5. 演出について

本ツアー全体の演出（雰囲気づくり、進行、見せ方等）について、印象に残った点、または改善すべき点があればご意見をお聞かせください。

回答者	ご意見
8	<p>※前ページより</p> <p>//神楽面絵付け体験// 職人が制作した芸術作品レベルの神楽面に約1万円を支払って絵付けする体験をしたことがありますが、絵が得意でない立場としては、今回のようなシンプルなお面の方が取り組みやすいと感じました。</p> <p>可能であれば、筆や絵の具に慣れるための練習用の面があると良いと思います。 また、講師の方からもう少し具体的なアドバイスや指導があると、満足度が高まると感じました。</p> <p>前述の通り、実際の神楽面師の工房を訪問する体験を組み込むことで、体験価値は大きく向上し、職人制作の本物の神楽面購入にもつながりやすくなると思います。</p> <p>//夕食交流//</p> <p>共通言語がない状況で自然な交流を期待するのは難しく、ガイドによる進行・仲介が不可欠です。沈黙が気まづくならないよう、会話を促す工夫が重要です。</p> <p>飲食店を通常営業の形で開放することで、より自然で本物らしい雰囲気を体験でき、他の客との交流が生まれる可能性もあります。</p> <p>また、テーブル付きホットプレートを使ったお好み焼き作り体験を、地元のお母さんやおばあちゃんがリードする形で行うのも一案です。 場を和ませ、食事制限にも対応しやすい有効な方法だと考えます。</p> <p>//神楽公演//</p> <p>本ツアー最大のハイライトです。 演目・会場ともに素晴らしく、非常に完成度の高い体験でした。</p> <p>一方で、導入説明はやや準備不足の印象があり、即興的な説明が通訳にとって負担になる可能性があります。 また、舞台上のセリフの意味をどのように伝えるかは大きな課題です。</p> <p>少人数での同時通訳は臨場感を損なう可能性がある</p> <p>場面ごとに区切った解説（サイン表示）と台本要約を用意する</p> <p>ツアーストーリーブックに場面別あらすじを掲載する</p> <p>こうした工夫により、鑑賞体験が大きく向上し、鑑賞後に他者へ語りやすくなります。翻訳・表現の質は、必ずツアー価格帯に見合うものである必要があります。</p>

## 2. 実施内容と結果

## (3) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する可能性調査(実地試行) 第2回

## 6. ストーリーブックについて

配布したストーリーブックについて、内容の分かりやすさ、情報量、体験理解への貢献度についてご意見をお聞かせください。改善点があれば具体的にご記載ください。

回答者	ご意見
1	コンセプトとツアー内容がやや曖昧。ツアーの魅力やPRポイント（どのような没入体験が得られるのか等）が弱い印象あり。
2	<p>◇このようなストーリーブックは、ゲストの期待も理解も大いに高めることができると思います。</p> <p>◇表紙のタイトル「Did you know Kagura」は、このツアーのコンセプト「北広島町（有田八幡神社×芸北神楽）」に付けるタイトルはブラッシュアップしたらいかがでしょうか？</p> <p>◇4ページ一番上のタイトルも「神楽」となっていますが、「Did you know Kagura？」の下の文章は、この「探求の旅」の目的を記したよい文章だと感じました。こちらの文章を磨いていかれたらどうでしょうか？</p> <p>◇ツアーブックをA4の二つ折りにすると文字が細かく、高齢のゲストなどには見にくい。英語の文字は特に小さい。配り物の字が小さくて、はなから見ようとされないゲストは多いです。</p> <p>◇各訪問場所について8行程度の説明が付いていますが、もっと詳しく書かれているといいなと思います。例えば各1ページずつ使い、もう少し大きい文字で記載。例えば、北広島町「壬生の花田植」のことはどこにも書かれていませんが、伝承館の説明の中には入れておくとか（伝承館の説明の最後に2階の説明が入っていますが、2階は訪ねませんでした）。壬生城や有田神社の歴史についてもう少し詳しく書いておくと、現地での理解がより深まる、もしくは時間が限られる中で説明を省略することができます。</p>
3	冊子は基本的に直訳のような印象で、日本の歴史や文化に関する知識を前提とした箇所がいくつかありました。高級感のある冊子にするのはいかがでしょうか？これはテスト版なので問題ありませんが、物語を分かりやすく、訪問者にとって分かりやすい形で書ける人が必要です。
4	北広島町内のより詳しいMAPがあってもいいかと思います。八岐大蛇のストーリーも外国人にわかるよう記載があったほうがいいと思います。
5	<p>日本語と英語の両方で用意されていたストーリーブックは、とてもありがたく感じました。ツアーに参加する前は神楽についての知識がほとんどなかったため、このストーリーブックによって理解と関心を深めることができました。</p> <p>内容は大変分かりやすかった一方で、今後の改善点として、本地域の神楽が他の地域と比べてどのように特別なかを簡潔に説明する一文を加えることもご検討いただけるかと思います。特に神楽を初めて体験される海外のお客様にとっては、日本のどこでも神楽を鑑賞できると誤解してしまう可能性があるため、こうした補足説明は有益だと感じました。</p> <p>また、英語タイトルについても、より自然で親しみやすい表現は</p> <p>"Do you know about Kagura?" Explore the confluence of community and shintoism in northern Hiroshima where Kagura - the dance of the gods - lives on in the people".</p> <p>また、壬生城についての説明については、神楽との関係性がやや分かりにくいと感じました。壬生城跡を訪れた理由をより明確に伝えるため、以下のような一文を補足として加えていただくことも有効かと思います。</p> <p>"Hiroshima kagura didn't develop in isolation. It needed stable villages, shrines, and patrons. Sites like Mibu Castle were the political backbone that allowed these communities—and their ritual arts—to continue for centuries."</p>

## 2. 実施内容と結果

## (3) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する可能性調査(実地試行) 第2回

## 6. ストーリーブックについて

配布したストーリーブックについて、内容の分かりやすさ、情報量、体験理解への貢献度についてご意見をお聞かせください。改善点があれば具体的にご記載ください。

回答者	ご意見
6	<p>ストーリーブックについては、現状ですと情報誌と差異がないように感じました。その土地の情報を載せるということではなくて、ツアーを通して各所でどういったことを体感してほしいか、ツアーの「核」にどのように紐づいているのか？そういったガイドブックにできると、参加者に能動的に読んでいただける内容になるかと思います。</p>
7	<p>とてもよかったです。必ず必要かと思えます。</p>
8	<p>ストーリーブックの役割次第で評価は変わりますが、15万円以上を支払う参加者は、読むことよりも、ガイドによる魅力的な説明を期待する傾向があります。</p> <p>タイトルの「Did you know Kagura?」は再考の余地があります。</p> <p>内容自体は概ね整理されていますが、記載されている内容が実際に体験できることが重要です。 有田八幡神社の精緻な彫刻や、伝承館2階の見学については、記憶に残っていません。</p> <p>4ページ目の文章はやや大げさで、「人生の羅針盤となる普遍的意味を探す」という表現は、期待値を上げすぎる可能性があります。</p> <p>また、山陰・山陽といった地理的区分や、すでに現地にいる参加者にとってアクセスマップが必要かどうかなど、ターゲット理解の再検討も必要です。</p> <p>用語集や、簡単な方言フレーズを掲載するのも有効だと思われれます。</p>

## 2. 実施内容と結果

## (3) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する可能性調査(実地試行) 第2回

## 7. ツアーコンセプトについて

本ツアーのコンセプトについて、「伝わりやすさ」「独自性」「訪日外国人向け商品としての魅力」などの観点からご意見をお聞かせください。

回答者	ご意見
1	2と6で回答済み。コンセプトとして考えられるのは2通りではないか。①日本古来からの五穀豊穡文化と伝統的な農村での暮らし（ジブ리적인世界観）、②古事記等の世界観を没入体験（北広島町は神話の世界の入り口）
2	◇コンセプト：里山の暮らし・稲作・神社・神楽 がとても上手く組み込んであると感じました。一番わかりやすかったのが、小田さんが、神社で宮司さん→立盛で地元を盛り上げようとする若者→神楽でスサノオ。宮司さんがスサノオとして登場されてあのような演技を見せて下さるとは、お客様も驚かれること間違いなし。日本人と神社、伝統文化の継承の努力を文字通り目の当たりできる、このツアーだからこそ体験できるシーンの数々です。また、「立盛」で有田神楽団の団長さんや、東山神楽団の副団長さんであり北広島町勤務の田辺さんらと交流できることも、単なる芸能鑑賞・体験以上の、地元の皆さんの生活に入り込める、このツアーならではの特別の機会です。有田神楽団団長さんのお話はとても良かったので、よい通訳を入れてぜひ皆さんに聞いてもらいたいです。 ◇このツアーに15万円を支払って参加なさるゲストは、やはり神楽ファンになるのかなと思います。「広島神楽定期公演」には2025年4-12月に6831名の外国人が訪れ、外国人、国内外の旅行会社やOTAにも認識が広がっています。このツアーの集客にこちらの公演を利用させてもらうことは可能でしょうか？
3	全体的なコンセプトは理にかなっていますが、各プレイヤーは自分の役割を理解する必要があります。私が尋ねるまで、なぜ神社を訪れたのか（そしてそれが神楽とどう結びついているのか）は全く分かりませんでした。
4	地域が神楽を大切に保全・継承しつつけた歴史・取組は良く理解出来ました。その上で伝統芸能の保全活動により共感を誘い再来訪を促すための工夫について更なる検討が必要と思います。例：宿泊先をホテルではなく（清潔感のある）農家民泊にすることでより深い交流や関係構築を促しピーター化を企図するなど。ターゲットは変わるかもしれませんが。
5	ツアーのコンセプトは非常に独自性が高く、地域に深く根ざしたコミュニティを体験できる貴重な機会を提供していると感じました。対象となるお客様層はやや限定的かもしれませんが、この独自性こそが大きな強みであり、本物の文化体験を求める旅行者に非常によく合致していると考えます。
6	・母数が多いので、たくさん触れられる機会がある。 ・生活に根付いている「宮神楽」。 という二点で、他地域との差別化や独自性はあると思います。 が、現状の神楽が御神事としての神楽とは少し距離があるので、軸を神秘性みtainな表現にしてしまうと合わないかもしれません。ともすると、大人のクラブ活動のように見えてしまうので、広島神楽のエンターテインメント性と、生活とどれだけ深く密着して、そこにどのような信念があって、日本人の、日本文化の素敵な部分としてどう表現していく必要があるのかは、再検討が必要と感じます。
7	これは、神楽の専門家さんに「有田神楽とは何か」「その魅力や特徴」「どのような物語が演じられているのか」について、2ページ程度の紹介文を書いていただく良い機会かもしれません。ストーリー性のある形でまとめることができれば、プロモーション資料、ストーリーブック、SNSなど、さまざまな場面で活用できると思います。 また、ツアーのプロモーションの一環として、有田神楽の皆さんや山口の関係者の方々のSNS発信をサポートすることも重要だと感じています。多くの参加者が、帰国後も彼らをフォローしたり、つながりを保ちたいと思うはずですし、SNSは参加者自身が体験を共有する場としても非常に有効です。
8	正直なところ、ツアーのコンセプトがやや分かりにくいと感じました。 ストーリーブックでは神楽中心の印象ですが、実際の体験では「稲作を中心とした暮らしと、その表現としての神楽」が主軸のように感じられました。 壬生山での導入説明の最後に、参加者に持ち帰ってほしい理解や視点を明確に言語化することが重要だと考えます。

## 2. 実施内容と結果

## (3) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する可能性調査(実地試行) 第2回

## 8. 神楽体験の価値認識について

今回体験した神楽について、「他地域でも体験できるもの」と比べて、北広島町ならではのと感じた点があれば具体的にお書きください。

回答者	ご意見
1	広島神楽（島根含む）は、他地域と比べて、お囃子やテンポ、衣装や演出が大きく異なるため、現地で間近で観賞できる意義は大きい。特に、地域の人が普段から体験する神社での夜通しの神楽の雰囲気や体験できるのが良い。あとは、終了後に衣装やお面着用体験、太鼓や楽器体験等もありえるだろう。
2	<p>◇広島で外国人が神楽鑑賞できるのは「広島神楽定期公演」4-12月毎週水曜日（英語字幕あり）があります。他では英語字幕はありませんが、神楽門前湯治村で週末の神楽上演、他、神楽競演大会、神社の祭りなどがあります。今回のツアーにおける神楽鑑賞は、それらと比べ ①神社の神楽殿で鑑賞ができる ②少数のゲストなので独占感が半端なく、臨場感もすごい。特に八岐大蛇が火を吹きながらあそこまで眼前に迫ってくるなどは他では経験できません。</p> <p>◇上演前に、きちんとした「神楽の説明」がありませんでした（即興でのお話でした）が、ここは、言うべき説明をしっかりと決め、通訳とも打ち合わせをして、「特別なショーのスタート」をすべきです。</p> <p>◇「神降ろし」ですが、お客様によって結構長い時間に思えるのではと心配します。この儀式的意味、動きの意味（お米をひと粒もこぼさぬよう扇で受けているなど）を事前に説明しておくことは大切です。</p> <p>◇「八岐大蛇」は演目として大変華やかで動きが激しく見栄えがするものです。さらにストーリーもわかりやすいので、外国人向けとしては一番適していると思われます。ただやはり台詞については、翻訳があった方が格段にストーリーを理解しやすくなると思います。あの舞台の雰囲気を壊さないよう、例えば紙の字幕をつくり、めぐりながらお客様に見ていただくなどはいかがでしょうか？</p>
3	神楽を舞台で見ると比べると、事前に劇団員の何人かに会うことができたこともあり、より生々しく、より「ローカル」な感じがしました。オロチは本当に素晴らしく、多くの方が魅了されると思います
4	他の神楽を鑑賞したことがない為、他の地域の神楽との比較・評価はできないが、能や歌舞伎などある意味上質な芸能鑑賞とは別物と感じました。翌日の狂言のように少し体験させてあげてもいいかも。
5	神楽を間近で体験できる点は、本ツアーの非常に大きな価値だと感じました。東京などの大都市では、このような距離感での体験はほとんど不可能です。いわゆる「穴場」的な体験である点も魅力的で、広島や福岡に関心のある旅行者の旅程に組み込む形で紹介することは、非常に効果的だと考えます。
6	設問7で回答済
7	交流があったため、付加価値はあると思います。「団長さんと知り合いになった」ことが自慢のたねになるかと思っています。
8	<p>北広島町の神楽は、日本でも希少な伝統芸能であり、精神性と娯楽性を兼ね備えています。能楽や歌舞伎と比べても分かりやすく、観る者を惹きつける力があります。</p> <p>進化を続ける歴史、担い手の情熱、若い世代にも受け継がれている点が、「もっと観たい」だけではなく「支援したい」と思わせる要素になっています。</p>

## 2. 実施内容と結果

## (3) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する可能性調査(実地試行) 第2回

## 9. 「神楽と生きる町」という文脈の伝わり方

神楽が地域の暮らしや信仰と結びついていることについて、十分に理解・実感できたでしょうか。そう感じた理由、または分かりにくかった点をお聞かせください。

回答者	ご意見
1	<p>伝承館と神楽観賞以外は、コンセプトとの関連性や深く理解する部分が弱い。神楽団の方との交流は助けにはなっていた。観光客が、神楽の演目は空想の演劇のような認識を持つ可能性があるが、神楽の演目の背景が日本の文化や伝統（天皇制含む）、精神性につながり、ストーリーの実際の古事記の舞台・場所が北広島町のすぐ裏側に実在する現実を理解してもらうことで、神楽の重要性をより感じてもらえるのではないかと。そういった導入と補足が組み込まれると良い。</p>
2	<p>私自身は、ツアーを通じてよく理解できましたし、その理由は上記で書かせていただきました。</p> <p>今回の実証ツアーを、実際のツアーに仕上げていく際の大きな課題は、本番では日本語が理解できないゲストが参加されると言う点です。今回の実証ツアーは日本に長年住み日本文化も日本語も十分理解されている方の参加でしたが、実際そうでないお客様が参加されると様子はまったく違ってきます。</p> <p>今回、たくさんのお見どころについて様々な方から興味深いお話がありましたが、それらが実際のツアーでゲストの興味を引くためには、下記の点を認識しておくことが大切です</p> <p>① 通訳を入れると、時間が2倍以上かかる。</p> <p>② 外国人に刺さる話はどこか。どの話は刺さらないか、見極めて話を準備しておくべき。</p> <p>例：伝承館で「花笠踊りの花笠は男性しかかぶらない、その理由は・・・」「虫おくり（サネモリ人形）」などの話は、日本人にはとても興味深い、外国人が聞いても面白いのか？</p> <p>例：神社はお願いをするのではなく、神様にお祈りと感謝をするところ」「いろいろな『気』」「天照大神・ニギノミコト・大国主命・新嘗祭・・・」など、とても興味深い話が続いたが、これら全てに通訳を入れて話すと同様長くなるため、お話を絞り、簡潔に述べていただくことが大切。</p> <p>例：壬生城跡・伝承館・神社などで歴史の話をする際、毛利元就ら武将の名前を並べて詳しく説明をしても、伝わりにくいことが多い。（日本歴史の背景知識が無い方には難しい）</p> <p>③ 通訳するのが難しい箇所があります。宮司さんの「気持ち・気遣い・気をつける・・・」の言葉などは、どう通訳するかあらかじめ決めておかないと、即興では難しいです。そのような場面がいくつかありました。</p> <p>従いまして、通訳を入れる際は、説明は今回の半分以下しか話す時間が無いことを踏まえた上で、外国人に刺さる話に絞り、簡潔にわかりやすくまとめていただくこと。そして難しいところをどのように訳すべきか、通訳が説明者と事前にすりあわせることができたら良いと思います。</p> <p>実証ツアーの時に申し上げましたが、外国人向けのツアーでは、通訳ガイドが大変に重要な仕事を任されているにもかかわらず、「よいツアーになっているはずだから、あとはガイドさん次第だから、上手くやってね」と放り出されることが良くあります。準備をしっかりとして仕事に臨みたいけれども、通訳の原稿などは事前にももらえないことも多いです（通訳は何でも上手く通訳できると思われる）。そういうことが重なると、現場で通訳ガイドは孤独になりがちです。ですので、ツアーに関わる方全員で、通訳のところまで一緒に考えて下さると、通夜ガイドとしてはとてもありがたいはずですが、ゲストの人数にも寄りますが、ガイドを2名付けるのも一案だと思います。ゲストにより手厚く接することもできます。</p> <p>もちろん、日英ネイティブで、神楽をはじめ日本文化に精通した通訳さん、ガイドさんもおられますので、そういった方をお願いできればベストだと思います。また、今後は部分的に同時通訳の機器を取り入れるなど、進化した工夫ができるようになってくると思います。</p>
3	<p>この点はまだ少し物足りないかもしれません。ある程度は感じましたが、もう少し強調する必要があると思います。街中に、そういった体験ができる場所は他にありませんか？あるいは、英語を話せる地元の方を見つけて、一緒に来てもらって、どのように繋がっているのか理解してもらうことは可能でしょうか？</p>
4	<p>町中が神楽を想起させる何かで満ち溢れているかと言えばそうでもないが、ツアーに参加し説明を受けることで神楽を大切にしている町であることは一定理解出来ました。</p>

## 2. 実施内容と結果

## (3) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する可能性調査(実地試行) 第2回

## 9. 「神楽と生きる町」という文脈の伝わり方

神楽が地域の暮らしや信仰と結びついていることについて、十分に理解・実感できたでしょうか。そう感じた理由、または分かりにくかった点をお聞かせください。

回答者	ご意見
5	<p>地域の方々の立ち居振る舞いを通して、神楽がこの土地の人々の生活や信仰と深く結びついていることを強く感じました。観客の一人が「こんな寒い中、なぜ神楽の練習をするのですか」と尋ねた際、年配の演者の方が「それが当たり前だから。好きなんでしょうね」と答えられた場面は特に印象的で、神楽がごく自然に地域に根付いていることを象徴していると感じました。</p> <p>西洋的な視点から見ると、金銭的な報酬がない中で多くの時間と労力を神楽の稽古に費やす理由は、必ずしも分かりやすいものではないかもしれませんが、今回の体験を通して、神楽がこの地域の歴史や土地の気質そのものと深く結びついており、人々が誇りを持って受け継ぎ、他者と分かち合おうとしていることがよく伝わってきました。</p> <p>一つの提案として、海外のお客様に向けて比較的な文脈を補足していただくことも有効だと感じます。現在、神楽が他の多くの地域では日常的に体験できるものではなく、特に地域住民によって生きた文化として継承されている例は限られていることを説明することで、この町の特別さがより明確に伝わると思います。</p>
6	<p>年間の行事は分かりましたが、暮らし(現代の日常)との関連性が見えない(体感する機会もない)ので、「神楽と生きる」というキャッチフレーズのイメージまでは到達できなかったです。</p>
7	<p>Our Town is ALIVE with Kaguraはもう一つの案になるのではないかとおみます。とても実感できました。</p>
8	<p>この点については、現状では十分に伝わっていないと感じました。知識のある通訳ガイドであれば補足説明で補える可能性はありますが、ツアー構成として、より明示的に示す必要があります。</p> <p>伝承館では神楽が4分野の一つに留まっているため、生活との結びつきを強調するストーリー展開が求められます。</p> <p>また、神楽団が70団体あると説明されても、実際に触れるのが有田神楽団のみであれば、参加者は誤解する可能性があります。若いガイド自身の神楽体験や、絵付け体験中の団員との会話は、その理解を深める重要な機会です。</p> <p>こうした小さな交流の積み重ねと、整理された物語によって、**「神楽と生きる町」**という概念が伝わると考えます。</p>

## 2. 実施内容と結果

## (3) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する可能性調査(実地試行) 第2回

## 10.北広島町コンテンツの「商品としての核」

北広島町の体験全体を振り返って、「このツアーの核（売り）になる」と感じた要素は何でしょうか。その理由とあわせてお聞かせください。

回答者	ご意見
1	夜に神社で間近に神楽を鑑賞でき、神楽団と交流できること。できれば、松明などがあり、神社の社殿で鑑賞できれば雰囲気によりよい演出になると思われる。
2	設問9に書きましたが、「里山」と呼ばれる広島の間接地を訪ねて、そこに住む人たちの心の中心にある「稲作」「神」「神楽」を1日半のツアーの中で間近に触れることができることに、核があると思います。 もちろん、このツアーに参加されるゲストの興味が、「里山」にあるのか、「神楽」にあるのかというと、「神楽」になるのかな、と思います。そして神楽ファンでしたら、たまらないツアーになると確信いたします。
3	神楽、特に大蛇を間近で生で鑑賞し、衣装や面を実際に見て触れることができるのが最大の魅力です。面の絵付けも楽しかったです（ただし、この体験、意味、そして絵付けの理由について、もっと分かりやすい説明があれば良いのですが）。一日・一泊ツアーとしても良いかもしれません。
4	有田八幡神社での神楽鑑賞。城跡や伝承館は神楽鑑賞の価値を高めるためのオードブル・伏線と理解しました。
5	地元の演者の方々と直接触れ合える神楽体験こそが、本ツアー最大の強みだと感じました。こうした交流の様子を高品質な写真で撮影し、パンフレットや販促資料に活用することで、大きな訴求力を持つと思います。この要素はツアーの感情的な核となる部分であり、将来の参加者を強く惹きつけるでしょう。また、道の駅舞ロード(大太鼓)での太鼓体験・撮影機会も、非常に良いプロモーション素材になると考えます。
6	お若いですが学芸員さんとしっかり組んで設計していけたら、北広島独自のアプローチができるかもしれません。ご自身が生まれも育ちも、あの土地に根付いていること。ご自身が神楽をやるためにその土地に就職して、良さを伝えたいとあそこまで研究されていること。そのシンプルな熱意は、日本のみならず、海外の方が触れていただいた場合でも、感動と共感と敬意を持ってくださると思います。
7	神楽をやっている方々や地域の方々との交流が一番の価値であると思います。Broadwayに行ったらそのBroadwayスターと知り合いになったような気がします。
8	最大の訴求力は、やはりクライマックスとなる神楽公演です。 演者の技術と情熱、舞台設定が相まって、他にはない特別な体験となっています。 神楽の視覚的な魅力は、旅行会社や潜在顧客の関心を引く強力な武器です。 そこに「今も生き続け、進化する伝統」と「広島からアクセス可能な日本の原風景での没入体験」という物語が加わることで、非常に競争力の高い商品になると考えます。

## 2. 実施内容と結果

## (3) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する可能性調査(実地試行) 第1回

エリア② 山口市 開催日:10月17日(金)～18日(土)

## &lt;行程表&gt;

方面: 山口市

期間: 2025年10月17日(金)～2025年10月18日(土)

日次	月日曜	行程	食事
1	10/17 (金)	12:15 新山口駅 12:30 元祖かわらそばたかせ ごはん処りゅう庵 13:30 洞春寺 (①鷺流狂言実演 30分、②体験 30分、③+aの議論) 15:00 一の坂川、龍福寺、大内氏館跡 池泉庭園、イタリア食堂ベケ等 (演者とめぐる景勝地) 17:00 18:30 TONBO ① 鷺流狂言様、洞春寺様、 ② 事務局側(OUGI様、後藤様、ジャーマン様、JTB広島) ③ 中国運輸局様(3名)	朝: - 昼: ○ 夕: ○
		ご宿泊: 山口市内 湯田温泉泊	
2	10/18 (土)	~湯田温泉(散策) 09:00 チェックアウト	朝: ○ 昼: - 夕: -

## 2. 実施内容と結果

## (3) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する可能性調査(実地試行) 第1回

エリア② 山口市 開催日:10月17日(金)～18日(土)

&lt;参加者&gt;

(順不同・敬称略)

	区分	所属	名前	その他
1	山口関係者	山口鷺流狂言保存会	米本 太郎	
2		洞春寺	深野 宗泉	
3		株式会社インターン	岡藤 凜太郎	
4		留学生		
5		留学生		
6	有識者	ジャーマン・インターナショナル	ルース・マリー・ジャーマン	
7		株式会社OUGI	鈴木 雅己	
8		株式会社OUGI	加藤 亜祐美	
9		株式会社MAKES	後藤 直哉	
10	運営スタッフ	株式会社JTB広島支店	山口 啓介	
11		株式会社JTB広島支店	安藤 真雄	
12		株式会社JTB広島支店	竹村 純	
13		株式会社JTB山口支店	山本 洋介	
14	事務局	中国運輸局	柏木 実	
15		中国運輸局	山崎 慎平	
16		中国運輸局	中村 雪乃	

## 2. 実施内容と結果

## (3) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する可能性調査(実地試行) 第2回

## エリア② 山口市 開催日:1月22日(木)–23日(金)

## ＜行程表＞

ご旅行方面： 山口市

ご旅行期間： 2026年1月22日(木)～2026年1月23日(金) 1泊2日

日次	月日曜	行程	食事
2	1/22 (木)	10:30 出発 12:30 元祖かわらそば たかせ・ごはん処りゅう庵店(昼食) 13:30 出発 14:00 洞春寺到着 ・鷺流狂言紹介(発声・所作) ・鷺流狂言鑑賞 演目:「鬼瓦」  15:00 洞春寺見学 15:30 狂言師とめぐる景勝地(一の坂川等/地域が大切にしている虫の関係を伝える) 16:00 山口ふるさと伝承総合センター 16:30 龍福寺、池泉庭園等(当日変更:カフェ交流) 17:30 イタリア食堂ベケ(夕食&演者や地元の人との交流)  21:00 湯田温泉チェックイン  ご宿泊:湯田温泉	朝:○ 昼:○ 夕:○
3	1/23 (金)	09:00 チェックアウト 09:30 洞春寺 ・装束や面(おもて)に触れる体験 ・即興演目の指導、実演 12:30 ホテル梅乃屋 15:30 広島駅	朝:○ 昼:○ 夕:—

## 2. 実施内容と結果

## (3) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する可能性調査(実地試行) 第2回

エリア② 山口市 開催日:1月22日(木)–23日(金)

&lt;参加者&gt;

(順不同・敬称略)

	区分	所属	名前	1/22(木)	1/22(木)	その他
				宿泊	交流会	
1	事務局	中国運輸局	山崎 慎平		○	
2		中国運輸局	中村 雪乃		○	
3		中国運輸局	藤井 浩子			
4		中国運輸局	池田 竜太郎			
5	招請者	株式会社JIZO HAT	ポール・ウォルツシュ	○	○	ベジタリアン
6		元All About Japan社	キアラ・テルズオロ	○	○	ヴィーガン
7		ジャーマン・インターナショナル	リラ・クロフエンシュタイン	○	○	
8		ジャーマン・インターナショナル	ルース・マリー・ジャーマン	○	○	
9	有識者	株式会社OUGI	鈴木 雅己	○	○	
10		株式会社OUGI	加藤 亜祐美	○	○	
11		株式会社MAKES	後藤 直哉	○	○	
12		株式会社JTB	市川 功	○	○	
13	運営スタッフ	株式会社JTB広島支店	山口 啓介	○		
14		株式会社JTB広島支店	安藤 真雄	○		
15		株式会社JTB広島支店	道下 ひより	○		
16		株式会社JTB山口支店	山本 洋介		○	
17	通訳	通訳ガイド	佐藤 仁美	○		
18	交通事業者	八重タクシー	ドライバー	○		
19	山口関係者	山口鷲流狂言保存会	米本 太郎		○	
20		洞春寺	深野 宗泉		○	
21		maru旅遊社	丸本 華代		○	
22		TYSミックス	マイケル・シドニー		○	
23		山口観光コンベンション協会	眞田 直也			
24		山口観光コンベンション協会	古屋 剛			
25		山口通訳案内士	田村 瀬津子		○	
26		山口市観光交流課	藤山 正直		○	
27		山口市観光交流課	風間 康聖		○	
28		山口地区タクシー協会	大隅 正和		○	
29		湯田温泉旅館協同組合	吉本 康治		○	
30		山口朝日放送株式会社	竹本 和仁			

## 2. 実施内容と結果

### (3) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する可能性調査(実地試行) 第2回

#### ■ 山口市（洞春寺×鷺流狂言）のアンケート内容

この度は、『KYOGEN'S BATON DID YOU KNOW KYOGEN?～600年以上続く狂言 地域の魅力と文化伝承のバトン～』のモニターツアーへご参加頂き、誠にありがとうございました。ご参加頂いた皆様のご意見やご感想を頂戴し、より充実したツアーになるように改善して参ります。つきましては、下記の質問へご回答頂けますようお願い致します。※率直なご感想をお伺いさせて頂きたく、フリー記述にさせて頂いております。【1/29(木)】までにご回答頂けますようご協力よろしくお願い致します。

#### 1. 価格設定（15万円）に対するブラッシュアップポイント

本ツアーは、1名あたり15万円での販売を想定しています。この価格で販売するために、「特にブラッシュアップすべきシーン・要素」はどこだとお考えでしょうか。改善すべきコンテンツを選んで、また、その理由をあわせてお聞かせください。

※旅行代金には鷺流狂言体験代・食事代・宿泊代・多言語ガイド代が含まれます。（複数選択可）

- |                                       |                                   |  |
|---------------------------------------|-----------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 元祖かわらそば たかせ  | <input type="checkbox"/> 狂言鑑賞&洞春寺 | <input type="checkbox"/> 狂言の演者と巡る景勝地   |
| <input type="checkbox"/> ふるさと伝承総合センター | <input type="checkbox"/> 龍福寺      | <input type="checkbox"/> イタリア食堂ベケ      |
| <input type="checkbox"/> 山口湯田温泉(宿泊)   | <input type="checkbox"/> 装束体験     | <input type="checkbox"/> 狂言体験(発声・所作など) |
| <input type="checkbox"/> その他          |                                   |  |

#### 2. 価格設定（15万円）に対するブラッシュアップポイントの理由

理由をお聞かせください。

#### 3. スケジュール（体験時間・移動時間）について

ツアー全体の時間配分や、移動時間の長さ・テンポについて、改善した方がよいと感じた点があればご意見をお聞かせください。

#### 4. お食事について

本ツアーにおけるお食事内容について、味・内容・演出・地域性の観点からご意見をお聞かせください。商品価値を高めるために改善できる点があれば併せてお書きください。

#### 5. 演出について

本ツアー全体の演出（雰囲気づくり、進行、見せ方等）について、印象に残った点、または改善すべき点があればご意見をお聞かせください。

#### 6. ストーリーブックについて

配布したストーリーブックについて、内容の分かりやすさ、情報量、体験理解への貢献度についてご意見をお聞かせください。改善点があれば具体的にご記載ください。

#### 7. ツアーコンセプトについて

本ツアーのコンセプトについて、「伝わりやすさ」「独自性」「訪日外国人向け商品としての魅力」などの観点からご意見をお聞かせください。

#### 8. 狂言の理解しやすさについて

今回の狂言体験について、内容や面白さは理解しやすかったですか。そう感じた理由、または分かりにくかった点を具体的にお書きください。

#### 9. 狂言の魅力(面白さ・知的満足度)について

狂言のどのような点に魅力や面白さを感じましたか。(例：ストーリー、即興性、演者の表現、笑いの質等)印象に残った点を自由にお書きください。

#### 10. 山口市コンテンツの「商品としての核」

山口市の体験全体を振り返って、「このツアーの核（売り）になる」と感じた要素は何でしょうか。その理由とあわせてお聞かせください。

## 2. 実施内容と結果

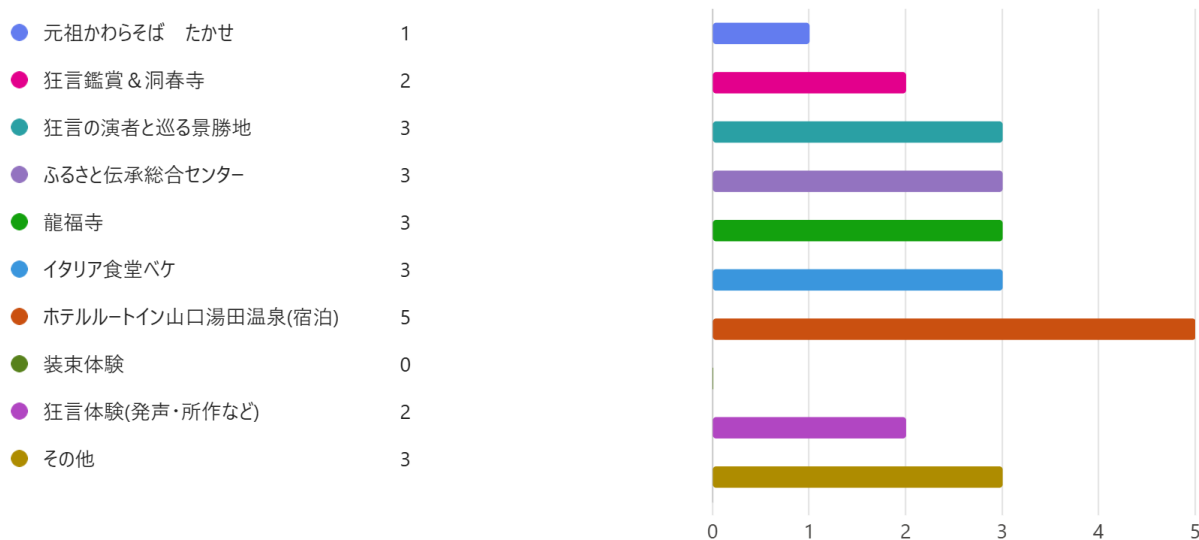
### (3) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する可能性調査(実地試行) 第2回

#### ■ 山口市（洞春寺×鷺流狂言）のアンケート結果 回答者7名

##### 1. 価格設定（15万円）に対するブラッシュアップポイント

本ツアーは、1名あたり15万円での販売を想定しています。この価格で販売するために、「特にブラッシュアップすべきシーン・要素」はどことお考えでしょうか。改善すべきシーンやコンテンツを選んで、また、その理由をあわせてお聞かせください。  
 ※旅行代金には神楽鑑賞代・体験代・食事代・宿泊代・多言語ガイド代・ツアー中のタクシー代が含まれます。（複数選択可）

- |                                       |                                   |  |
|---------------------------------------|-----------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 元祖かわらそば たかせ  | <input type="checkbox"/> 狂言鑑賞&洞春寺 | <input type="checkbox"/> 狂言の演者と巡る景勝地   |
| <input type="checkbox"/> ふるさと伝承総合センター | <input type="checkbox"/> 龍福寺      | <input type="checkbox"/> イタリア食堂ベケ      |
| <input type="checkbox"/> 湯田温泉(宿泊)     | <input type="checkbox"/> 装束体験     | <input type="checkbox"/> 狂言体験(発声・所作など) |
| <input type="checkbox"/> その他          |                                   |  |



回答者	価格設定（15万円）に対するブラッシュアップポイント
1	湯田温泉(宿泊);その他;
2	湯田温泉(宿泊);
3	イタリア食堂ベケ;湯田温泉(宿泊);龍福寺;狂言の演者と巡る景勝地;
4	その他;
5	狂言の演者と巡る景勝地;ふるさと伝承総合センター;龍福寺;イタリア食堂ベケ;湯田温泉(宿泊);その他;
6	狂言鑑賞&洞春寺;ふるさと伝承総合センター;イタリア食堂ベケ;狂言体験(発声・所作など);
7	元祖かわらそば たかせ;狂言鑑賞&洞春寺;狂言の演者と巡る景勝地;ふるさと伝承総合センター;龍福寺;湯田温泉(宿泊);狂言体験(発声・所作など);

## 2. 実施内容と結果

## (3) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する可能性調査(実地試行) 第2回

## 2. 価格設定（15万円）に対するブラッシュアップポイントの理由

理由をお聞かせください。

回答者	理由
1	<p><b>湯田温泉(宿泊);その他;</b></p> <p>◇15万円の価格設定につきましては、宿泊と食事が肝心だと思います。  ・夕食は経験しませんでしたので、コメントなし。  ・宿泊施設ですが、やはりもう少し上のランクのホテルもしくは温泉旅館が良いと感じました。ベッドは寝心地良かったですし、全体的にきれいなホテルでしたが、温泉には韓国人の団体様が大勢入っておられ、浴槽にゴム草履を履いて入るなど、マナーをご存じなくて、がっかりの状況でした。</p> <p>◇狂言体験において、①衣装を着用時の写真、②即興狂言披露の際の動画をプロが撮影し、お土産として持ち帰っていただくなどはいかがでしょうか。</p>
2	<p><b>湯田温泉(宿泊);</b></p> <p>ホテル自体は悪くないですが、ちょっと山口感が少なくかもしれません。最終日にランチ食べた旅館のほうが雰囲気よさそうでした。</p>
3	<p><b>イタリア食堂ベケ;湯田温泉(宿泊);龍福寺;狂言の演者と巡る景勝地;</b></p> <p>狂言の演者と巡る景勝地：行程表では30分と記載あったが実際はもっと長かった。どこの地方都市でも見かける光景のため特別感を感じなかった。</p> <p>龍福寺：奈良や京都あるいは宮島の厳島神社などと比較し優位性を感じなかったのであえて洞春寺に加えて案内すべきか必要性を感じなかった。</p> <p>ベケ：お値段（@1ドリンク付7,000円）とおりの味・雰囲気では15万円のツアー代金にはふさわしいとは感じなかった。（決して美味しくない訳ではない。ティラミスはとても美味しかったです）</p> <p>今回は同時に大人数が来店し、スタッフ要員も不足していたらしいのでしかたないが、それぞれの料理や食材についてのストーリーの説明などあっても良かったのでは。</p> <p>ホテル：レストラン同様でホテル自体は清潔感もあり温泉入浴もできるので良かったですが、ツアーフィーに見合わない。清潔感のある旅館の和洋室くらいを提供したい</p>
4	<p><b>その他;</b></p> <p>全体として、各アクティビティはよく構成されており、価格に見合った内容であると感じました。訪問時は非常に寒い天候でしたが、天候が良い時期であれば、さらに魅力的で満足度の高いツアーになるだろうと感じました。</p> <p>特に印象的だったのは、米本さんの関わりです。無形文化財保持者であるというご経歴は、このツアーに非常に大きな価値と深みを与えています。演者の方々にに対して丁寧に狂言を解説されていた時間は、とても特別で貴重な体験でした。特定の方を強調することに違和感を感じられる場合もあるかと思いますが、海外のお客様にとっては、その価値や背景を明確に伝えることで、ツアーの魅力がより伝わるのではないかと感じました。</p> <p>価格とは直接関係しない点かもしれませんが、山口が新幹線の停車駅から近いという点も、お客様にとって大きな魅力だと感じました。他の旅行計画と組み合わせやすい点を伝えることで、安心感や利便性を感じていただけたと思います。</p>
5	<p><b>狂言の演者と巡る景勝地;ふるさと伝承総合センター;龍福寺;イタリア食堂ベケ;湯田温泉(宿泊);その他;</b></p> <p>受け入れ人数によって街歩きを担当する人物や訪問先、また、懇親会の食事箇所は調整が必要であると感じました。今回のように人数が多すぎると、ガイドとのコミュニケーションが希薄になり、ただのそぞろ歩きになってしまい、特別感や思い入れが生まれにくいと感じました。受け入れの人数をどのように設定するかで演出も変わると感じます。</p>

## 2. 実施内容と結果

## (3) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する可能性調査(実地試行) 第2回

## 2. 価格設定（15万円）に対するブラッシュアップポイントの理由

理由をお聞かせください。

回答者	理由
6	<p><b>狂言鑑賞&amp;洞春寺;ふるさと伝承総合センター;イタリア食堂ベケ;狂言体験(発声・所作など);</b></p> <p>このツアーのあらゆる要素は素晴らしい内容を持っており、お一人あたり15万円の価値を十分に生み出せる可能性があると感じました。前回の評価でお伝えした送迎車両についてのコメントもご確認いただきたいのですが、このツアーは広島駅前からスタートし、最初の寺院へ直接向かう形にすることも可能だと思います。</p> <p>1) 狂言鑑賞について 狂言の鑑賞は素晴らしく、物語の説明も十分でちょうど良い分量でした。この部分は、参加者が公演を存分に楽しめるよう、楽しく分かりやすく通訳されることが非常に重要だと思います。</p> <p>公演は2回に分け、間におまんじゅうとお茶の休憩を挟む形も良いかもしれませんが、あるいは、2回の公演の間に陶芸作品を見に行き、天気が良ければ屋外で、あるいはお寺の中でお茶を楽しむのも素敵だと思います。</p> <p>お寺の入口は美しく、広々としていて、非常に清潔感がありました。狂言舞台の後方にある屏風も素晴らしいので、その絵柄の物語についても説明があると良いと思います。</p> <p>僧侶の方は、もう少しきりっとした装いだと、全体の特別感がさらに高まるように感じました。関わる方全員が整った身なりで清潔感のある印象を与えることで、体験の上質さがより強調されると思います。</p> <p>馬やヤギを見に行く必要はあまり感じませんでした。少し汚れて見えたためです。ただし、子どもが参加しているグループであれば、丘の上に行くのは楽しい体験になるかもしれません。</p> <p>2) ふるさとセンターについて ふるさとセンターはとても良かったですし、2階の狂言ゲームはぜひ皆さんに体験していただきたいです。とても楽しく、米本さんご本人が登場するのも素晴らしいポイントでした。</p> <p>ここでは、展示されている美術品や萩焼についての丁寧な説明があるとさらに良いと思います。また、ここでお茶や軽なお菓子などを用意して、少し休憩できる時間があると喜ばれるのではないのでしょうか。</p> <p>3) 食事について 猫が自由に歩き回っていることを気にされる参加者もいるかもしれません。お料理はとても美味しかったです。提供までに時間がかかりすぎる点が気になりました。ツアー対応の際にはスタッフをもう一人増やすなどの工夫があると良いと思います。たとえ食事代が多少上がったとしても、スムーズに料理が提供される方が満足度は高まるはず。また、パンとバター、あるいはバルサミコオイルなどが最初に出てくると、料理を待つ間も楽しめて良いと思います。</p> <p>4) 衣装体験について 体験内容は本当に素晴らしく、参加者全員がとても楽しんでいました。進行のテンポも良かったです。ただ、通訳が入る場合には、衣装の背面にあるデザインの意味、袴とは何か、どのような場面で着用されるのか（「スーツ」や「タキシード」の例えはとても分かりやすかったです）、色の違いと日本の歴史や文化との関係、そして衣装がどこでどのように作られているのか、といった点に焦点を当てて説明していただくと良いと思います。</p> <p>その後で動きの練習や衣装の試着に入ると、理解が深まるはず。衣装が足りない場合には、衣装を着用しない参加者も物語の中の役割に参加できる形にするのも良いかもしれません。</p> <p>また、きちんとした身なりの女性スタッフが着付けを手伝ってくださるのは、体験の格を上げ、参加者に特別感を与える素晴らしい演出だと感じました。衣装を着ない参加者も、米本さんのように声をしっかり出して狂言のセリフを練習する体験は、きっと楽しめると思います。</p>

## 2. 実施内容と結果

## (3) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する可能性調査(実地試行) 第2回

## 2. 価格設定（15万円）に対するブラッシュアップポイントの理由

理由をお聞かせください。

回答者	理由
7	<p><b>元祖かわらそば たかせ;狂言鑑賞&amp;洞春寺;狂言の演者と巡る景勝地;ふるさと伝承総合センター;龍福寺;湯田温泉(宿泊);狂言体験(発声・所作など);</b></p> <p>① 山口という目的地の位置づけについて</p> <p>山口のように海外ではまだ十分に知られていない目的地においては、「訪れる価値のある場所である」という信頼性や背景を示すことが重要であると考えます。山口の場合、その魅力の核となるのは、日本史に詳しくない方々にとって意外性のある、歴史的な重要性にあるのではないのでしょうか。</p> <p>詳細に立ち入らずとも、大内家の歴史を紹介することで、なぜ現在では比較的静かな地方都市に見える山口が、14～15世紀にこれほど重要かつ富裕な地域であったのかを十分に説明することができます。</p> <p>徳川幕府の鎖国政策については耳にしたことのある海外の方も多く、大内家が当時アジア各地と持っていた交流やつながりは、大きな驚きと関心をもって受け止められると思われます。</p> <p>常栄寺雪舟庭園および瑠璃光寺は、西洋の旅行者にとって非常に魅力的な建築・文化遺産の好例です。「禅庭園」は海外でも非常に人気の高い概念であり（ウェブ検索キーワードとしても有効）、これらの訪問を通じて「西の京」という呼称が決して誇張ではないことを直感的に理解してもらうことができます。</p> <p>また、大内家による芸術文化（能楽など）への庇護は、海外貿易によってもたらされた富と結びつけて説明することで、物語としても非常にわかりやすくなります。大内義隆の悲劇的な最期と、それに続く毛利氏の台頭、洞春寺との関係へと話をつなげることも可能であり、全体として一貫した歴史的ストーリーを構築できると考えます。</p> <p>優れたコピーライティングと的確な通訳があれば、これらは非常に印象的でドラマ性のある物語となり、山口の歴史的価値を明確に示すと同時に、鷲流狂言の歴史的系譜を理解するための舞台設定としても有効です。</p> <p>② 主要見どころの組み込みについて</p> <p>山口市内の比較的知られていないエリアを紹介したいという意向は理解しておりますが、実情としては、ニューヨーク・タイムズで取り上げられた後であっても、山口の主要な観光地は西洋の旅行者にはほとんど知られていません。</p> <p>本ツアー参加者が山口で追加滞在をする可能性は高くないと考えられるため、瑠璃光寺五重塔や常栄寺雪舟庭園を訪問しないまま帰ることになれば、不満を感じる方も少なくないと思われます。</p> <p>この二つの名所をしっかりと行程に組み込み（特に常栄寺雪舟庭園では、茶堂でのお抹茶サービスを含めることで）、満足度と「体験価値」を高めることができ、結果として他のよりローカルな要素に過度な負担をかけずに済むのではないのでしょうか。</p> <p>③ 洞春寺の魅力をより強調することについて</p> <p>洞春寺および深野住職の存在は、現状では十分に活かしきれていないように感じました。</p> <p>洞春寺の歴史は、参加者がいかに貴重で歴史的価値の高い場所で特別な体験をしているかを実感させる要素であり、毛利氏との関係は、江戸時代における能・狂言の継承とも自然につながります。</p> <p>また、騎兵隊による刀傷は、山口の歴史が明治維新にまで連続していることを示す非常に生々しい痕跡であり、狂言という芸能が、時代の大きな変動や権力者の興亡の中でも「日常」を描き続けてきたことを象徴的に伝えるものです。</p> <p>深野住職ご自身の歩みも、海外の来訪者にとって非常に魅力的な物語です。哲学的な議論に深入りしなくとも、幼少期に奈良の大仏に強い憧れを抱いたことや、隣接する児童養護施設との関わりなどを紹介することで、住職の芸術活動が自然に理解され、「少し変わったお坊さん」という印象ではなく、一本筋の通った人物像として受け取られるでしょう。</p> <p>同様に、水ノ上窯にて陶工の方と直接交流する機会があれば、行程にさらなる価値を加えることができると考えます。</p> <p>※次ページに続く</p>

## 2. 実施内容と結果

## (3) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する可能性調査(実地試行) 第2回

## 2. 価格設定（15万円）に対するブラッシュアップポイントの理由

理由をお聞かせください。

回答者	理由
7	<p>※次ページより ④ 狂言体験全体について</p> <p>狂言体験全体の構成は非常によく練られており、完成度の高い内容であると感じました。一方で、最大の課題はやはり言語の壁であり、これをどのように乗り越えるかが、商品価値を大きく左右すると考えます。</p> <p>初回セッションについて</p> <p>「鬼瓦」を演目として上演する前に、実物の鬼瓦を全員に示さなかった点は、やや惜しいと感じました。中庭のすぐ外に非常に良い実例があっただけに、事前説明があれば理解が深まったと思われる。</p> <p>上演時間が短い点は海外の方にとって好ましい一方、内容が理解できないままでは、退屈あるいはフラストレーションを感じてしまう可能性があります。小声での同時通訳、もしくは演目をいくつかのパートに分けて逐次解説する方法も検討に値するでしょう。</p> <p>「狂言の精神性を自然に感じ取ってもらう」ことを前提とするのは、海外の方にはやや難しいかもしれません。この点については、日本語をほとんど理解しない層を対象にしたテストを行うことを強くおすすめします。</p> <p>最後の「笑い・泣き」の練習は、翌日の体験への良い導入となる、非常に良い締めくりでした。</p> <p>二回目セッションについて</p> <p>装束体験 装束の説明、文様の意味、制作工程、職人についての解説は非常に興味深く、本体験の中で最も印象に残った部分でした。通訳を介すると時間は長くなりますが、個人的には短縮せず、丁寧に行っていただきたい内容です。</p> <p>狂言体験（発声・所作） ミニ演目の体験は想像以上に楽しいものでしたが、日本語学習者（中級以上）には適している一方、一般的な海外旅行者にとっては発音や意味の理解が難しく、心理的な負担になる可能性があります。</p> <p>そこで、以下のような工夫が考えられるのではないのでしょうか。 台詞の大部分は演者・指導者が担当し、参加者は非常に短い決まり文句や掛け声のみを発する 扇を使った所作など、言語に依存しない身体表現により重点を置く 前日に行った「笑い・泣き」の要素を必ず取り入れる 狂言のリズムや抑揚を使いながら、内容は簡単な英語で参加者自身の物語を語る形式 （通訳が意味を演者に伝え、対話型の体験とする） 工夫次第では、非常にインクルーシブで笑いの生まれる体験となり、新しい狂言表現が生まれる可能性もあると感じます。</p> <p>⑤ その他の行程について</p> <p>狂言演者と巡る景勝地 天候の影響もあったかもしれませんが、ルート自体は現代的で交通量も多く、特段の魅力を感じにくい印象でした。</p> <p>ふるさと伝承総合センター ツアーのテーマとの関連性が分かりにくく、訪問意義を理解することができませんでした。同エリアであれば、地元の伝統的な商店を訪ね、店主と会話をする方が、海外の方には魅力的ではないかと思われます。</p> <p>龍福寺 歴史的価値の高い寺院ではありますが、海外の方はすでに多くの寺院を見学している可能性が高く、強い印象を残すには相当な工夫が必要です。本ツアーにおいては、瑠璃光寺を優先する方が適切ではないでしょうか。</p> <p>※次ページに続く</p>

## 2. 実施内容と結果

## (3) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する可能性調査(実地試行) 第2回

**2.価格設定（15万円）に対するブラッシュアップポイントの理由**

理由をお聞かせください。

回答者	理由
7	<p>※次ページより</p> <p>⑥ その他の提案</p> <p>移動手段 トヨタ・アルファードのような車両を用いた移動は、体験の質を高めるプレミアムオプションとして有効です。現時点で地元事業者の投資が難しい場合は、広島市内の事業者と連携し、市場性を確認する方法も考えられます。</p> <p>宿泊施設 旅行会社やブティック系DMCが提案しやすくなるよう、松田屋ホテル、山水園、古稀庵などの宿泊オプションを用意することを検討してもよいと思われます。</p> <p>雨天時の代替案</p> <p>山口情報芸術センター（YCAM） + 狐の足あと（足湯喫茶）</p> <p>山口県立美術館 + Log Coffee Roasters（モダン）またはドマーニ（レトロ）</p> <p>焼き物巡り - 宮野上周辺 - 明善窯</p>

## 2. 実施内容と結果

## (3) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する可能性調査(実地試行) 第2回

## 3. スケジュール(体験時間・移動時間)について

ツアー全体の時間配分や、移動時間の長さ・テンポについて、改善した方がよいと感じた点があればご意見をお聞かせください。

回答者	ご意見
1	<p>◇ツアーの始まりはどこになるのでしょうか？今回は瓦そば「たかせ」から始まりましたが、ツアーのイントロダクションはどこで聞けるのでしょうか？瓦そばの説明などもゆっくり聞くことができませんでした。</p> <p>◇1日目の狂言鑑賞の後の町歩き（ふるさと伝承センター、龍福寺含む）が、長すぎる気がしました。寒かったという理由も大きかったと思いますが、途中でカフェに入って休めたのは良かったです。</p> <p>◇この町歩きの時間を短くして、装束の紹介は1日目に行う。2日目はすぐに衣装を着て、即興演目の準備をする。ここにしっかり時間をかけて、ある程度の演目が完成・披露できたら、ゲストの満足感もさらに高まるのではないかと思います。</p>
2	<p>こちらもおそらく1日一泊向けのツアーだと思いました。また、逆順に行うと良いのではないかと思います。駅で迎えに来てもらい、街のレトロな場所、ふるさと伝承総合センター、お寺などを散策し、その後、川沿いを歩いて狂言体験の会場まで行きます。そうすることで、まず狂言師と個人的に交流し、彼の演技を観て、そして実際に狂言を体験することができます。その後、イタリアンレストランでくつろぎ（特に、主催者は英語が話せるので、これは大きなメリットです）、最後に温泉でリラックスして眠ります。そして、翌日は何をするかを自分で決めることができます。</p>
3	<p>町歩きの時間が長すぎた 夕食も今回は仕方ないが長すぎた それぞれの見学・体験・食事個所間の移動時間は問題なし</p>
4	<p>全体のスケジュールは、ツアーの所要時間に対して適切で、よくバランスが取れていると感じました。各行程に無理がなく、ゆとりをもって楽しめる構成でした。英語通訳を含める場合には、多少時間が延びる可能性もあるかと思いますが、それを考慮しても、全体として十分な余裕があり、落ち着いて体験できる内容だと感じました。</p>
5	<p>ベケでの滞在時間がかなり長かったと感じます。オペレーション部分含めて、何人での滞在がベストか探ると良いと思います。</p>
6	<p>とてもよかったですと思います。</p>
7	<p>全体としてスケジュールは概ね問題なく機能していたと感じた。ただし、前述のとおり、洞春寺境内外で訪問している一部の場所については、再検討の余地があると思われる。</p>

## 2. 実施内容と結果

## (3) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する可能性調査(実地試行) 第2回

## 4. お食事について

本ツアーにおけるお食事内容について、味・内容・演出・地域性の観点からご意見をお聞かせください。商品価値を高めるために改善できる点があれば併せてお書きください。

回答者	ご意見
1	◇瓦そば：地元のお料理として、大変面白く、喜ばれるお料理だと思います。お料理の詳しい説明が事前になかったのが残念です。(ストーリーブックにはあります)
2	本当に感動しました。ヴィーガン瓦そばを食べられたこと（ツアー参加者全員と同じメニューを食べられるのはすごく重要！）に加え、夕食と翌日の昼食もとてもよく考えられていて、美味しくてベジタリアンにも優しいものでした。山口の本当の味を味わえた気がします。
3	かわらそばは問題や改善の必要性を特段感じなかったです。 夕食についての感想は2で回答の通り 改善点として、ご夕食は宿泊先のホテルか旅館（ルートインとは別の）で和洋会席など提供しては？ 2日目に立ち寄った蒸し料理も一品として加えては？
4	山口での食事体験はどれもとても印象的でした。元祖かわらそば たかせは特にユニークで、地域性を強く感じられる特別な体験でした。従来どおり、事前にアレルギー確認を行っておくことで、すべてのお客様に安心して楽しみいただけたと思います。 イタリア食堂ベケも非常に魅力的で、ご夫婦で営まれている温かい雰囲気が印象的でした。お二人にお会いできたことを、とてもありがたく感じました。
5	瓦そばは、シェアして食べるスタイルが一般的のようなので、知らない人同士でつつき合うことの是非を考えておいても良いかもしれないです。（個別での提供が可能か？もしくは、取り分けの箸やトングなど？を添えるか。また、そういう食べ物である、文化体験である。というのをきちんとご説明するかなど）特に、イタリア人の方は大皿から取る習慣がないとも言われており、気にしてみても良いかもしれません。
6	パリをテーマとしているカフェでの休憩のようなブレイクをところどころで加えれば良いかと思います。
7	「元祖かわらそば たかせ」での食事は非常に満足度が高かった。一方で、景観の良い場所での食事に変更できれば、体験価値の向上につながるのではないかと感じた。 瓦そば柳屋 山口 一の坂川店において、貸切予約が可能かどうか検討の余地があると思われる。 イタリア食堂ベケについては、雰囲気・内容ともに非常に良く、本ツアーに適した選択であった。

## 2. 実施内容と結果

## (3) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する可能性調査(実地試行) 第2回

## 5. 演出について

本ツアー全体の演出（雰囲気づくり、進行、見せ方等）について、印象に残った点、または改善すべき点があればご意見をお聞かせください。

回答者	ご意見
1	◇なんと言っても洞春寺の堂内で鷺流狂言を体験できるという点。立派な本堂のきらびやかな吊灯籠の下で、本物の鷺流狂言を鑑賞、体験できることの特別感がすばらしいと思いました。米本さんの進行が、ゆったりとして、指導に慣れていらっしゃる、外国人にとってもわかりやすく楽しんでいただけると確信いたします。
2	演目の演出、選曲、そして長さも素晴らしかったです。狂言に精通したガイドの力添えが必要ですが、シドニーさんが同席してくださったのは幸運だったと思います。彼女のおかげで、さらに思い出深い公演になったと思います。
3	狂言の先生自ら分かりやすくご説明いただいたので、内容が違わず伝わるなら、狂言も衣装体験もいい内容であったと思います。他の事例を参照すると、いずれも予めあらかじめのご説明があったり、バックに多言語で翻訳したセリフが投影されたりしていたので同様の設えは必要かとおもいました。
4	ツアー全体の演出は、温かく本物らしい雰囲気を生み出しており、とても良かったと感じました。各訪問地が近くにまとまっていること、美しい川沿いの景観、そして立ち寄った建物それぞれの心地よい雰囲気が、全体の流れを自然で落ち着いたものにしていました。作り込まれた印象はなく、リラックスして山口の魅力を感じられる構成だった点が印象に残りました。
5	狂言体験については、米本さんのお話や進行、体験の持っていく方など、とても素晴らしかったです。一方で、追加で発生した輿に乗せたり、太鼓を叩かせたり、というアディショナルについて、どういった意図でそれが紐づいているのかは、ツアー造成側で意図しておいたほうが良いと思います。 また、端々に歴史上の人物の話がかなり濃く出てきますが、日本人でも関係性をしっかり把握するのはとても難しい部分だと思います。ただ情報として流すのではなく、狂言が軸なのであればそれに対して「何をした人」で、「どういう関係性があり」だからこそ、名前を覚えて帰ってほしいのである。という紐付けをこちらできちんと明治する必要があると思います。
6	素晴らしかったです。最後のレストランのランチもよかったです。その温泉旅館での宿泊は難しいでしょうか？温泉旅館の雰囲気は今回のツアーにピッタリ当てはまるかと思えます。
7	狂言関連コンテンツについては、（設問2で触れた言語面の課題はあるものの）全体として非常に良く構成・演出されていたと感じた。一方、その他のコンテンツについては、訪問場所の選定、ストーリー構築、全体の見せ方の点で、さらなる工夫が必要であると思われる。

## 2. 実施内容と結果

## (3) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する可能性調査(実地試行) 第2回

## 6. ストーリーブックについて

配布したストーリーブックについて、内容の分かりやすさ、情報量、体験理解への貢献度についてご意見をお聞かせください。改善点があれば具体的にご記載ください。

回答者	ご意見
1	◇字が小さく、高齢者のゲストなどには読みにくいと思う。
2	広島のものと同様に、山口のものもブラッシュアップできると良い。 ツアーの価値を反映し、正しく伝わるようにするには、経験豊富なライターに依頼する必要がある。
3	そもそも狂言とは何なのか？の説明がないので冒頭説明が欲しい。 ターゲットが日本文化に対しての知的好奇心が旺盛で伝統芸能・文化に対する探求心が強く、一定予備知識のある層をイメージするならば情報が薄く、訪日のリピーターで行ったことない日本の田舎や伝統芸能に触れてみたい層であれば個々の説明が重いのではないかと感じました。
4	日本語と英語の両方で用意されていたストーリーブックは、とてもありがたく感じました。ツアーに参加する前は狂言についての知識がほとんどなかったため、このストーリーブックによって理解と関心を大きく深めることができました。 英語タイトルについては、より自然で親しみやすい表現として、下記のような案も考えられるかと思います。 “Do You Know About Kyogen? A Journey to Experience Kyogen, a Tradition Spanning Over 600 Years Filled with Regional Charm and Cultural Heritage.” それ以外についても、ストーリーブックは非常に読みやすく、内容も充実していました。特に米本さんの背景紹介は印象的で、鷲流狂言を長年にわたり守り続けてこられたご功績が強く伝わってきました。 今後の検討点として、狂言の台本や簡単なあらすじを掲載することも、海外の読者にとって理解を深める助けになるかもしれません。
5	北広島と同様の感想です。
6	素晴らしかった。
7	英語タイトルの「Kyogen's Baton」は、再検討の方がよいと感じた。 内容自体は概ね良好であるが、価格帯および想定顧客層に見合った文体・表現に書き直す必要があると思われる。 狂言に関する記述はやや重複が多く、改善の余地がある。 例えば、日本全体における狂言の歴史や、山口における狂言の位置づけ、能楽との関係などを整理して紹介することで、理解が深まると考えられる。 現状では、狂言について既に知っていることを前提としている印象があり、初めて触れる来訪者には基礎的な説明が不可欠である。

## 2. 実施内容と結果

## (3) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する可能性調査(実地試行) 第2回

## 7. ツアーコンセプトについて

本ツアーのコンセプトについて、「伝わりやすさ」「独自性」「訪日外国人向け商品としての魅力」などの観点からご意見をお聞かせください。

回答者	ご意見
1	◇600年以上続く狂言～地域の魅力と文化継承のバトン～ というタイトルがストーリーブックに書かれています。文化継承、という点が、北広島町の神楽ほど強調されていないと感じました。米本さんから鷺流の歴史について簡単なご説明はありましたが、大名を演じられた方がお父様、との説明もありませんでした。
2	繰り返しになりますが、良いガイドがあれば、山口の歴史と狂言をもう少しうまく結び付けることができるかもしれませんが、全体的には意味が通ります。
3	先生からご説明・解説いただく時間が多かったので狂言の魅力伝えるには十分な接点があったのではないかと思います。
4	ツアーコンセプトは非常に明確で、魅力的だと感じました。対象となるお客様層はやや限定的かもしれませんが、その独自性こそが最大の強みだと思います。以前も触れましたが、無形文化財保持者である米本さんから直接学べる体験であることを強調することで、海外のお客様にも、この体験の希少性や価値がより伝わるのではないかと感じました。
5	鷺流狂言の(米本さんの)、伝わりやすさ、コンセプトはとても分かりやすかったです。無理なく声を出したり、笑えるということは、日本人でも外国人でも変わらず幸せな時間で、大切なことだと感じました。なので、全体のコーディネートも、きちんと狂言の世界を楽しむためのものとして丁寧に整理していければ、より密度の濃い体験になると思います。
6	素晴らしいです。
7	「600年の伝統」というコンセプトは、その6世紀にわたる歴史的背景を、山口に残る建築や庭園を通じて語ることで、より理解しやすくなると感じた。 また、明治維新以降に狂言が衰退した経緯や、米本氏による再興への取り組みを紹介することで、「バトンを受け継ぐ」というテーマへの共感がより強まると思われる。

## 2. 実施内容と結果

## (3) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する可能性調査(実地試行) 第2回

## 8. 狂言の「理解しやすさ」について

今回の狂言体験について、内容や面白さは理解しやすかったですか。そう感じた理由、または分かりにくかった点を具体的にお書きください。

回答者	感じた点
1	<p>◇私にはよく分かりましたし、とても面白いと感じました。また日英堪能な4名の皆様が心から楽しんでいらっしゃるのも分かりました。これが日本語の全く分からないゲストの場合は通訳が必要になると思いますが、日英ネイティブですすでにご経験もある通訳の方がおられると聞きしましたので、上手く行くことと思います。</p> <p>◇「鬼瓦」では、先に米本さんがあらすじをおっしゃいましたが、日本語が分からない方には、台詞の通訳があったほうが断然面白さが通じると感じます。その際、「神楽」でご提案したような、紙に台詞を書いてめくるような形の字幕をつくるというのも一案かと思えます。</p>
2	<p>今回の来場者は皆、ある程度日本語が理解できるので、もちろん面白かったです。日本語を話さない方には、パフォーマンス中に通訳を手伝ってくれる人（これもまた、カリスマ性と芝居がかった演技力のある人）が必要かもしれません。少なくとも、面白くて素晴らしい翻訳が書かれたフリップチャートを用意してください。</p>
3	<p>日本語を理解できる者には十分理解できる内容だった</p>
4	<p>日本語の内容をすべて理解できたわけではありませんが、全体の流れや意図は十分に感じ取ることができました。海外のお客様向けにはストーリーブックに台本や解説を掲載することで、より理解しやすくなるかと思えます。難しい場合には、狂言のあらすじを3文程度で説明するだけでも十分効果的だと感じました。そうすることで、通訳の方も全編を翻訳するのではなく、質問対応に集中できると思えます。</p> <p>とはいえ、狂言の鑑賞自体は非常に楽しく、満足度の高い体験でした。</p>
5	<p>事前のご説明や、短いフレーズを繰り返したりできること、その場でフレキシブルに対応いただけることが、あの場にいた方々の理解をより一層深めたと思います。即興の部分は特にですが、米本さんご自身もおっしゃっていただきましたが、日本語が本当にわからない方に対しては、発表、及びセリフがもう少し短くても良いかもしれないし、また、このユニークさを、真に共有できる同時通訳さんが必須であると感じました。そこが肝になると思います。わからない言語でも「どのような意味で今自分はセリフを発しているのか？」が体感できると、自分ごととしてより一層深めることができると感じました。</p>
6	<p>米本さんのお話と説明がとてもわかりやすかったです。</p>
7	<p>狂言とは何かを最も簡潔な形で理解するまでに、やや努力を要したと感じた。</p> <p>一方で、自分たちでミニ演目を作る体験は、身分の高低を問わず人々の日常的な関心事を描く芸能であることを理解するうえで非常に効果的であった。</p> <p>この点は、狂言が多くの激動の時代を生き延びてきた理由や、将来の発展の可能性を示唆するものでもある。</p> <p>なお、「鬼瓦」については、理解できたのは全体の6割程度で、笑いの多くを十分に拾いきれなかった。</p>

## 2. 実施内容と結果

## (3) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する可能性調査(実地試行) 第2回

## 9. 狂言の魅力(面白さ・知的満足度)について

狂言のどのような点に魅力や面白さを感じましたか。(例：ストーリー、即興性、演者の表現、笑いの質等) 印象に残った点を自由にお書きください。

回答者	印象に残った点
1	<p>◇狂言についてあまり知りませんでしたが、米本さんの楽しいご説明で、大変興味深くかつ楽しい時間を過ごすことができました。奥深い伝統芸能にも関わらず、初心者向けにわかりやすく簡潔に説明して下さい、まずハードルが下がりました。</p> <p>◇鑑賞した「鬼瓦」のストーリーは単純ですが人情あふれるお話で感動的。この感動は外国人にも通じると思います(スマホのある現代ではあり得ないが、長く会えない奥方を思い出して泣く、という点を上手く説明しておくことが重要)。これを演じられた大名役のお父様の演技がまた秀逸でした。</p> <p>◇姿勢と発声練習、とても面白そうでした。「笑う」「泣く」という動作の練習が、世界の誰にでもわかりやすくて良い。</p> <p>◇2日目にさまざまな装束を見せていただきました。衣装は大変色鮮やかで目に美しく、貴重な機会でした。説明も興味深かったです。</p> <p>◇衣装体験も、ゲストにとっては大変貴重な体験で喜ばれると思いました。写真が本堂の中で大変に映えます。</p> <p>◇最後は即興で狂言体験をされましたが、こちらも他では経験のできない素晴らしい体験だと思います。時間が限られていたにもかかわらず、米本さんの巧みなリードで、とても面白いお話をゲストが演ずることができました。達成感、満足感の高い、大きな思い出になることと思います。本番では通訳も必要になってくるため、ここまでのお話を作り上げるのは難しいかもしれませんが、ご提案したように、ここで時間をたっぷり使い、ある程度の成果物を作り上げることができたら、ゲストの満足度も上がること間違いなしです。</p> <p>◇このツアーに参加される方は、狂言や能に興味のある方になると思います。そうならば、15万円でこれらの経験ができるとしたら、来て下さる方はいらっしゃるのではと思います。</p>
2	<p>狂言の精神が伝わってきたと思いますし、関係者の方々もとてもフレンドリーで温かく迎えてくれました。他のツアーと同様に、少し複雑なので、英語ガイドの質が成功の鍵となるでしょう。</p>
3	<p>何でもないストーリーを、事前の解説を理解した上で拝見したので魅力が伝わりやすかった。10分程度の講演時間もちょうど良かった。</p>
4	<p>狂言の衣装は視覚的にも非常に魅力的で、強く印象に残りました。また、主人と太郎冠者の関係性といった当時の笑いの構造は、現代においても非常に分かりやすく、共感しやすいものだと感じました。独特の笑い方もとても楽しく、舞台全体の雰囲気をもより一層引き立てていました。</p>
5	<p>一つ一つがウイットに富んでいて(茶色の足袋なども)、お茶目で、その場には演者しかいないからこそ、想像する余地が残っているところ＝自分の何かに重ね合わせることができるというのは、大変魅力的だと感じます。時代を遡っても、それが古いと感じない、それは今の時代にも「こころが面白いと思うこと」は共通しているからなのかもしれないとも思いました。</p>

## 2. 実施内容と結果

## (3) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する可能性調査(実地試行) 第2回

## 9. 狂言の魅力（面白さ・知的満足度）について

狂言のどのような点に魅力や面白さを感じましたか。（例：ストーリー、即興性、演者の表現、笑いの質 等）印象に残った点を自由にお書きください。

回答者	印象に残った点
6	多くの方にとっては興味深いものだと思います。
7	<p>狂言は今回が初体験であり、全体を通して非常に新鮮で興味深いものであった。特に装束に関する解説と体験が印象に残っている。通常、着物を着る体験はあまり好まないが、今回は非常に楽しく感じられた（帽子を着用できたことも一因かもしれない）。</p> <p>また、体験後には、ミニ演目に加えられそうな面白い台詞のアイデアが次々と浮かび、自分自身の中で狂言的な発想が生まれていることに驚いた。</p> <p>米本氏は非常に優れた指導者であり、参加者全員が安心して体験できる雰囲気を作っていた。</p>

## 2. 実施内容と結果

## (3) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する可能性調査(実地試行) 第2回

## 10. 山口市コンテンツの「商品としての核」

山口市の体験全体を振り返って、「このツアーの核（売り）になる」と感じた要素は何でしょうか。その理由とあわせてお聞かせください。

回答者	要素・理由
1	繰り返しになりますが、洞春寺の本堂で本物の鷺流狂言を体験できるという点
2	狂言体験全体を通して素晴らしく、とても心地よかったです。テンポも良く、役者さんや関係者全員のユーモアセンスも抜群でした。歴史的な建物、フレンドリーなオーナー、そしてアートが融合したレストランは、きっと大ヒットすると思います。シドニーさんをぜひこの機会に誘ってほしいです。私自身も元ツアーガイドとして活動していますが、きっとゲストの皆さんに気に入っていただけると思いますし、山口狂言や狂言の理解を深めるお手伝いをしてくれると思います。
3	狂言の先生から事細かに解説をいただいた上での狂言鑑賞。インバウンドにとっても通訳の課題を乗り越えれば十分楽しんでいただける内容だったと思う。一方、商品＝ビジネスとして捉えた場合、年間6回の催行回数でマネタイズするには、1 DAYまたは2 DAYの広島または大阪発着の募集型ツアーで日本に長期滞在予定のインバウンドに対してオプションツアーで旅マエから販売してはどうか？（＝サンライズツアーで商品造成）
4	山口の最大の魅力は、深い歴史、美しい景観、そして地域の人々が生み出す温かさが、落ち着いた混雑の少ない環境の中で体験できる点にあると感じました。単に訪れる観光地ではなく、歴史や信仰、長く受け継がれてきた文化に支えられた日常のリズムを感じられる場所であることが、山口ならではの大きな強みだと思います。 また、町そのものの魅力に加え、ツアーに含まれる狂言体験が、山口の魅力をさらに高めていると感じました。重要無形文化財保持者である米本さんから直接学び、間近で狂言に触れられる体験は、ツアー全体に大きな価値を加えています。丁寧で分かりやすい解説により事前知識のない方でも狂言を身近で興味深いものとして楽しむことができ、伝統芸能が「生きた文化」として伝わってきました。プロモーションの観点からは、参加者が実際に狂言を体験している様子の写真は非常に効果的だと思います。また、川治いの風景や、瓦そば、イタリア料理などの食事の写真も、訪問の魅力を伝える上で大変魅力的な素材になると感じました。 ツアーを通して、山口は当初の想像以上に強く印象に残る場所でした。整った街並みや穏やかな川治いの景観、歴史ある寺院が、この土地ならではの雰囲気を生み出し、さらに地域の方々の親しみやすさが、山口を温かく、本物らしい町として感じさせてくれました。
5	米本さんに実施していただく狂言体験が肝だと思います。観光商品とする場合には、山口(オオドノ)だからこそ、今もこのように鷺流狂言が残っていて、愛されているのだ。という部分をどのようにコーディネートするかがキーになってくると感じています。
6	狂言のストーリーと体験が1番の売りであると思います。
7	言語面の課題を克服することができれば、狂言体験を本ツアーの中核に据え、洞春寺での体験を通じて現代の山口に生きる人間的な側面に触れつつ、瑠璃光寺および常栄寺の雪舟庭園（重森三玲の系譜を含む）を組み合わせた構成が可能である。これらの主要文化資源は、本ツアーにおいて欠かすべきではない。 一方、仮に言語面での制約が残る場合であっても、本商品は、かつて日本有数の富を誇った地域としての山口の知られざる歴史と、その支配をめぐって覇を競った権力者たちが残した文化的遺産を発見する機会として、十分に魅力的に訴求することができる。

## 2. 実施内容と結果

### Ⅱ 実施内容と結果

- (Ⅰ) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”に関する事前調査
- (Ⅱ) “景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進に向けた取組
- (Ⅲ) 調査結果報告会の開催

## 2. 実施内容と結果

### 調査結果報告会

#### ▶ 議事次第

日時：令和8年3月4日(水) 10:30～12:30

場所：広島合同庁舎4号館5階 聴聞室 ハイブリッド開催

参加者：18名

#### 1. 開 会

#### 2. 主催者挨拶

#### 3. 議 事

##### (1) 第一部：事業報告

- ・事業背景
- ・本事業の基本方針
- ・実証内容
- ・成果と示唆
- ・事業推進のポイント

##### (2) 第二部：パネルディスカッション

###### ・登壇者

- ・株式会社MAKES 後藤直哉氏
- ・株式会社OUGI 鈴木雅己氏
- ・株式会社ジャーマンインターナショナル ルース・マリー・ジャーマン氏

###### ・テーマ

- ・なぜ、伝統芸能なのか？
- ・成長する地域と課題を抱える地域の違い
- ・うちの地域で始めるなら、何から始める？
- ・質疑応答

#### 4. 閉 会



## 2. 実施内容と結果

# 調査結果報告会 本資料

### 1. 事業報告 (1) 事業背景

6

検証地を2エリアに絞り、実証



### 1. 事業報告 (2) 本事業の基本方針

7

#### ① 伝統芸能を“保存対象”から“経済資源”へ

多くの伝統芸能は地域住民によって継承されており、定期公演や商業化には制約がある。しかしながら、外国人旅行者にとっては極めて高い関心対象である。

そこで本事業では、

- ✓ 実演内容の再構成
- ✓ 解説の付加(多言語対応)
- ✓ 体験要素の導入
- ✓ 小規模・高単価設計

を通じて、持続可能な対価構造の可能性を検証することを基本方針とした。

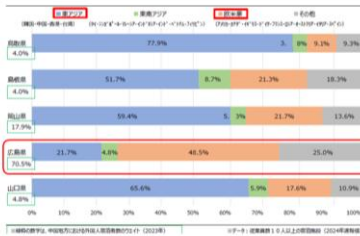
### 1. 事業報告 (2) 本事業の基本方針

8

#### ② ターゲットを明確化した設計

本事業では各種統計データより検討を行い、広島を訪れる訪日外国人をターゲットに据え、小グループ(5~10人)によるプログラム構築を目指した。

- ✓ 欧米豪のFIT層
  - ✓ 文化体験志向層
  - ✓ 高付加価値型旅行志向層
- を想定ターゲットとし、価格受容性・満足度・再訪意向を実証的に検証した。



「誰に売るか」を明確にした上で、行程・価格・演出を設計することを基本方針とした。

### 1. 事業報告 (2) 本事業の基本方針

9

#### ③ 勉強会・検討会による地域内合意形成

本事業は商品造成だけでなく、地域の伝統芸能団体、観光関連団体、旅行会社、自治体を巻き込んだ検討会・勉強会を開催し、価格設定や実施体制、環境整備課題を共有、

- ✓ 単発事業ではなく、地域内で自走可能な体制づくりを基本方針とした。



### 1. 事業報告 (2) 本事業の基本方針

10

#### ④ 実地試行による検証型アプローチ

本事業は仮説のみで終わらせず、

- ✓ 実際に外国人参加者を招いた試行
- ✓ 満足度・価格評価・ニーズ調査
- ✓ 課題抽出と改善提案

を行い、データに基づく可能性評価を実施、理論ではなく、「実証に基づく政策提案」を基本方針とした。



### 1. 事業報告 (2) 本事業の基本方針

11

#### ⑤ 中国地方全域への波及を見据えたモデル化

本事業は特定地域の成功事例創出が目的ではない。

- ✓ 中国5県への横展開
  - ✓ 中国地域の強みを活かした統一的なテーマ型観光の確立
  - ✓ 中国地域全体の観光誘客と消費単価の向上
- を見据え、再現性と接続性のあるモデルとして整理することを基本方針とした。

#### ■ 基本方針の総括

本事業は、伝統芸能を“見せる”事業ではなく、景勝地の価値を高め、宿泊と消費を生む「観光経営モデル」を構築する実証事業である。

2. 実施内容と結果

調査結果報告会 本資料

1. 事業報告 (3) 実証内容

12

① 1回目の実証内容(北広島)

日程

- 12:00 王生城址跡 (見学)
- 13:00 有田神楽団 笛舞(30分)
- 14:30 豊勢の手仕事体験(子どかしら)
- 16:00 北広島市歴史館 保存伝承館
- 17:00 有田八幡神社 鬼金輪の体験
- 19:30 夕食(お好み焼き)

北広島市への所要時間



1. 事業報告 (3) 実証内容

13

●参加者

区分	所属	名前
有識者	ジャーマン・インターナショナル	ルース・マリー・ジャーマン
	株式会社OUGI	鈴木 雅己
	株式会社OUGI	加藤 亜祐美
	株式会社MAKES	後藤 直哉
北広島関係者	有田神楽団	立盛 翔太
	栗山神楽団	田辺 康行
	小石原農園	三須 敏幸
	有田八幡神社	宮司
事務局	株式会社JTB広島支店	安藤 真雄

1. 事業報告 (3) 実証内容

14

② 2回目の実証内容(山口)

日程

- 11:30 新山口駅集合
- 12:00 瓦そば ながさき(お好み焼き) 山口郡志利町の蔵裏
- 13:00 演劇
- 15:30 演劇と踊る景勝地



1. 事業報告 (3) 実証内容

15

●参加者

区分	所属	名前
有識者	ジャーマン・インターナショナル	ルース・マリー・ジャーマン
	株式会社OUGI	鈴木 雅己
	株式会社OUGI	加藤 亜祐美
	株式会社MAKES	後藤 直哉
山口関係者	瀧流狂言	米本 太郎
	河春寺	深野 宗崇
	株式会社インターン	阿藤 謙太郎
	留学生A	-
事務局	留学生B	-
	株式会社JTB広島支店	山口 啓介
	株式会社JTB広島支店	安藤 真雄
	株式会社JTB広島支店	竹村 純
	株式会社JTB山口支店	山本 洋介
	中国運輸局	柏木 実
	中国運輸局	山崎 慎平
	中国運輸局	中村 雪乃

1. 事業報告 (3) 実証内容

16

③ 3回目の実証に対する課題

第1回実証(2025年10月・関係者限定プレ実施)により、「景勝地×伝統芸能」の可能性は確認できた一方で、商品化に向けた具体的課題も明確となった。

- 課題①:価格設計の具体化不足
  - 高付加価値体験としての評価は高い
  - しかし、適正価格帯の検証は十分ではない
  - 演者報酬・通訳費・移動費を含めた原価構造の精緻化が必要
  - 「感動はある」が「いくらで売るか」の詰めが必要
- 課題②:受入頻度・持続可能性
  - 演者は本業を持つ地域住民
  - 定期開催・高頻度開催には制約がある
  - 特定メンバーへの負担集中リスク
  - 無理のない実施回数設計と後継人材育成が不可欠

1. 事業報告 (3) 実証内容

17

- 課題③:商品としての磨き上げ余地
  - 参加型要素は高評価
  - 街歩きやクラフト体験は魅力的
  - ストーリー設計をさらに明確化する余地あり
  - 「体験の一貫性」を高める必要

【第1回実証のまとめ】

第1回実証は「可能性の確認」段階であり、商品化には価格設計・体制整備・文化翻訳の強化が必要である。

【第2回実証の方針】

- ① 価格と価値の明確化:原価構造を精緻化し、高付加価値体験として成立する価格帯を明示的に設定・検証する。→ 「感動」ではなく「販売可能価格(15万円に設定)」まで落とし込む。
- ② 文化翻訳と参加型設計の強化:事前解説・双方向体験・即興要素を強化し、外国人が「理解できる」伝統芸能へ再編集する。→ 鑑賞型から「関与型」へ深化させる。
- ③ 持続可能な実施体制の構築:開催頻度・演者負担・通訳体制・二次交通を含め、地域内で無理なく継続できる運営モデルを検証する。→ 単発実証から「継続可能モデル」へ転換。

2. 実施内容と結果

調査結果報告会 本資料

1. 事業報告 (3) 実証内容

18

④ 2回目の実証内容(北広島)

日次	行程
1/21 (水)	10:50 広島駅 11:45 道の駅ロードに千代田 (現地ガイド乗車) 12:00 正念坊広野 12:30 昼食 (八坂ご亭) 14:00 北広島産物館保存会主催 15:00 有田八幡神社参拝(宮入り体験) 17:00 有田の夕陽 18:15 夕食 (広島) 20:00 有田温泉 温泉 (2泊目・神楽5レハ級大館)



●参加者

区分	所属	名前	その他
1	株式会社IZO HAT	ポール・ウチノシス	ベンチアラン
2	All About Japan社	キョウコ・カネコ	クワン
3	シーマン・インターナショナル	クワック・ロン・クワン	
4	シーマン・インターナショナル	ルース・マリー・ジョーモン	
5	株式会社OUGI	鈴木 健仁	
6	株式会社OUGI	加藤 新太郎	
7	株式会社MAKES	藤原 直典	
8	株式会社JTB	栗川 功	
9	カレ	佐藤 仁美	
10	北広島産物館	立巻 翔太	
11	有田温泉	田代 康行	
12	小石温泉	三浦 敬寿	
13	丸島寺しるし	菊 純洋	
14	有田八幡神社	高野 真由	
15	事務局	株式会社JTB広島支店	安藤 長城
16	株式会社JTB広島支店	武本 将子	
17	中堅運輸船	山本 貴平	
18	中堅運輸船	中村 雪乃	

1. 事業報告 (3) 実証内容

19

●実施の様子



1. 事業報告 (3) 実証内容

20

●実施の様子



1. 事業報告 (3) 実証内容

21

⑤ 2回目の実証内容(山口)

日次	行程
12:30 昼食 光田のそば ほかせ こはる(おたけ)	
14:00 両替	
15:00 両替	
15:30 両替	
16:00 山口ふるさと伝承総合センター	
16:30 両替	
17:30 夕食 (2泊目・大館)	
09:30 両替	



●参加者

区分	所属	名前	その他
1	株式会社IZO HAT	ポール・ウチノシス	ベンチアラン
2	All About Japan社	キョウコ・カネコ	クワン
3	シーマン・インターナショナル	クワック・ロン・クワン	
4	シーマン・インターナショナル	ルース・マリー・ジョーモン	
5	株式会社OUGI	佐藤 仁美	
6	株式会社OUGI	加藤 新太郎	
7	株式会社MAKES	藤原 直典	
8	株式会社JTB	栗川 功	
9	カレ	佐藤 仁美	
10	山口県観光局	山本 貴平	
11	山口県観光局	山本 貴平	
12	山口県観光局	山本 貴平	
13	山口県観光局	山本 貴平	
14	山口県観光局	山本 貴平	
15	山口県観光局	山本 貴平	
16	山口県観光局	山本 貴平	
17	山口県観光局	山本 貴平	
18	山口県観光局	山本 貴平	
19	山口県観光局	山本 貴平	
20	山口県観光局	山本 貴平	
21	山口県観光局	山本 貴平	
22	山口県観光局	山本 貴平	
23	山口県観光局	山本 貴平	
24	山口県観光局	山本 貴平	
25	山口県観光局	山本 貴平	
26	山口県観光局	山本 貴平	
27	山口県観光局	山本 貴平	
28	山口県観光局	山本 貴平	
29	山口県観光局	山本 貴平	
30	山口県観光局	山本 貴平	
31	山口県観光局	山本 貴平	

1. 事業報告 (3) 実証内容

22

●実施の様子



1. 事業報告 (3) 実証内容

23

●実施の様子



2. 実施内容と結果

調査結果報告会 本資料

1. 事業報告 (3) 実証内容

24

⑥ 2回目の実証参加者の評価 ※詳細は別紙参照

1) 北広島に関する評価(神楽)

- 総合評価
  - 神楽が地域の生活に根づいている点への評価が高い
  - 「本物」観光用ではない文化」との認識が共有された
  - 夜間上演の特別感が印象に残ったという声が多い

2) 山口に関する評価(狂言)

- 総合評価
  - 言葉が分からなくても楽しめる点が評価された
  - 即興性への関心が高い
  - 寺院空間との親和性が強く印象に残った

■ 特に評価された要素

- 民俗芸能保存伝承館での学習とクラフト体験の組み合わせ
- 演者・団長との交流時間
- 町全体が“神楽と共にある”構造の理解

■ 特に評価された要素

- 演者との街歩き
- 自分の旅が演目に反映される参加型設計
- 事前解説による理解度向上
- 少人数による距離感の近さ

→ 芸能単体ではなく、「暮らしとの接続」が満足度を押し上げている  
→ 「鑑賞」ではなく「参加」が体験価値を生んでいる

1. 事業報告 (3) 実証内容

25

3) それぞれの課題

- 北広島(芸北神楽)
  - 英語解説のさらなる充実
  - 夜間実施に伴う交通動線の整備
  - 受入頻度と演者負担のバランス
  - 継続的な地域内の合意形成
- 山口(鷺流狂言)
  - 価格設定の精緻化
  - 通訳・文化翻訳の強化
  - 時間配分の最適化
  - 定期開催に向けた体制整備

4) まとめ

第2回実証では、満足度は高く、景勝地×伝統芸能モデルの成立可能性は確認できた。一方で、価格設計・運営体制・文化翻訳の強化が次の段階の鍵となる。

1. 事業報告 (3) 実証内容

26

⑦ 実証結果のまとめ

■ 景勝地×伝統芸能モデルの可能性(全体整理)

① 高付加価値型体験としての成立可能性

- ✓ 少人数・参加型・物語性を組み込むことで、「鑑賞」ではなく「関与する体験」へ転換できる。
- ✓ 本物性・希少性が評価され、高単価モデルとの親和性が高い。

② 文化理解志向の訪日客との高い適合性

- ✓ 背景解説・演者との交流・地域との接点を重視する設計は、欧米圏FIT層など文化体験志向層に強く響く。
- ✓ 「学び」と「体験」を両立できる点が差別化要素となる。

③ 地域全体を巻き込むストーリー型観光への展開可能性

- ✓ 伝統芸能単体ではなく、寺社・町歩き・食・職人文化と接続することで、地域資源を横断した一体的な旅程構築が可能。
- ✓ ナイトコンテンツ化による滞在延伸にもつながる余地がある。

1. 事業報告 (3) 実証内容

27

■ 課題の整理(全体共通)

① 価格設計の精緻化

- ✓ 原価構造の明確化と市場受容価格の検証が必要。
- ✓ 「高い」ではなく「価値に見合う」と説明できる設計が求められる。

② 運営体制・受入頻度の持続可能性

- ✓ 演者負担・通訳体制・交通動線を含め、無理なく継続できる実施モデルの構築が不可欠。

③ 文化翻訳・体験設計の高度化

- ✓ 背景説明の質が満足度を左右する。
- ✓ 単なる実演ではなく、「理解させる編集力」の強化が必要。

1. 事業報告 (4) 成果と示唆

28

私たちの共通認識:「伝統芸能は、売れる」

⇒ただし、“そのまま”ではなく“再編集”すれば、である。

■ 山口(狂言)

テーマ:『600年以上続く狂言 — 地域の魅力と文化伝承のバトン —』

- 今回の実証で明確になったのは、狂言そのものよりも、演者という存在のブランド力である。
- 言葉が分からなくても笑いが成立する身体性、即興で演目を組み立てる創造力、寺院という静謐な空間との強い親和性、演者と参加者が同じ時間を共有する距離感など、評価されたのは「古典芸能」ではなく、“演者という表現者そのもの”であった。

➢ つまり本モデルは、狂言を売るのでなく、演者の価値を観光の文脈で再定義する試みである。

→ 今後は、演者個人のブランディングと一体で進めることが鍵となる。

1. 事業報告 (4) 成果と示唆

29

■ 北広島(芸北神楽)

テーマ:『神楽と生きる町 — 神々の芸能が暮らしに息づく場所 —』

- 北広島において成立したのは、芸能単体の商品化ではない。成立したのは、神楽を核としたナイトコンテンツ化モデルである。
- 夜の神楽上演による滞在価値の拡張、神楽殿という神聖空間での特別体験、クラフト体験による文化の厚み、地域住民の誇りと信仰との接続など、神楽は、“昼の観光の延長”ではなく、夜にこそ成立する文化体験として機能した。

➢ これは中国地方全体にとって重要な示唆である。

→ 神楽は、ナイトコンテンツとして再設計することで、滞在延伸の起点となり得る。

## 2. 実施内容と結果

# 調査結果報告会 本資料

### 1. 事業報告（4）成果と示唆

30

#### 成立したのは「芸能」ではなく「構造」

両地域に共通していたのは、以下の構造である。

- ・ 少人数制
- ・ 演者との距離
- ・ 物語設計
- ・ 背景理解の導入
- ・ 参加型要素
- ・ 空間演出
- ・ 夜の時間帯活用(特案)

評価されたのは、演出の完成度だけではない。  
評価されたのは、「文化と人と時間をどう編集したか」という設計力である。

#### 価格よりも「希少性」が価値を決める

アンケート結果から明確になったのは、参加者は価格の絶対額ではない。

- ・ ここでしか体験できないか
  - ・ 本物かどうか
  - ・ 演者と関われるか
  - ・ 物語に参加できるか
- で価値を判断しているという事実である。

安くすれば売れる、という構造ではない。  
むしろ、希少性を守る設計こそが価格を正当化する。  
高付加価値モデルは成立可能である。

### 1. 事業報告（5）事業推進のポイント

31

#### 本事業の結果を踏まえた事業推進のポイント

フェーズ	進め方のポイント	具体的内容	注意点
① 構想整理	コンセプトを先に決める	「何を覚えるか」ではなく「どんな体験にするか」を定義	芸能紹介型にしない
② 関係者合意	早期に地域内対話を開始	保存会・神社・寺院・行政・DMOで目的共有	観光化への抵抗感に配慮
③ ターゲット明確化	売り先を明確化	欧米客FITなど文化志向層を想定	大衆向け価格設計をしない
④ 商品設計	少人数・参加型で設計	背景解説・交流・物語化を組み込む	従来型に異なる
⑤ 価格設計	原価を可視化し適正対価を設定	演者報酬・運営費・会場費を明確化	販売しない
⑥ 実証実施	小規模で検証	モニター実施・アンケート回収	初回から完成形を目指す
⑦ 改善働き上げ	データに基づき改善	価格・時間配分・導線修正	感覚論にしない
⑧ ブランド構築	演者・地域の物語を発信	動画・ストーリー発信	コンテンツ単体PRにしない
⑨ ナイト戦略	夜の時間帯活用	神楽型夜に替える	交通情報整備必須
⑩ 継続モデル化	関係構築・体制設計	年数限りの特別公演型など	常設化にこだわらない

### 1. 事業報告（5）事業推進のポイント

32

#### 事業設計のポイント

設計ポイント	内容	山口(萩)での具体	北広島(神楽)での具体
コンセプト設計	芸能単体ではなく物語に再編集する	「600年以上続く狂言」旅を即興狂言に反映	「神楽と生きる町」暮らしと信仰を体験
ターゲット明確化	文化理解志向・高付加価値層を想定	欧米客FITを想定し参加型設計	本物志向層を想定し少人数制
参加型設計	鑑賞型から関与型へ	街歩き・即興演目・体験参加	クラフト体験・交流
ナイト活用	夜の時間帯を活かし滞在延伸	寺院空間での上演(時間演出)	夜間神楽上演を申請に設計
演者のブランド化	芸能団体ではなく“人”を主体に	演者個人の価値を可視化	団長・演者との交流強化
価格設計	安売りにしない適正対価の設定	少人数・高付加価値モデル	希少性を担保した設定
文化翻訳	背景理解を補強	事前解説・歴史説明	神楽の成り立ち解説
地域合意形成	外部主導ではなく地域主体で	寺院・演者との調整	神社・地域住民との共有
持続可能性	関係構築・負担分散設計	演者負担を考慮	地域体制の段階的整備
DMO・行政の役割	調整・伴走・市場接続	勉強会実施・実証支援	同様に伴走支援

### 1. 事業報告（5）事業推進のポイント

33

参考例：

推進ポイント	内容	島根(石見神楽)での具体	岡山(備中神楽)での具体	鳥取(鹿嶋神楽)での具体
コンセプト設計	芸能単体ではなく物語に再編集	世界遺産・石見関門と神楽世界を結び「龍山と神々の物語」	岡山(備中)神楽を給・山重に伝わる神楽型に託す	神楽型に託す神楽を給・山重に託す
景観地との接続	観光資源と芸能を一体化	石見山後院見学・神楽特別上演	岡山(備中)神楽と神楽の連携	岡山(備中)神楽と神楽の連携
ナイト活用	夜の時間帯を活かし滞在延伸に活用	神楽の夜間特別公演を可視化	日中体験・夜の神楽上演の二階層	夕景・星空と鑑賞。短時間高集中度演出
演者の可視化	団体ではなく“人”を前面に	芸者舞手・保存会代表のストーリー発信	若手継承者の物語を組み込む	継承者の語り手の所り・継承背景を伝える
参加型設計	鑑賞型から関与型へ	街歩き体験・舞台見学	家庭体験・所作体験	継承者の語り手の所り・継承背景を伝える
価格設計	希少性を守る高付加価値設計	少人数限定・特別演目	地域限定体験とセナ化	岡山(備中)神楽での限定開催
文化翻訳	背景理解を徹底補強	神楽・演目解説の英語化	地域特産品の物語化資料	継承者の語り手の所り・継承背景を伝える
地域合意形成	神社・保存会との調整	保存会との収益分配調整	地域自治体との連携	神社・地域住民との調整
持続可能性	演者負担を考慮した運営	定額制ではなく特別公演化	季節限定モデル	観光型・分散設計
行政・DMOの役割	調整・市場接続・伴走	世界遺産エリアとの統合調整	岡山(備中)神楽との連携	岡山(備中)神楽との連携

### 2. パネルディスカッション

34

舞台転換が終わるまでしばらくお待ちください

### 2. パネルディスカッション

35

第2部 パネルディスカッション



2. 実施内容と結果

調査結果報告会 本資料



## 2. 実施内容と結果

### 調査結果報告会 本資料

業成果 | 日本文化を深掘りしたコンテンツ造成

**POINT 3** 5日間かけて味わう「神楽飯」にも、1日ごとのストーリーを

神楽飯  
Kagura-Meshi

テーマ  
神と響がるごはん

メニュー表 その日のテーマ

- 1日目 己を囲む
- 2日目 場を囲む
- 3日目 地域を囲む
- 4日目 神を囲む

Confidential & Copyright OUGI, inc. All rights reserved.

### 3. まとめ

## Ⅲ まとめ

## 3. まとめ

### まとめ

#### I. 本実証事業の目的と概要

本実証事業は、「中国地方における景勝地と伝統芸能・民俗芸能を掛け合わせた付加価値の高いコンテンツがどの程度インバウンドに訴求力を持ち、宿泊者数や観光消費額増加を伴う来訪促進に向けたコンテンツとなり得るのか調査検討を行う」ことを目的として実施いたしました。事前調査、有識者・関係者との検討会、そして北広島町（有田八幡神社×芸北神楽）および山口市（洞春寺×鷺流狂言）での二度の実地試行を経て、本報告書を取りまとめました。

#### II. 実証事業から得られた主要な成果と示唆

本実証事業を通じて、中国地方の「景勝地×伝統芸能」コンテンツがインバウンド誘致に大きな可能性を秘めていることが明らかになりました。

##### ・高付加価値型体験としての成立可能性の確認

少人数制、参加型、そして地域に根ざした物語性を組み込むことで、伝統芸能が単なる「鑑賞」に留まらず、参加者が深く「関与する体験」へと転換できることが確認されました。特に、地域で継承されてきた「本物」の伝統芸能と、演者や地域住民との直接的な交流は、インバウンドにとって極めて高い価値を持つことが示されました。これにより、1名あたり15万円という高単価設定に対する受容性も確認され、持続可能な観光経営モデル構築への道筋が見えました。

##### ・文化理解試行の訪日客と中国地方の高い適合性

中国地方における伝統芸能の背景にある歴史や文化的文脈を丁寧に解説し、演者や地域住民との交流を重視するツアー設計は、欧米豪FIT層に代表される文化体験志向の訪日客に強く響くことが分かりました。

例えば、中国山地の県北に伝わる神楽は、古き良き時代の「伝統を守る舞」と、新しい時代に対応する「創作的な舞」が互いに刺激し合いながら伝承されています。どちらの神楽も、郷土芸能としての情熱は変わらず、より感動的で魅力的な方向へ進むとする姿勢が見られます。演目の一つである「八岐大蛇」は、大洪水が田畑を襲う自然災害を、想像力豊かな古代の日本人が大蛇と娘に例えて創り上げた物語です。「頭が八つ、尾が八つ」という表現は、中国山地の山々が幾重にも連なる姿を例えたものであり、米を主食としてきた日本人の先祖が、命がけで米作りをしてきたことを伝える演目となっています。この深い背景を観客に伝えることで、感動を呼び起こすのではないのでしょうか。

また、山口市の鷺流狂言においては、演者である米本氏が、純粋に狂言を通じて参加者を楽しませるだけでなく、時代背景や当時の価値観を衣装体験や山口市内の街歩きを通じて丁寧に伝えています。物まねの要素や写実的なせりふ劇の性格を持つ狂言を、参加者と一緒に即興で演じる交流プログラムも実施しました。狂言は、小さな出来事を丁寧に表現することで、人間が持つ内面の大きな喜びを感じることができる芸能です。

このように、北広島町や山口市のような、これまで十分に活用されてこなかった独自の「ウリ」が中国地方には多く点在しています。だからこそ、中国地方が一体となってこれらの資源のコンテンツ化に取り組むことで、他地域と差別化できる強力なポイントとなるのではないのでしょうか。

##### ・地域全体を巻き込むストーリー型観光への展開可能性

伝統芸能を核としつつも、景勝地、寺社仏閣、町並み散策、地域食材を活かした食、地元の職人文化など、多様な地域資源を連携させることで、地域全体を巡る一体的な「旅の物語」を構築できることが示唆されました。特に、夜間に伝統芸能を上演する「ナイトコンテンツ」としての再設計は、インバウンドの滞在日数延伸、ひいては観光消費額増加に繋がる大きな可能性を秘めています。

## 3. まとめ

### まとめ

#### III. 実証事業で明らかになった課題

一方で、本実証事業を通じて、中国地方全体で取り組むべき共通の課題も明確になりました。

##### ・価格設計の精緻化

演者への報酬、通訳費、移動費といった全ての原価要素を明確にし、その上で市場が受容する適正な価格帯をさらに検証する必要があります。単に「高い」と感じさせるのではなく、「価値に見合う」価格であることを明確に説明できる設計が求められます。

##### ・運営体制・受入頻度の持続可能性

伝統芸能の舞手や奏者の多くは本業を持つ地域住民であり、定期的な公演や高頻度での受入には制約があります。演者への負担を考慮し、無理なく継続できる実施回数設計と、後継人材の育成が不可欠です。本実証事業で、日ごろの練習時間を商品化するという可能性を見つけることが出来ました。この可能性を今後さらにブラッシュアップしていくことが必要です。

##### ・文化翻訳・体験設計の高度化

単なる言語の翻訳に留まらず、伝統芸能の背景にある文化的文脈やニュアンスを正確に伝える「文化翻訳」の専門性強化が必要です。ツアー全体を通じて一貫した物語が伝わるよう、各体験要素をシームレスに繋ぎ、参加者がより深く没入できる体験設計の高度化が求められます。地域のストーリーをベースに、次年度はネイティブと一緒に更にブラッシュアップしていくことが必要です。

#### IV. 中国エリアが一体的に取り組むべき事項：次年度以降の推進に向けた方向性

本実証事業で得られた成果と課題を踏まえ、次年度以降、中国地方全体で以下の取り組みを推進していく必要があると考えます。

##### ・「観光経営モデル」の確立と横展開の推進

本実証事業で検証された「景勝地×伝統芸能」を核とした高付加価値型コンテンツの成功モデルを、中国地方の各地域で展開できるよう、具体的なガイドラインを策定し、普及を図ります。また統一のロゴを作成していくことも一つの手法と考えます。各地域の伝統芸能や景勝地の特性、地域住民の意向を尊重し、画一的ではない、地域に根ざしたコンテンツを増やしていくことが必要です。

##### ・持続可能な地域連携体制の構築と人材育成の強化

地域内の熱意のあるキープレイヤーが中心になって活動していくことが最も大切なプロセスであることが確認されました。実誘客に向けては、オペレーション体制や販売促進に長けた外部の方々との連携も必要となります。伝統芸能の担い手のみならず、インバウンド対応が可能な通訳ガイドや地域コーディネーターなど、多岐にわたる専門人材の育成プログラムを中国地方全体で展開し、持続的な運営体制の基盤が必要です。

##### ・多言語・多文化対応の徹底とプロモーション戦略の高度化

伝統芸能の魅力を的確に伝える「文化翻訳」の専門性を高め、多言語解説資料やプロモーション素材の質を向上させるための支援が必要です。欧米豪FIT層などの文化体験志向層に響くような、ストーリー性のあるプロモーション戦略を立案し、デジタルマーケティングや海外メディアとの連携も必要です。

#### V. 結び

本実証事業は、中国地方の豊かな地域資源が持つインバウンド観光の可能性を明確にし、その実現に向けた具体的な道筋を示す第一歩となりました。神楽や狂言といった伝統芸能は、その本質が身体表現にあり、生身の感動を観客に直接伝えることで初めて、その真価を発揮します。音、動き、色彩といった五感を刺激する要素を通じて、観客は展開される世界に深く没入し、異次元へと誘われる感覚を味わうことができます。この「生で見て感じる」体験こそが、伝統芸能の存続と発展にとって最も重要であると再確認いたしました。したがって、いかにして観客を舞台へと誘い込むかが、今後の重要な課題となります。定期公演を通じて初心者に興味を喚起すること、演者が人気タレントとなりファンを獲得すること、あるいは多様なプロモーションを通じて新たな観客層を開拓することなど、様々な試みがある効果的であると考えます。伝統芸能は、その土地に暮らす人々の誇りであり、文化であり、その象徴です。

本事業で得られた成果と反省点を踏まえ、中国地方が世界に誇る文化体験観光地として発展していくため、地域が一体となって推進していくことを強く期待いたします。

令和7年度訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業(実証事業)  
「中国地方の“景勝地×伝統芸能・民俗芸能”推進事業」事業実施報告書

---

2026年3月

編集：中国運輸局 観光部 観光地域振興課  
〒730-8544 広島県広島市中区上八丁堀6番30号  
TEL:082-228-8703 FAX:082-228-9412

支援：株式会社JTB広島支店